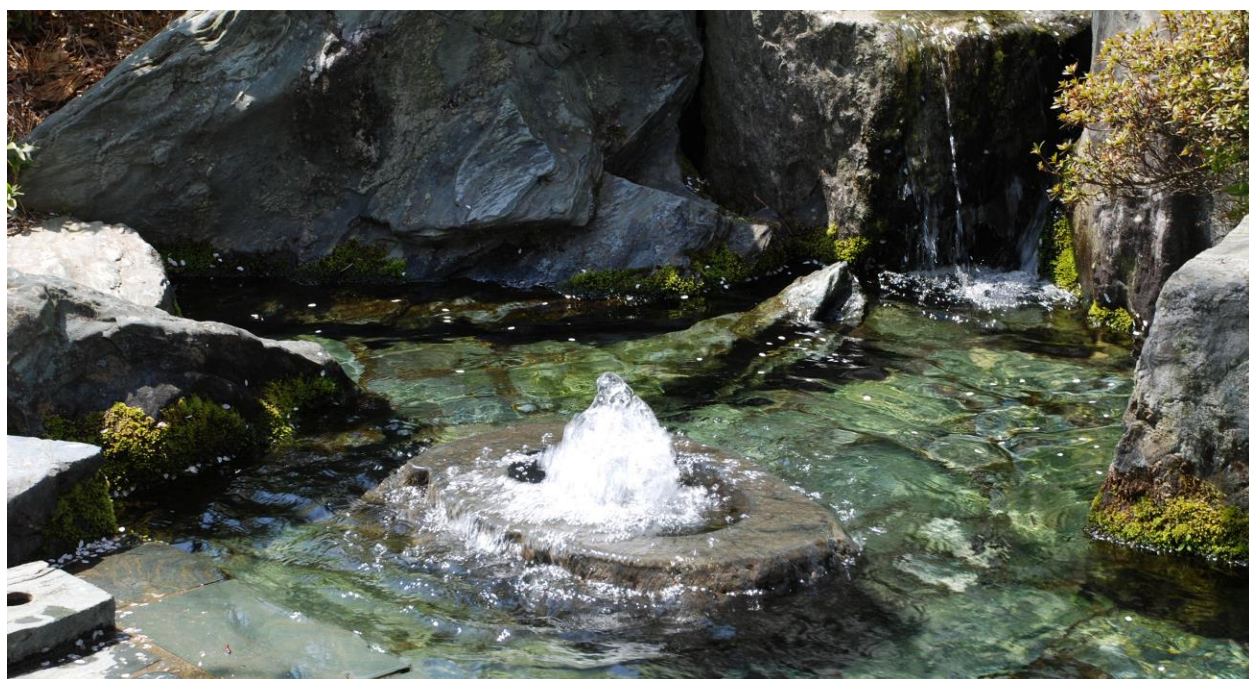


消 防 年 報

令和 6 年版



西条の名水 うちぬき

西条市消防本部

(令和 7 年刊行)

ま え が き

この年報は、西条市の消防現勢及び消防業務に関する諸般の事情を収録し、将来の参考に資するとともに消防事情を広く紹介するために編さんしたものです。

(火災・救急・救助統計は暦年、予防関係は会計年度、予算、人事関係は令和7年4月1日現在で作成しています。特に記載のないものについては会計年度で作成しています。)

令和7年8月

西条市消防本部

語 句 説 明

1 火災の定義

ここにいう「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

2 火災の種類

火災は、次の種別に区分する。この場合において、火災の種別が2以上複合するときは、焼き損害額も大なるものの種別による。ただし、その態様により焼き損害額の大なるものの種別によることが社会通念上適当でない認められるときはこの限りでない。

- (1) 建物火災・・・・・・・・ 建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
- (2) 林野火災・・・・・・・・ 森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
- (3) 車両火災・・・・・・・・ 次に区分する自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
 - ① 自動車車両とは、②の鉄道車両以外の車両で原動機によって運行することができる車両をいう。
 - ② 鉄道車両とは、鉄道事業法（昭和61年法律第92号）における旅客、貨物の運送を行うための車両又はこれに類する車両をいう。
- (4) 船舶火災・・・・・・・・ 船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
- (5) 航空機火災・・・・・・・・ 航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
- (6) その他の火災・・・・ (1) から (5) までに掲げる火災以外の火災をいう。

3 焼損程度

- (1) 全 焼・・・・・・・・ 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの、又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- (2) 半 焼・・・・・・・・ 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので、全焼に該当しないものをいう。
- (3) 部 分 焼・・・・・・・・ 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のもので、ぼやに該当しないものをいう。
- (4) ぼ や・・・・・・・・ 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1㎡未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損表面積が1㎡未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

4 り災程度

- (1) 全 損・・・・・・・・ 建物（収容物を含む。以下半損、小損において同じ。）の火災損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。
- (2) 半 損・・・・・・・・ 建物の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%以上で全損に該当しないものをいう。
- (3) 小 損・・・・・・・・ 建物の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものをいう。

5 死者及び負傷者の範囲

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して死亡した者（病死者を除く）又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き上げる時までの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者又は負傷者とする。

6 救急事故の種別

- (1) 火 災・・・・・・・・火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- (2) 自然災害・・・・・・・・暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- (3) 水 難・・・・・・・・水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- (4) 交 通・・・・・・・・全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- (5) 労働災害・・・・・・・・各種工場、事務所、作業所、工事現場等において就業中に発生した事故をいう。
- (6) 運動競技・・・・・・・・運動競技の実施中に発生した事故で、直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故（ただし、観覧中の者が直接に運動競技用具によって負傷したものは含み、競技場内の混乱によるものは含まない）をいう。
- (7) 一般負傷・・・・・・・・他に分類されない不慮の事故をいう。
- (8) 加 害・・・・・・・・故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- (9) 自損行為・・・・・・・・故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- (10) 急 病・・・・・・・・疾病によるもので、救急業務として行なったものをいう。
- (11) そ の 他・・・・・・・・転院搬送、医師及び看護師搬送、医療資機材等の輸送、その他のもの（傷病者不搬送件数のうち分類不能なもの及び誤報、いたずら等で救急事故等の不明なものを含む）をいう。

7 救助事故の種別

- (1) 火 災・・・・・・・・火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- (2) 交通事故・・・・・・・・全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- (3) 水難事故・・・・・・・・水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- (4) 自然災害事故・・・・暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
- (5) 機械による事故・・・・エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
- (6) 建物等による事故・・・・建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
- (7) ガス及び酸欠事故・・・・一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
- (8) 破裂事故・・・・・・・・火災以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
- (9) その他の事故・・・・(1) から (8) に掲げる事故以外の事故等で、消防機関による救助を必要としたものをいう。なお、出動したが誤報・いたずらであった場合は、これに含める。

目 次

○概 況

1 西条市の位置・地勢

- (1) 位 置 1
- (2) 地 勢 1
- (3) 面 積 等 1

2 沿 革

- (1) 西条市消防の沿革 2
- (2) 旧西条市消防本部の沿革 7
- (3) 周桑事務組合周桑消防本部の沿革 10
- (4) 西条市消防団の沿革 11
- (5) 東予市消防団の沿革 13
- (6) 丹原町消防団の沿革 14
- (7) 小松町消防団の沿革 15
- (8) 管内図 17

○総務関係

1 消防の組織 18

2 人 事

- (1) 歴代消防長 19
- (2) 消防職員の配置状況 19
- (3) 勤続年数調 20
- (4) 年齢調 20

3 予 算

- (1) 令和7年度当初予算概要 21
- (2) 市一般会計予算額との比較 22
- (3) 予算概要 22
- (4) 消防費と人口との比較 22

4 事務分掌 23

5 消防庁舎 26

○警防関係

1 消防相互応援協定等の状況 28

【参考資料】 西条市が締結している

災害時応援協定の状況 30

2 消防水利現況表 35

3 消防機械

- (1) 消防車両等配備状況 36
- (2) 所属別消防車両一覧 37
- (3) 消防機械器具 39
- (4) 現有ホース数 40

○通信関係

1 通信指令施設状況

- (1) 本部通信指令施設関係 41
- (2) 署所分団施設関係 42
- (3) 回線等の設置状況 43
- (4) 西条消防緊急通信システム構成図 44

2 消防無線局

- (1) 消防無線局数 45
- (2) 固定局 45
- (3) 基地局 45
- (4) 陸上移動局 46

3 デジタル簡易無線局 50

4 119 番受信状況 53

5 気 象

- (1) 気象状況総括表 54
- (2) 気象警報・注意報の発表回数 55
- (3) 過去10年間の年別気象調 56
- (4) 台風・集中豪雨 57

○予防関係

1 危険物	ク 過去 10 年の死者・負傷者の状況	78
(1) 危険物施設別事務処理状況	ケ 過去 10 年の四季別火災件数	58 79
(2) 危険物等手数料徴収状況	2 救急統計	59
(3) 数量別危険物施設数調	(1) 救急概要	59 80
(4) 消防署・事業所危険物防災資材保有状況	ア 前年との救急件数・搬送人員の比較	60 80
2 一般予防	イ 事故種別別の出動状況	81
(1) 防火対象物一覧表	ウ 救急隊別の出動状況	61 81
(2) 建築種別同意件数	エ 傷病程度別の搬送状況	62 82
(3) 消防用設備点検報告状況	オ 年齢別の搬送状況	63 82
(4) 火災予防条例等による届出事務処理状況	カ 過去 10 年の救急出動件数及び 搬送人員、西条市の人口の推移	64 83
3 広報・訓練指導	キ 過去 10 年の出動件数、不搬送件数の推移	83
(1) 車両による広報状況	ク 過去 10 年の覚知から現場到着ま での平均所要時間の比較	65 84
(2) 市町村防災行政無線(同報系)による広報状況・	ケ 過去 10 年の覚知から病院収容ま での平均所要時間の比較	65 85
(3) 消防・救急訓練指導状況	3 救助統計	66
(4) 広報施策テーマ及び市報掲載記事一覧表	(1) 救助概要	68 86
4 消防クラブ	(2) 救助活動状況	86
(1) 幼年消防クラブ結成状況	ア 事故種別救助出動	70 86
(2) 少年消防クラブ結成状況	イ 事故種別活動件数	72 87
(3) 民間防火組織の現況	ウ 事故種別救助人員	72 87

○火災と救急・救助

1 火災統計	エ 過去 10 年の救助出動件数及び救 助活動件数、救助人員の推移	73 88
(1) 火災概要	オ 過去 10 年の山岳件数の推移	73 89
(2) 火災状況	○消防団関係	73
ア 火災種別	1 消防団の組織	73 90
イ 月別火災件数	2 人事	74 91
ウ 時間帯別火災件数	(1) 歴代消防団長	74 91
エ 曜日別火災件数	(2) 消防団員の報酬	75 91
オ 初期消火の状況		75
カ 過去 10 年の火災概況		76
キ 令和 6 年の出火原因		77

(3) 消防団員在籍年数調	91
(4) 消防団分団別・階級別等人員調	92
(5) 消防団員階級別年齢調	93
3 消防機械	94
(1) 分団別機材保有調	94
(2) 地区別・分団別消防車両一覧表	95

概 況

1 西条市の位置・地勢

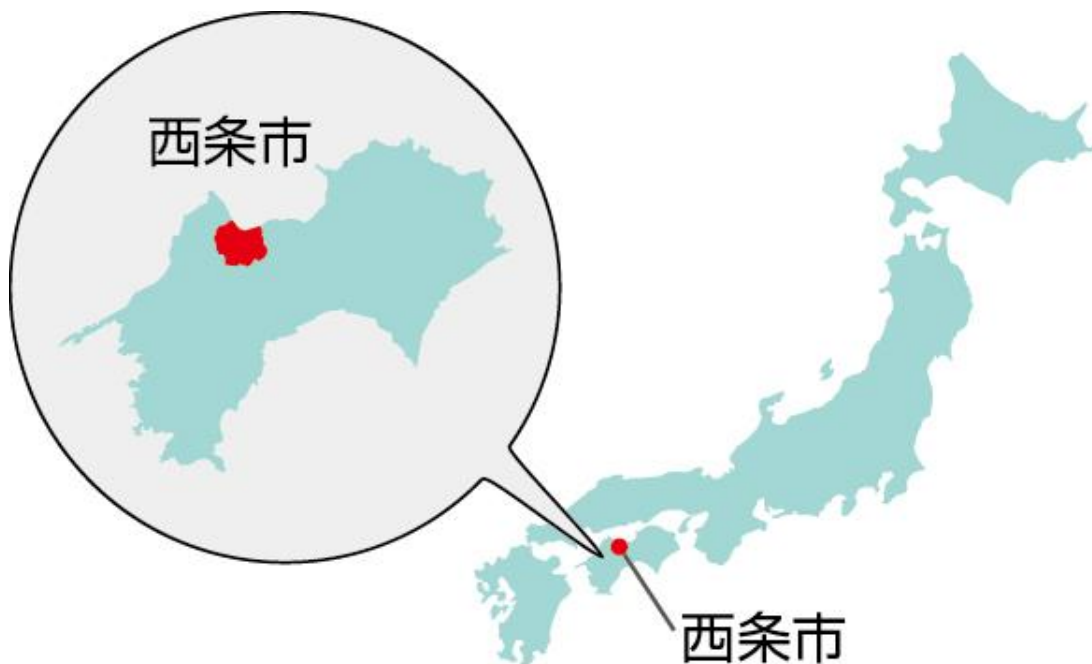
2 沿 革



1 西条市の位置・地勢

(1) 位 置

西条市は、愛媛県東部に広がる道前平野に位置し、北は瀬戸内海の燧灘に面し、北西は今治市、西は東温市、南は久万高原町・高知県のいの町、東は新居浜市と接しています。



(2) 地 勢

510.04 km²という広大な市域面積は、県下屈指の規模を誇り、その南部一帯及び南西部は西日本最高峰の石鎚山(標高 1,982m)を主峰とする石鎚山系や高縄山系を背景にして、急峻な山岳地帯となっています。それ以外の地域は、比較的ゆるやかな平坦部となっており、市街地が集積するとともに、県下有数の農業地帯となっています。

また、石鎚山系を源流とする水量豊かな加茂川や中山川をはじめ、中小河川が貫流し、豊かな水資源を供給しています。

(3) 面積等

(令和7年3月31日現在)

管内面積(km ²)	人口(人)	世帯数	備考
510.04	102,924	50,860	平成16年11月1日合併

2 沿革

(1) 西条市消防の沿革

平成 16 年	11 月	1 日	西条市・東予市・丹原町・小松町の合併により西条市消防本部・西条市消防団が発足。 西条市消防本部 条例定数、 134 名 1 本部 2 署 2 出張所とする。 西条市消防団 条例定数、 1,907 名 1 団 2 支団 29 分団とする。
平成 16 年	12 月	16 日	地域環境整備事業により庄内分団第 5 部小型動力ポンプ付積載車を更新整備した。
平成 17 年	1 月	11 日	橘分団消防ポンプ自動車 (CD- I 型) を更新整備した。
平成 17 年	1 月	25 日	西条分団、神拝分団搬送車を更新整備した。
平成 17 年	2 月	21 日	地域環境整備事業により中川分団第 2 部小型動力ポンプ付積載車を更新整備した。
平成 17 年	2 月	25 日	地域環境整備事業により田野分団第 7 部消防ポンプ自動車 (CD- I 型) を更新整備した。
平成 17 年	2 月	25 日	消防庁長官から防災功労団体として表彰を受けた。
平成 17 年	3 月	7 日	消防防災等設備整備費補助事業により小型動力ポンプ付水槽車 (II 型) を整備し、東消防署に配置した。
平成 17 年	12 月	13 日	地域環境整備事業により楠河分団第 1 部小型動力ポンプ付積載車を更新整備した。
平成 17 年	12 月	13 日	地域環境整備事業により庄内分団第 4 部小型動力ポンプ付積載車を更新整備した。
平成 18 年	1 月	10 日	消防団総合整備事業により飯岡分団消防ポンプ自動車 (CD- I 型) を更新整備した。
平成 18 年	2 月	22 日	電源立地地域対策交付金事業により加茂分団蔵置所を移転新築した。荒川 2 号 219 番地 9 敷地面積 450.00 m ² 補強 CB 造平屋建 延床面積 44.28 m ²
平成 18 年	4 月	1 日	消防本部の機構改革により、通信指令課を設置した。
平成 19 年	1 月	24 日	全国共済農業協同組合連合会愛媛県本部から高規格救急自動車の寄贈を受け、西消防署救急 6 号車として運用を開始した。
平成 19 年	3 月	29 日	周布 1684 番地に、敷地面積 8,717.70 m ² 、庁舎棟 2,689.95 m ² 、訓練棟 404.83 m ² 、車庫棟 555.00 m ² の近代的な設備を備えた西消防署新庁舎を新築整備した。
平成 19 年	4 月	1 日	西消防署落成式を挙行し運用を開始した。
平成 20 年	1 月	22 日	財団法人救急振興財団・財団法人日本宝くじ協会から救急普及啓発広報車の寄贈を受け、運用を開始した。
平成 20 年	3 月	11 日	地域環境整備事業により桜樹分団第 1 部積載車を更新整備した。
平成 20 年	3 月	18 日	消防本部の防火広報車を更新整備した。
平成 21 年	2 月	25 日	消防庁長官から西条市消防団へ褒状が授与された。

平成 21 年	10 月	19 日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により東消防署救急 3 号車を高規格救急自動車に更新整備した。
平成 22 年	3 月	4 日	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により防火衣 51 式、雨衣 30 着ほかを整備した。
平成 22 年	3 月	8 日	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により消防本部査察広報 1 号車を更新整備した。
平成 22 年	3 月	11 日	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により西消防署資機材搬送車を更新整備した。
平成 22 年	3 月	18 日	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により玉津分団消防ポンプ自動車(CD- I 型)を更新整備した。
平成 22 年	3 月	19 日	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により丹原分団第 7 部消防ポンプ自動車(CD- I 型)を更新整備した。
平成 22 年	3 月	29 日	総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両が貸与され、徳田分団第 1 部へ配備した。
平成 22 年	12 月	10 日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により西消防署タンク 1 号車を更新整備した。
平成 23 年	3 月	14 日	消防庁長官の指示により東日本大震災に伴う災害援助として緊急消防援助隊を岩手県釜石市鶴住居町・片岸町へ派遣した。(消防隊 5 名、救急隊 3 名)
	3 月	21 日	
平成 23 年	3 月	18 日	財団法人日本消防協会から西条市消防団が防災活動車の寄贈を受け、運用を開始した。
平成 24 年	4 月	1 日	橘出張所開設に伴う救急隊増設に向け、消防長事務部局の定員が 9 名増員され条例定数 143 名となる。
平成 24 年	6 月	15 日	野々市 51 番地 1 に、敷地面積 200.00 m ² 、延床面積 101.85 m ² の橘出張所を新築整備した。
平成 24 年	10 月	1 日	橘出張所の運用を開始した。
平成 24 年	11 月	16 日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により西消防署救急 7 号車を更新整備し東消防署救急 7 号車として運用を開始した。
平成 24 年	12 月	14 日	東消防署屈折はしご付消防ポンプ自動車を、はしご付消防自動車に更新整備した。
平成 25 年	2 月	19 日	神戸分団消防ポンプ自動車(CD- I 型)を更新整備した。
平成 25 年	4 月	8 日	軽救急車を東西消防署に各 1 台ずつ新規導入し、運用を開始した。
平成 25 年	7 月	6 日	西条市小松総合支所改修に伴い、小松分団蔵置所を移転改修し、車庫を新築整備した。詰所：RC 造 2 階建 129.21 m ² 、車庫：72.98 m ²
平成 25 年	10 月	1 日	西条市消防団条例を改正し、消防団条例定数を 1,907 名から 1,775 名に改正した。
平成 25 年	12 月	26 日	全国共済農業協同組合連合会愛媛県本部から高規格救急自動車の寄贈を受け、西消防署救急 4 号車として更新整備した。

平成 26 年	2 月	15 日	氷見分団消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を更新整備した。
平成 26 年	3 月	1 日	消防救急デジタル無線を運用開始した。
平成 26 年	3 月	14 日	飯岡出張所の敷地を 149.04 m ² 拡張し、延床面積 46.76 m ² の車庫を増築するとともに、仮眠室個室化等の建物一部改修を行った。 敷地面積 469.09 m ² 、延床面積 141.96 m ² 。
平成 26 年	12 月	1 日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により東消防署ポンプ 1 号車（CD-Ⅰ型）を更新整備した。
平成 26 年	12 月	13 日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により西消防署救助工作車を更新整備した。
平成 27 年	2 月	1 日	消防防災施設整備費補助事業により消防緊急通信指令システムを更新整備した。
平成 27 年	2 月	6 日	市道船屋王至森寺線整備に伴う国道 11 号線歩道拡張に伴い、飯岡出張所敷地の国道に面した部分が 39.22 m ² 歩道として収容され、飯岡出張所の敷地面積が 429.87 m ² となった。
平成 27 年	3 月	27 日	三芳分団の 1 部・2 部統合に伴い、旧 2 部の施設解体及び 1 部を建替えて分団拠点施設を新築整備した。 施設:鉄骨造 2 階建ガルバリウム鋼板張り、延床面積:157.80 m ²
平成 27 年	10 月	13 日	東消防署資機材搬送車を更新整備した。
平成 27 年	11 月	1 日	東消防署救助工作車（Ⅱ型）を更新整備した。
平成 27 年	12 月	1 日	西消防署ポンプ 1 号車を更新整備した。
平成 28 年	3 月	22 日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により消防本部査察指導車を更新整備した。
平成 28 年	4 月	1 日	危機管理課と連携して防災行政無線を運用開始した。
平成 28 年	11 月	1 日	東消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水-Ⅱ型）を更新整備した。
平成 28 年	11 月	2 日	東消防署災害対応特殊救急自動車を更新整備した。
平成 29 年	2 月	16 日	松山市消防局、県立中央病院DMA T、県ドクターヘリ合同により合同広域応援連携訓練を実施した。
平成 29 年	3 月	22 日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により周布分団消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）を更新整備した。
平成 29 年	3 月	22 日	加茂分団下津池蔵置所を廃止し、加茂分団荒川蔵置所に移転し、車庫を新築した。プレハブ造平屋建、延床面積 16.35 m ²
平成 29 年	3 月	30 日	西消防署スノーケル車を廃止し、小型空中作業車を整備した。
平成 29 年	4 月	1 日	総務省消防庁へ職員 1 名を派遣した。
平成 29 年	9 月	21 日	河北出張所開設に伴う救急隊増設に向け、消防部局の定員が 12 名増員され条例定数 155 名となる。
平成 29 年	10 月	25 日	市町村合併特例事業により氷見分団蔵置所を氷見丙 485 番地 1 の敷

			地に新築整備した。
			施設:鉄骨造鋼板葺き平屋建、延床面積:192.62 m ²
平成 30 年	2 月	9 日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により西消防署救急 6 号車を更新整備した。
平成 30 年	3 月	3 日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により三芳分団消防ポンプ自動車 (CD- I 型) を更新整備した。
平成 30 年	3 月	30 日	市町村合併特例事業により東消防署化学車を更新整備した。
平成 30 年	4 月	1 日	消防長事務部局に 11 名 (うち女性 1 名) 新規採用され、実員 147 名となる。
平成 30 年	9 月	7 日	女性 1 名採用により、消防本部 2 階倉庫を改修し、女性消防吏員用更衣室を整備した。
平成 30 年	12 月	10 日	市町村合併特例事業により西消防署化学車を更新整備した。
平成 31 年	1 月	21 日	西消防署 1 階倉庫を改修し、女性消防吏員用施設を整備した。
平成 31 年	2 月	19 日	公益財団法人日本消防協会から西条市消防団が消防団防災学習・災害活動車両の寄贈を受け、団本部指揮車として運用を開始した。
平成 31 年	2 月	21 日	市町村合併特例事業により西消防署救急 5 号車を更新整備した。
平成 31 年	2 月	28 日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により大町分団消防ポンプ自動車 (CD- I 型) を更新整備した。
平成 31 年	4 月	1 日	消防長事務部局に 8 名新規採用され、実員数 154 名となる。
令和 元年	8 月	1 日	消防本部総括指揮車を廃止し、事務連絡車を更新整備した。
令和 元年	8 月	28 日	実報寺甲 196 番地 4 に、敷地面積 519.02 m ² 、木造平屋建、延床面積 151.29 m ² の全国初の CLT パネル工法を使用した西消防署河北出張所 (救急出張所) を新築整備した。
令和 元年	10 月	1 日	西消防署河北出張所の運用を開始した。 組織の改編により、消防本部指揮隊から消防署指揮隊へ変更し運用を開始する。
令和 2 年	3 月	6 日	市町村合併特例債事業により東消防署救急 1 号車を更新整備した。
令和 2 年	3 月	17 日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により小松分団消防ポンプ自動車 (CD- I 型) を更新整備した。
令和 2 年	3 月	28 日	総務省消防庁より救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車 (3.5 t 未満) が貸与され、壬生川分団第 2 部へ配備した。
令和 2 年	4 月	1 日	消防長事務部局に 3 名新規採用され、実員数 155 名となる。
令和 2 年	10 月	12 日	西消防署に配備していたタンク 2 号車を廃止し、東消防署に配備していた大型水槽車を西消防署に配備した。
令和 2 年	10 月	16 日	総務省消防庁より緊急援助消防隊車両として愛媛県では初めて、津波・大規模風水害対策車が配備され運用を開始した。
令和 2 年	11 月	18 日	台風 10 号の災害により大保木分団大檜蔵置所が倒木により損壊し、地元自治会との協議の上廃止とした。

令和2年	12月	22日	緊急消防援助隊整備補助金事業により、新型コロナウイルス感染症患者等搬送用資機材として、搬送用アイソレータ装置を購入整備した。
令和3年	3月	9日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により禎瑞分団消防ポンプ自動車（CD-1）を更新整備した。
令和3年	4月	1日	西条市消防団桜樹分団を中川分団に統合し1団2支団28分団とした。
令和3年	4月	1日	西条市消防団条例を改正し、消防団条例定数を1,775名から1,748名に改正した。
令和3年	4月	1日	消防長事務部局に6名新規採用され、実員数154名となる。
令和4年	1月	10日	楠河分団統合に伴い、楠河分団蔵置所を楠甲506番地1の敷地に新築整備した。 施設：鉄骨造ガルバリウム鋼板葺2階建、延床面積：197.23㎡
令和4年	2月	24日	東消防署指揮車を更新整備した。
令和4年	3月	19日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業及び緊急防災・減災事業債を活用し、丹原分団第3部小型動力ポンプ付積載車を更新整備した。
令和4年	3月	21日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業及び緊急防災・減災事業債を活用し、徳田分団第5部小型動力ポンプ付軽四積載車を更新整備した。
令和4年	4月	1日	消防長事務部局に5名（うち女性2名）が新規採用され、実員154名（うち女性3名）となる。
令和5年	2月	12日	緊急防災・減災事業債を活用し、吉岡分団第1部小型動力ポンプ付軽四積載車を更新整備した。
令和5年	3月	1日	西条市消防緊急通信指令システム改修工事により、西条市NET119緊急通報システムの整備を行い、本運用を開始した。
令和5年	3月	24日	緊急防災・減災事業債を活用し、西消防署救急4号車を更新整備した。
令和5年	4月	1日	防災対策事業債を活用し、西条市消防緊急通信指令システム主要装置の部分更新を行い、指令システム全体更新整備までの長寿命化を図った。
令和5年	4月	1日	消防長事務部局に4名（うち女性1名）が新規採用され、実員154名（うち女性4名）となる。
令和5年	8月	19日	石油貯蔵設備立地対策等交付金事業により国安分団消防ポンプ自動車（CD-1）を更新整備した。（令和4年度繰越事業）
令和5年	12月	28日	緊急防災・減災事業債を活用し、西消防署災害対応特殊ポンプ自動車（CD-1）を更新整備した。
令和6年	3月	13日	石油貯蔵設備立地対策等交付金事業及びにより緊急防災・減災事業債を活用し、多賀分団第3部小型動力ポンプ付積載車及び壬生川分団第3部小型動力ポンプ付軽四積載車を更新整備した。
令和6年	4月	1日	西条市消防団加茂分団を神戸分団に統合し1団2支団27分団とした。
令和6年	4月	1日	西条市消防団条例を改正し、消防団条例定数を1,748名から1,673

			名に改正した。
令和 6 年	4 月	1 日	消防長事務局に 5 名（うち女性 1 名）が新規採用され、実員が 153 名（うち女性 5 名）となる。
令和 6 年	11 月	29 日	丹原分団統合に伴い、丹原サービスセンターの一部を詰所に改修、蔵置所を新築整備した。 詰所：RC 造 3 階建のうち 2 階部分、延床面積 131.36 m ² 蔵置所：鉄骨造 2 階建、延床面積 110.66 m ²
令和 7 年	1 月	31 日	西条・神拝分団共同蔵置所を神拝甲 511 番地 2 の敷地に新築整備した。木造 2 階建、延床面積：251.73 m ²
令和 7 年	3 月	6 日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により田野分団第 2 部小型動力ポンプ付積載車を更新した。
令和 7 年	3 月	7 日	緊急防災・減災事業債により救急 7 号車を更新した。旧救急 7 号車は非常用救急車（救急 8 号車）となり、計 8 台の運用となる。
令和 7 年	3 月	7 日	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により庄内分団第 2 部小型動力ポンプ付軽四積載車を更新した。
令和 7 年	4 月	1 日	消防長事務局に 3 名が新規採用され、実員が 153 名（うち女性 5 名）となる。

(2) 旧西條市消防本部の沿革

昭和 25 年	7 月	1 日	西條市に常備消防が設置された。 職員数 18 名、三輪ポンプ自動車 1 台で出発した。
昭和 27 年	8 月	1 日	西條市消防本部及び消防署が設置され、助役近藤続行氏が消防長事務取扱となり消防部局の定員が 22 名となった。
昭和 28 年	7 月	6 日	西條市水防協議会条例が定められた。
昭和 29 年	4 月	1 日	松山測候所から気象観測業務の委託を受け、西條観測所として正式に気象観測業務を開始した。
昭和 31 年	11 月	3 日	神拝甲 511 の 2 の敷地に建築面積 305.23 m ² 、延面積 434.98 m ² の鉄筋コンクリート 2 階建(1 部 3 階、望楼 20 メートル)の消防庁舎を建設した。
昭和 33 年	10 月	15 日	消防部局の定員が 24 名となる。
	12 月		市長用の乗用車を改造し、四国で初めて救急業務を開始した。
昭和 35 年	3 月	20 日	愛媛県知事から優良消防機関として(消防本部、署、団)表彰旗が授与された。
	6 月	16 日	西條市危険物安全協会が会員数 42 会員で設立された。
昭和 36 年	5 月	3 日	西條市医師会において、日曜、祝祭日の当番病院制を開始した。
	7 日	10 日	日本損害保険協会から四輪消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置した。

昭和 37 年	8 月	24 日	西條商店街防火推進協議会が 7 町 270 世帯で結成された。
	7 月	1 日	毎月 1 日を「防火の日」と定めた。
昭和 38 年	3 月	25 日	救急自動車(1B 型)を消防署に配置した。
昭和 39 年	11 月	20 日	消防部局の定員が 25 名となる。
昭和 43 年	3 月	13 日	消防部局の定員が 27 名となる。
	3 月	15 日	西條市医師会において、夜間の当番病院制が開始された。
昭和 46 年	10 月	1 日	消防長部局の定員が 32 名となる。
昭和 49 年	3 月	20 日	救急自動車(2B 型)を日本自動車工業会から寄贈を受けた。
	5 月	1 日	消防部局の定員が 34 名となる。
昭和 50 年	3 月	4 日	消防庁長官から竿頭綬を受けた。
	6 月		消防署に救助隊を発足させた。
	10 月	7 日	救急自動車(2B 型)を愛媛県共済農業共同組合連合会から寄贈を受けた。
	12 月	31 日	昭和 50 年の火災件数は、23 件と常備消防発足以来最少だった。
昭和 51 年	9 月	8 日	17 号台風が来襲、未曾有の雨台風(降雨量 868.6mm)となり家屋倒壊 6 戸、死者 1 名、早川決壊等多大の被害を受けた。
	9 月	13 日	
昭和 52 年	3 月	30 日	西條ライオンズクラブから水難救助用アクアリングの寄贈を受けた。
昭和 54 年	11 月	14 日	四輪消防ポンプ自動車(消防署)を日本損害保険協会から寄贈を受けた。
昭和 57 年	3 月	10 日	新田 183 番地の 1 に敷地面積 3,673.00 m ² 、延面積 1,885.94 m ² の近代施設の整った新庁舎が竣工し、3 月 25 日に落成式を挙げた。
	3 月	10 日	庁舎建設に合わせて消防救急指令装置及び無線制御サイレン広報装置を整備完了した。
	4 月	1 日	消防部局に 4 名新規採用され、実員 41 名となる。
	8 月	9 日	日本消防協会から救急車の寄贈を受け更新した。
	10 月	27 日	日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け消防署に配置した。
昭和 58 年	3 月	26 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車(25m 級)を配置した。
	10 月	25 日	第 20 回全国消防長会救急委員会を西條市農協会館で開催した。
昭和 60 年	11 月	21 日	西條市幼年消防クラブ連絡協議会発足。
昭和 61 年	3 月	7 日	大阪銘板株式会社から軽可搬消防ポンプ 9 台、空気呼吸器 24 基の寄贈を受け整備した。
昭和 62 年	2 月	10 日	日本消防協会長から優良婦人消防隊として宮ノ下婦人防火クラブに表彰旗が授与された。
	4 月	1 日	消防本部の機構改革により総務課と予防課を設置した。
平成元年	2 月	17 日	消防と警察間の専用電話を設置した。
平成 2 年	4 月	1 日	高速自動車道供用開始に伴う救急隊増設により、消防部局の定

			員が 8 名増員され 49 名となる。
平成 3 年	12 月 13 日		愛媛県共済農業協同組合連合会から救急車(2B 型)の寄贈を受けた。
	3 月 30 日		飯岡 3565 番地の 9 に敷地面積 320.05 m ² 、延べ面積 95.20 m ² の救急隊分遣所が竣工し、4 月 1 日開所式をした。
	4 月 1 日		消防部局に 4 名新規採用され実員 49 名となる。
	10 月 16 日		第 7 回全国婦人消防操法大会(横浜市)に宮ノ下婦人防火クラブが出場し第 10 位に入賞した。
平成 4 年	9 月 29 日		日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受ける。
平成 5 年	2 月 16 日		日本消防協会長から優良婦人消防隊として宮ノ下婦人防火クラブへ表彰旗が授与された。
	7 月 16 日		日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、消防署に配置した。
	8 月 18 日		日本消防協会から査察広報車の寄贈を受け、予防課に配置した。
平成 6 年	4 月 1 日		消防部局の定員 53 名となる。
			消防本部の機構改革により予防課を廃止し総務課に統合した。
平成 7 年	2 月 10 日		西條石鏈ライオンズクラブからレコーディングレサシアン(3 体)の寄贈を受けた。
	5 月 17 日		救急救命士が誕生した。
平成 9 年	2 月 1 日		電源地域産業再配置促進費補助事業で消防ポンプ自動車を更新した。
	3 月 6 日		電源地域産業再配置促進費補助事業で水槽付消防ポンプ自動車を更新した。
	3 月 7 日		電源地域産業再配置促進費補助事業で化学消防ポンプ自動車を更新した。
	11 月 21 日		愛媛県共済農業協同組合連合会から救急車(2B 型)の寄贈を受けた。
平成 10 年	1 月 26 日		西條市医師会と救急救命処置に関する協定を締結した。
平成 11 年	1 月 20 日		消防防災設備整備費補助事業で高規格救急自動車を整備し運用を開始した。
	4 月 1 日		消防部局の定員が 58 名となる。
			消防署の機構改革により警防係を設置した。
	5 月 1 日		消防署に山岳救助隊(6 名)を編成した。
平成 13 年	3 月 15 日		消防庁舎 2 階を増改築し、通信指令室を整備、79.46 m ² の増築となり、1,699.4 m ² となる。
平成 13 年	3 月 24 日		15 時 27 分頃、安芸灘を震源地とする芸予地震が発生(マグニチュード 6.7)西條市の震度は震度 5 弱、負傷者 2 名、建物一部損壊 85 棟。
	4 月 1 日		消防署の機構改革により通信係を設置した。
			毎月第 3 日曜日を「応急手当の日」と定めた。
平成 14 年	4 月 1 日		電源地域産業再配置促進費補助事業で消防緊急通信指令システムを

			整備し、運用を開始した。
平成 15 年	4 月	1 日	消防本部の機構改革により、警防課を設置した。
			消防防災設備整備費補助事業で災害対応特殊救急自動車(高規格救急自動車)を整備し、運用を開始した。
	12 月	20 日	電源地域産業再配置促進費補助事業で消防無線サイレン・広報制御装置子局 17 ヶ所を増設し、運用を開始した。
平成 16 年	1 月	15 日	消防防災設備整備費補助事業で災害対応特殊消防ポンプ自動車を整備した。
	9 月	29 日	台風 21 号が来襲、死者 4 名ほか市内に甚大な被害が発生。
	11 月	1 日	西條市、東予市、丹原町、小松町の 2 市 2 町の合併に伴い、西條市消防本部と周桑消防本部が統合し西条市消防本部となる。

(3) 周桑事務組合周桑消防本部の沿革

昭和 47 年	4 月	26 日	愛媛県指令第 300 号により周桑消防事務組合設立。
	4 月	20 日	周桑消防本部・署庁舎竣工。
昭和 48 年	3 月	26 日	消防長(非常勤)以下 30 名、ポンプ車 1 台、指令車 1 台、救急車 1 台、小型ポンプ 1 台で消防業務を開始する。
	4 月	1 日	愛媛県指令第 270 号により周桑事務組合周桑消防本部・署となる。
	12 月		周桑農業協同組合から救急自動車の寄贈を受ける。
昭和 51 年	12 月		日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和 52 年	8 月		消防長以下 53 名となる。
昭和 53 年	9 月		日本消防協会から広報車の寄贈を受ける。
昭和 55 年	3 月		別棟車庫竣工する。
昭和 56 年	2 月		屈折はしご付き消防ポンプ自動車を配備する。
昭和 57 年	12 月		愛媛県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け配備した。
昭和 58 年	9 月		東予ライオンズクラブから査察広報車の寄贈を受け配備した。
	10 月		救助隊(兼任)設置する。
	12 月		救助訓練塔竣工する。
昭和 60 年	5 月		日本消防協会から救急車の寄贈を受け更新した。
昭和 62 年	9 月		日本損害保険協会から水槽付き消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和 63 年	3 月		消防救急指令システム及びサイレン吹鳴設備の工事完成、テレガイド 5 回線設置する。
昭和 63 年	12 月		愛媛県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け更新した。
平成元年	4 月	1 日	消防長以下 54 名となる。
平成 2 年	8 月		日本消防協会から広報指令車の寄贈を受け更新した。
	9 月		日本防火協会から防火委員会へ防火広報車の寄贈を受け配備した。
平成 4 年	12 月	15 日	救助工作車(Ⅱ型)を配備した。

平成 5 年	2 月 24 日	日本自動車工業会から救急車の寄贈を受け配備した。
	4 月 1 日	消防長以下 61 名、消防車両等 15 台となる。
	10 月 27 日	愛媛県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け配備した。
平成 6 年	11 月 30 日	周桑消防署小松出張所新築工事竣工する。
平成 7 年	9 月 14 日	消防本部庁舎の改修工事を実施した。
平成 8 年	4 月 25 日	救急救命士が誕生した。
	12 月 24 日	Ⅲ型化学消防ポンプ自動車を配備する。
平成 9 年	4 月 1 日	消防長以下 61 名、消防車両等 16 台となる。
	12 月 18 日	高規格救急自動車及び高度救命資器材等を配備する。
平成 10 年	3 月 12 日	サイレン吹鳴制御装置の更新をする。
	4 月 1 日	消防長以下 64 名、消防車両等 17 台となる。
	10 月 1 日	三部制勤務の試行
平成 11 年	4 月 1 日	消防長以下 69 名、消防車両等 17 台となる。 三部制勤務の実施、山岳救助隊の編成を行う。
平成 12 年	4 月 1 日	消防長以下 73 名、消防車両等 16 台となる。
	12 月 20 日	高規格救急自動車を整備し小松出張所に配備する。
平成 13 年	4 月 1 日	消防本部の組織を総務課・警防課・予防課とする。
平成 15 年	10 月 15 日	周桑消防本部・署庁舎の基本設計完了
	12 月 8 日	周桑消防本部・署庁舎の建設用地購入
平成 16 年	2 月	周桑消防 30 周年記念誌を発行する。
	11 月 1 日	西條市、東予市、丹原町、小松町の 2 市 2 町の合併に伴い西條市消防本部と周桑消防本部が統合し西条市消防本部となる。

(4) 西條市消防団の沿革

明治 42 年	2 月 16 日	明治 27 年消防組規則(勅令第 15 号)及び県令消防組施行細則に基づき公設西條町消防組を設立した。
大正 14 年	2 月 11 日	1 町 3 ヶ村(西條町、神拝村、大町村、玉津村)が合併し、西條町とし消防組を 10 部制、定員 406 名とし、初代組頭に松永理三郎氏が就任した。
昭和 14 年	4 月 1 日	警防団(勅令第 20 号)の公布により消防組を警防団と改称し、消防業務の外、防空救護の業務に従事した。 消防組頭の大西幸輔氏が警防団長に就任した。
昭和 16 年	4 月 29 日	2 町、3 ヶ村(西條町、飯岡村、神戸村、橘村、氷見町)が合併して西條市制を布いたが警防団は合併前の形で運営された。
昭和 18 年	2 月 25 日	西條市の 5 警防団が統合され、8 個分団、定員 880 名となる。
昭和 22 年	9 月 13 日	消防団令に基づき、昭和 22 年 9 月 12 日をもって西條市警防団を解消し西條市消防団が発足した。

昭和 31 年	9 月	28 日	大保木村、加茂村、大生院村の一部の合併により消防団の編成を 11 個分団とし、定員を 550 名とした。
昭和 33 年	2 月		日本消防協会会長から優良消防団として表彰を受けた。
	3 月	26 日	西條市消防団員公務災害補償条例(30 年条例第 6 号)を廃止し、新しく消防団員等公務災害補償等共済基金法(昭和 31 年法律第 107 号)に基づき西條市消防団員等公務災害補償条例(条例第 6 号)として制定した。
	9 月	16 日	愛媛県消防操法大会で玉津分団が三輪ポンプ自動車の部で優勝した。
昭和 35 年	3 月	20 日	愛媛県知事から優良消防機関として表彰旗が授与された。
昭和 36 年	3 月	21 日	愛媛県消防操法大会で禎瑞分団が手引動力ポンプの部で優勝した。
昭和 39 年	12 月	18 日	消防団本部の副団長を 3 人制とした。
昭和 46 年	12 月	18 日	神戸分団ポンプ蔵置所・詰所を新築した。 洲之内字上郷甲 302-2 耐火 2F 63.60 m ² 105.33 m ²
昭和 47 年	8 月	15 日	西條分団ポンプ蔵置所・詰所を新築した。 明屋敷 159-1 耐火 2F 66.00 m ² 96.00 m ²
	12 月	7 日	神拝分団ポンプ蔵置所・詰所を新築した。 神拝甲 345-4 耐火 2F 60.24 m ² 93.72 m ²
昭和 48 年	9 月	18 日	氷見分団ポンプ蔵置所・詰所を公民館併設で新築した。 氷見乙 1120-1 耐火 2F 82.77 m ² 132.82 m ²
昭和 50 年	3 月	30 日	飯岡分団ポンプ蔵置所・詰所を新築した。 飯岡 2247-1 耐火 2F 73.32 m ² 115.80 m ²
昭和 51 年	3 月	31 日	大保木分団ポンプ蔵置所・詰所を新築した。 大保木 2 号 4-2 鉄骨 CB1F 39.75 m ²
昭和 52 年	3 月	30 日	禎瑞分団ポンプ蔵置所・詰所を公民館兼用で新築した。 禎瑞加茂 3 番 869 耐火 2F 72.84 m ² 137.28 m ²
昭和 53 年	7 月	18 日	橘分団ポンプ蔵置所・詰所を公民館と併設して新築した。 檜ノ木 48-1 耐火 2F 78.485 m ² 116.48 m ²
昭和 55 年	2 月	29 日	加茂分団蔵置所・詰所を新築した。 加茂荒川乙 125-3 地先 鉄骨 CB1F 39.74 m ²
昭和 59 年	3 月	9 日	玉津分団ポンプ蔵置所・詰所を新築した。 玉津 281-10 RC2F 57.24 m ² 93.72 m ²
昭和 60 年	2 月	8 日	日本消防協会会長から優良消防団として竿頭綬が授与された。
昭和 62 年	11 月	5 日	大町分団ポンプ蔵置所・詰所を新築した。 大町 250-81 RC2F 建築面積 56.72 m ² 延面積 97.32 m ²
昭和 63 年	6 月	1 日	愛媛県知事から優良消防団として竿頭綬が授与された。
平成 4 年	3 月	4 日	消防庁長官から西條市消防団へ表彰旗が授与された。
平成 7 年	2 月	10 日	日本消防協会会長から優良消防団として竿頭綬が授与された。

平成 10 年	5 月	1 日	消防団本部の副団長を 4 人制とした。
平成 13 年	4 月	1 日	消防団員定数の見直しのため西條市消防団の組織及び運営等に関する規則の一部を改正した。
	8 月	1 日	西條市消防団に山岳遭難救助隊(隊長以下 29 名)を結成した。
平成 15 年	2 月	28 日	玉津分団ポンプ蔵置所・詰所を 36.0 m ² 増築した。 既存 93.72 m ² 増築 36.0 m ² 合計 129.72 m ²
	2 月	28 日	大町分団ポンプ蔵置所・詰所を 35.98 m ² 増築した。 既存 97.32 m ² 増築 35.98 m ² 合計 133.30 m ²
平成 16 年	11 月	1 日	西條市、東予市、丹原町、小松町の 2 市 2 町の合併により消防団も 1 団に統合し西条市消防団となる。

(5) 東予市消防団の沿革

明治 26 年	6 月	県令第 49 号により、壬生川村(公設)消防組が設置された。
明治 30 年		明治 30 年～33 年にかけて関係者は、設置された組織作りに日夜努力し、遂次消防組の体制を作り上げた。
明治 34 年		壬生川村から壬生川町への移行にともない、町消防組として消防整備に努力した。
大正元年	11 月	壬生川町消防組を改組し、腕用ポンプ 2 台、人員は組頭 1 名、小頭 4 名、消防組手 45 名で発足した。
昭和 14 年	4 月	警防団と改組した。
昭和 15 年		壬生川町と多賀村が合併し、腕用ポンプ 9 台、団員 195 名となった。
昭和 22 年	10 月	警防団を消防団と改組した。
昭和 28 年		昭和 28 年～29 年三輪ポンプ自動車 1 台、手引ガソリンポンプ 1 台、小型可搬動力ポンプ 6 台を充実した。
昭和 29 年	12 月	愛媛県知事から施設充実表彰が授与された。
昭和 30 年	1 月	周布村、吉井村、国安村、吉岡村、壬生川町の 5 ヶ町村が合併し同時に消防団も合併して団員 427 名にて、5 分団及び機動班を編成する。 消防ポンプ自動車 1 台、三輪ポンプ自動車 1 台、三輪輸送車 1 台、手引ガソリンポンプ 1 台、小型可搬動力ポンプ 18 台、腕用ポンプ 29 台を保有した。
昭和 31 年	2 月	日本消防協会長から施設充実表彰が授与された。
昭和 36 年	2 月 21 日	日本消防協会長から表彰旗が授与された。
昭和 44 年	1 月 12 日	愛媛県知事から竿頭綬が授与された。
	9 月	日本消防協会長から竿頭綬が授与された。
昭和 46 年	1 月	壬生川町と三芳町が合併し、東予町となり消防団も同時に合併し、三芳町の 3 分団を編入した。
昭和 47 年	10 月 1 日	東予市となった。

昭和 49 年	1 月	11 日	愛媛県知事から竿頭綬が授与された。
昭和 50 年			消防力は、団員数 667 名 9 分団、ポンプ車 6 台、小型動力ポンプ 41 台となる。
昭和 55 年			消防力は、団員数 668 名 9 分団、ポンプ車 6 台、小型ポンプ積載車 8 台、小型動力ポンプ 36 台となる。
	3 月	5 日	日本消防協会長から竿頭綬が授与された。
昭和 56 年	2 月	11 日	日本消防協会長から竿頭綬が授与された。
昭和 58 年	2 月	10 日	日本消防協会長から表彰旗が授与された。
昭和 60 年			消防力は、団員数 674 名 9 分団、ポンプ車 5 台、小型ポンプ積載車 13 台、小型動力ポンプ 36 台、その他の車両 1 台となる。
	1 月	20 日	愛媛県知事から表彰旗が授与された。
平成元年			消防力は、団員数 674 名 9 分団、ポンプ車 5 台、小型ポンプ積載車 23 台、小型動力ポンプ 34 台、その他の車両 1 台となる。
平成 5 年			消防力は、団員数 674 名 9 分団、指令車 1 台、ポンプ車 5 台、小型ポンプ積載車 31 台、小型動力ポンプ 39 台となる。
平成 8 年	2 月	9 日	日本消防協会長から竿頭綬が授与された。
平成 10 年			消防力は、団員数 674 名 9 分団、指令車 1 台、ポンプ車 5 台、小型ポンプ積載車 33 台、小型動力ポンプ 39 台となる。
平成 12 年	5 月	26 日	日本消防協会長から表彰旗が授与された。
平成 15 年			消防力は、団員数 673 名 9 分団、指令車 1 台、ポンプ車 5 台、小型ポンプ積載車 33 台、小型動力ポンプ 36 台となる。
平成 16 年	11 月	1 日	西條市、東予市、丹原町、小松町の 2 市 2 町の合併により消防団も 1 団に統合し西条市消防団となる。

(6) 丹原町消防団の沿革

明治 31 年	3 月		丹原町消防組を創設する。 腕用ポンプ 2 台、運龍 2 台、人員は組頭 1 名、小頭 7 名、消防組手 83 名で発足した。
昭和 31 年	10 月	1 日	丹原町、徳田村、田野村、中川村、桜樹村の 5 ヶ町村が合併し、消防団も同時に合併した。
昭和 44 年	2 月	20 日	日本消防協会長から表彰旗が授与された。
昭和 46 年	1 月	10 日	愛媛県知事から竿頭綬が授与された。
昭和 50 年			消防力は、団員数 483 名 5 分団、ポンプ車 3 台、小型動力ポンプ積載車 9 台、小型動力ポンプ 25 台となる。
昭和 52 年	1 月	14 日	愛媛県知事から表彰旗が授与された。
昭和 54 年	3 月	5 日	消防庁長官から竿頭綬が授与された。
昭和 55 年			消防力は、団員数 483 名 5 分団、ポンプ車 3 台、小型動力ポンプ積

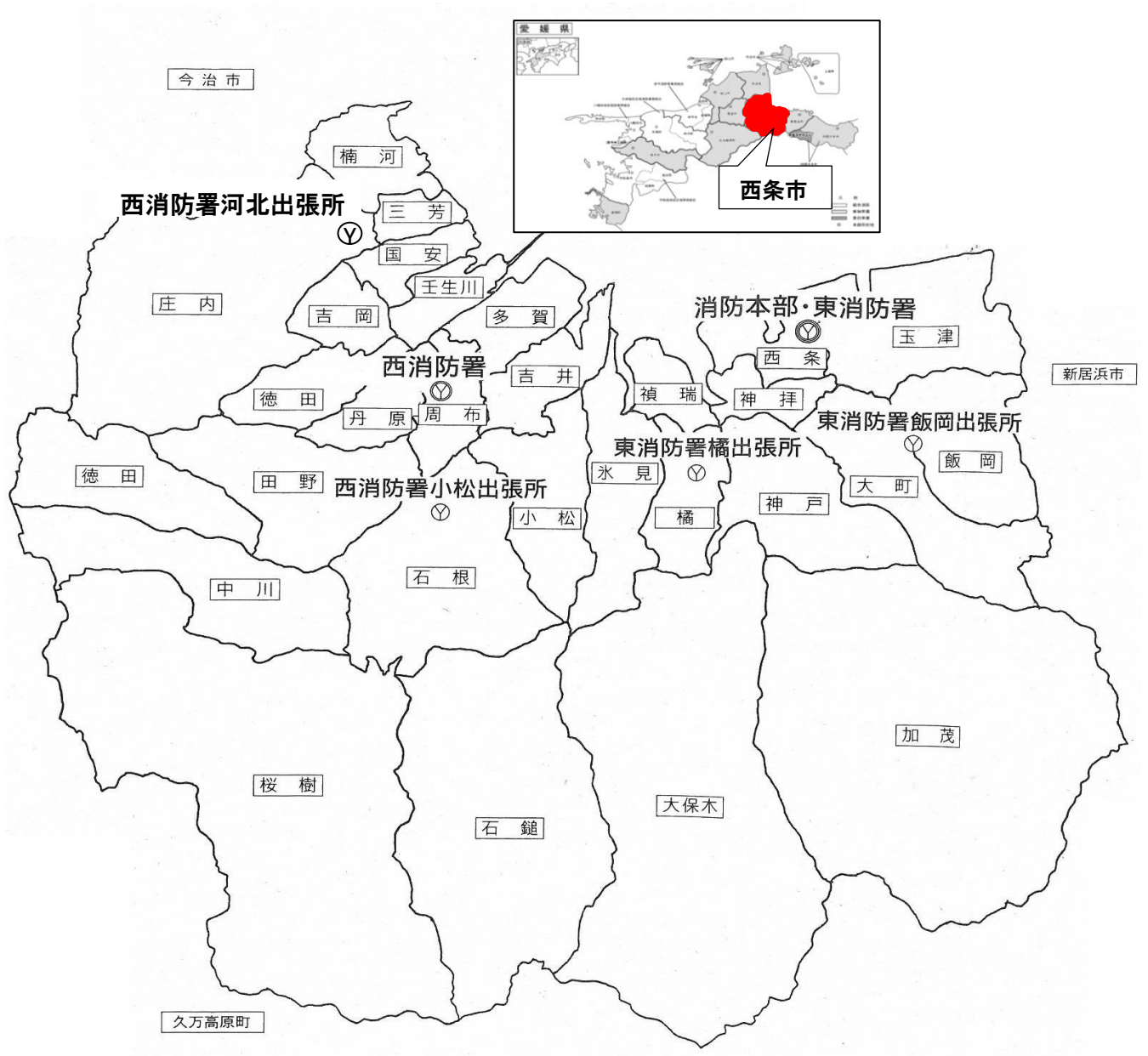
			載車 13 台、小型動力ポンプ 27 台となる。
昭和 60 年			消防力は、団員数 483 名 5 分団、ポンプ車 3 台、小型動力ポンプ積載車 12 台、小型動力ポンプ 32 台となる。
昭和 61 年	2 月	10 日	日本消防協会長から竿頭綬が授与された。
平成元年			消防力は、団員数 483 名 5 分団、ポンプ車 3 台、小型動力ポンプ積載車 17 台、小型動力ポンプ 34 台となる。
平成 5 年			消防力は、団員数 480 名 5 分団、ポンプ車 3 台、小型動力ポンプ積載車 20 台、小型動力ポンプ 34 台となる。
平成 9 年	2 月	14 日	日本消防協会長から表彰旗が授与された。
平成 10 年			消防力は、団員数 484 名 5 分団、ポンプ車 3 台、小型動力ポンプ積載車 26 台、小型動力ポンプ 32 台となる。
平成 11 年	3 月	7 日	愛媛県知事から竿頭綬が授与された。
平成 13 年	2 月	9 日	日本消防協会長から竿頭綬が授与された。
平成 15 年			消防力は、団員数 466 名 5 分団、ポンプ車 3 台、小型動力ポンプ積載車 27 台、小型動力ポンプ 32 台となる。
平成 16 年	11 月	1 日	西條市、東予市、丹原町、小松町の 2 市 2 町の合併により消防団も 1 団に統合し西条市消防団となる。

(7) 小松町消防団の沿革

明治 31 年	11 月		小松町消防組を創設する。
昭和 14 年	4 月		小松町警防団に改称する。
昭和 22 年	5 月		小松町消防団となる。
昭和 30 年	4 月		石根村、石鎚村と小松町の 3 ヶ町村が合併し、消防団も同時に合併する。
昭和 50 年			消防力は、団員数 192 名 2 分団、ポンプ車 2 台、小型動力ポンプ 16 台となる。
	1 月	19 日	愛媛県知事から竿頭綬が授与された。
昭和 51 年	3 月	3 日	日本消防協会長から竿頭綬が授与された。
昭和 55 年			消防力は、団員数 182 名 2 分団、ポンプ車 2 台、搬送車 2 台、小型動力ポンプ 15 台となる。
昭和 60 年			消防力は、団員数 181 名 2 分団、ポンプ車 2 台、搬送車 2 台、小型動力ポンプ 15 台、山林用軽小型ポンプ 2 台となる。
	3 月	6 日	消防庁長官から竿頭綬が授与された。
平成元年			消防力は、団員数 185 名 2 分団、ポンプ車 2 台、搬送車 2 台、小型動力ポンプ 15 台、山林用軽小型ポンプ 2 台となる。
平成 3 年	2 月	13 日	日本消防協会長から竿頭綬が授与された。
平成 5 年			消防力は、団員数 186 名 2 分団、ポンプ車 2 台、搬送車 2 台、小型

			動力ポンプ 15 台、山林用軽小型ポンプ 2 台となる。
平成 5 年	1 月	31 日	愛媛県知事から表彰旗が授与された。
平成 7 年	1 月	29 日	愛媛県知事から竿頭綬が授与された。
平成 9 年	3 月	5 日	消防庁長官から表彰旗が授与された。
平成 10 年			消防力は、団員数 186 名 2 分団、ポンプ車 2 台、小型動力ポンプ積 載車 2 台、小型動力ポンプ 17 台、山林用軽小型ポンプ 1 台となる。
平成 15 年			消防力は、団員数 184 名 2 分団、ポンプ車 2 台、積載車 2 台、小型 動力ポンプ 17 台、山林用軽小型ポンプ 2 台となる。
平成 16 年	11 月	1 日	西條市、東予市、丹原町、小松町の 2 市 2 町の合併により消防団も 1 団に統合し西条市消防団となる。

管内図



総 務 関 係

1 消 防 の 組 織

2 人 事

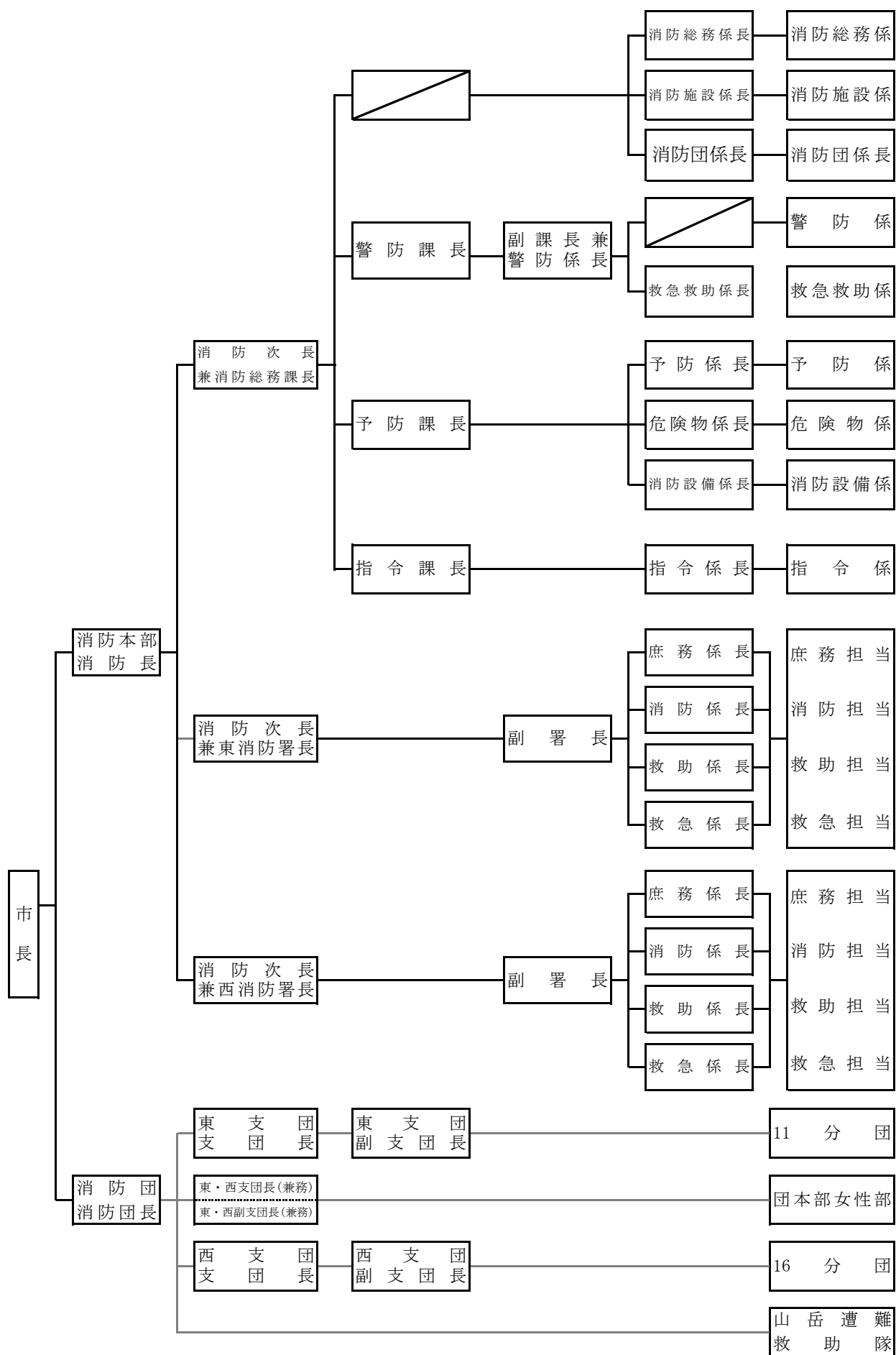
3 予 算

4 事 務 分 掌

5 消 防 庁 舎



1 消 防 の 組 織



2 人 事

(1) 歴代消防長

	氏 名	期 間
初 代	戸 田 誠 二 郎	就任 平成16年11月1日 ～ 退任 平成20年3月31日
二 代	西 原 孝 雄	就任 平成20年 4月1日 ～ 退任 平成21年3月31日
三 代	浅 田 隆 史	就任 平成21年 4月1日 ～ 退任 平成23年3月31日
四 代	伊 藤 良 二	就任 平成23年 4月1日 ～ 退任 平成25年6月30日
五 代	広 畑 隆	就任 平成25年 7月1日 ～ 退任 平成27年3月31日
六 代	中 路 忠 信	就任 平成27年 4月1日 ～ 退任 平成28年3月31日
七 代	宮 武 高 志	就任 平成28年 4月1日 ～ 退任 平成31年3月31日
八 代	近 藤 正 紹	就任 平成31年 4月1日 ～ 退任 令和 4年3月31日
九 代	石 川 克 也	就任 令和 4年 4月1日 ～

(2) 消防職員の配置状況

階級別 区 分			合 計	消 防 監	消 司 防 令 長	消 司 防 令	消 司 防 令 補	消 士 防 長	消 副 士 防 長	消 防 士
定 員			155							
実 員			153	1	6	25	28	46	14	33
職 員 配 置 状 況	本 部	消防長	1	1						
		消 防 総 務 課	8		1	1	2	3		1
		警 防 課	5		1	1	1	1	1	
		予 防 課	7		1	1	2	2	1	
		指 令 課	10		1	4	1	2	1	1
	東 消防 署	署 長	1		1					
		1部	20			2	4	9	1	4
		2部	20			3	3	7	2	5
		3部	20			3	3	7	1	6
	西 消防 署	署 長	1		1					
		1部	20			4	4	5	2	5
		2部	20			3	4	5	3	5
		3部	20			3	4	5	2	6

(3) 勤続年数調

階級別 区 分	消 防 監	消 司 令 長	消 司 防 令	消 司 防 令 補	消 士 防 長	消 副 士 防 長	消 防 士	合 計
1 年 未 満							3	3
1 ～ 5 年 未 満						2	18	20
5 ～ 10 年 未 満					6	7	12	25
10 ～ 15 年 未 満					25	5		30
15 ～ 20 年 未 満				4	15			19
20 ～ 25 年 未 満			1	5				6
25 ～ 30 年 未 満			8	11				19
30 年 以 上	1	6	16	8				31
人 員	1	6	25	28	46	14	33	153
平 均	38.0	33.8	30.6	25.9	12.9	5.8	3.7	17.8

(4) 年齢調

階級別 区 分	消 防 監	消 司 令 長	消 司 防 令	消 司 防 令 補	消 士 防 長	消 副 士 防 長	消 防 士	合 計
18 ～ 20 歳 未 満							4	4
20 ～ 25 歳 未 満							18	18
25 ～ 30 歳 未 満					3	9	10	22
30 ～ 35 歳 未 満					21	4	1	26
35 ～ 40 歳 未 満					17	1		18
40 ～ 45 歳 未 満				4	5			9
45 ～ 50 歳 未 満			5	12				17
50 ～ 55 歳 未 満		3	14	10				27
55 歳 以 上	1	3	6	2				12
人 員	1	6	25	28	46	14	33	153
平 均	58.0	54.8	52.4	49.1	34.5	29.0	23.2	39.5

令和7年4月1日現在

3 予 算

(1) 令和7年度当初予算概要

(単位：千円)

項 目	節	令 和 7 年 度
消 防 費		1,532,681
常 備 消 防 費		1,207,850
	給 料	556,515
	職 員 手 当 等	354,813
	共 済 費	185,638
	報 償 費	432
	旅 費	1,038
	需 用 費	41,780
	役 務 費	12,678
	委 託 料	43,723
	使 用 料 及 び 賃 借 料	5,266
	原 材 料 費	150
	負担金・補助及び交付金	5,799
	公 課 費	18
非 常 備 消 防 費		148,286
	報 酬	91,334
	報 償 費	258
	旅 費	582
	交 際 費	85
	需 用 費	5,786
	役 務 費	1,379
	委 託 料	919
	使 用 料 及 び 賃 借 料	1,619
	負担金・補助及び交付金	46,324
消 防 施 設 費		102,687
	需 用 費	15,435
	役 務 費	4,367
	使 用 料 及 び 賃 借 料	120
	工 事 請 負 費	16,390
	備 品 購 入 費	51,963
	負担金・補助及び交付金	12,266
	公 課 費	2,146

(単位：千円)

項 目	節	令 和 7 年 度
防 災 費		73,858
	報 酬	3,557
	職 員 手 当 等	2,535
	共 済 費	781
	報 償 費	584
	旅 費	87
	需 用 費	15,214
	役 務 費	8,532
	委 託 料	20,633
	使用料及び賃借料	10,816
	原 材 料 費	200
	備 品 購 入 費	2,297
	負担金・補助及び交付金	8,622

(2) 市一般会計予算額との比較

(単位：千円)

年次別/区分	市一般会計予算額	消防費予算額	市一般会計予算における 消防費の比率
令和7年度	50,440,000	1,532,681	3.0%

(3) 予算概要

(単位：千円)

消 防 費 予 算 額 (A)	内 訳							
	常備消防費 (B)	B/A×100	非 常 備 消 防 費 (C)	C/A×100	消防施設費 (D)	D/A×100	防災費 (E)	E/A×100
1,532,681	1,207,850	78.8%	148,286	9.7%	102,687	6.7%	73,858	4.8%

(4) 消防費と人口との比較

(単位：円)

令 和 7 年 度 消 防 費 予 算 額	1 世 帯 当 た り 消 防 費	1 人 当 た り 消 防 費	備 考
1,532,681,000	30,135	14,891	世 帯 数 50,860世帯 人 口 102,924人

4 事務分掌

消 防 本 部

消 防 総 務 課

- 1 消防事務の企画調整に関する事。
- 2 文書の収発及び保管保存に関する事。
- 3 職員の人事、管理、研修及び福利厚生に関する事。
- 4 渉外事務及び表彰に関する事。
- 5 賞じゅつ金に関する事。
- 6 消防庁舎等の保全に関する事。
- 7 消防予算の調整及び経理に関する事。
- 8 職員の給与、出張旅費その他給貸与品に関する事。
- 9 職員の公務災害に関する事。
- 10 職員の教育訓練派遣に関する事。
- 11 消防施設の整備及び維持管理に関する事。
- 12 消防職員委員会に関する事。
- 13 消防長会に関する事。
- 14 公印の保管に関する事。
- 15 消防団関係事務に関する事。
- 16 他の課に属しない事。

警 防 課

- 1 警防計画に関する事。
- 2 消防車両の整備、検査、登録及び更新に関する事。
- 3 消防水利整備計画及び開発行為に関する事。
- 4 水防計画に関する事。
- 5 消防防災に関する事。
- 6 メディカルコントロール体制に関する事。
- 7 救急医療機関及び救急関係団体との連絡調整に関する事。
- 8 消防相互応援協定及び緊急消防援助隊に関する事。
- 9 前各号に掲げるもののほか、警防業務に関する事。

予 防 課

- 1 火災予防の企画及び指導に関すること。
- 2 防火団体等の事務及び育成指導に関すること。
- 3 建築確認等の同意に関すること。
- 4 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- 5 防火対象物の査察、指導及び検査に関すること。
- 6 防火管理者の資格講習及び指導に関すること。
- 7 火災予防運動の計画に関すること。
- 8 危険物の規制及び管理調査に関すること。
- 9 火薬事務に関すること。
- 10 火災の調査及び報告に関すること。
- 11 り災証明に関すること。
- 12 危険物等の安全管理に関すること。
- 13 消防法令違反対象物の違反処理に関すること。
- 14 前各号に掲げるもののほか、予防業務に関すること。

指 令 課

- 1 出動指令に関すること。
- 2 気象観測事務に関すること。
- 3 警報等の受理及び伝達に関すること。
- 4 通信指令システムの整備及び保守管理に関すること。
- 5 無線局運用の適正化に関すること。
- 6 前各号に掲げるもののほか、通信指令業務に関すること。

各課共通事項

- 1 所管事務の事務改善に関すること。
- 2 所管事務の連絡調整に関すること。
- 3 所管事務の調査及び統計に関すること。
- 4 所管事務に係る予算執行に関すること。
- 5 所管事務に係る例規の制定及び改廃に関すること。
- 6 所管事務の広報に関すること。

消 防 署

- 1 災害活動に関すること。
- 2 災害現場における指揮及び安全管理に関すること。
- 3 災害時における情報の収集及び広報並びに関係機関との連絡調整に関すること。
- 4 部隊編成及び運用に関すること。
- 5 文書の収発に関すること。
- 6 公印の保管に関すること。
- 7 圧縮アセチレンガス等の貯蔵及び取扱いの届出及び検査に関すること。
- 8 火災予防運動に関すること。
- 9 各種消防クラブの指導育成に関すること。
- 10 消防車両の整備、検査、点検に関すること。
- 11 各種資機材の維持管理に関すること。
- 12 消防地水利の調査、修繕及び管理に関すること。
- 13 自衛消防隊の指導に関すること。
- 14 職員及び団員の教養訓練等に関すること。
- 15 応急手当の普及啓発に関すること。
- 16 メディカルコントロール体制に関すること。
- 17 救急搬送証明に関すること。
- 18 防火対象物等の査察に関すること。
- 19 西条市火災予防条例（平成16年西条市条例第206号）に基づく届出及び検査に関すること。
- 20 火災の調査及び報告に関すること。
- 21 水防活動に関すること。
- 22 所管事務の連絡調整に関すること。
- 23 所管事務の調査及び統計に関すること。
- 24 所管事務に係る予算執行に関すること。
- 25 所管事務の広報に関すること。
- 26 前各号に掲げるもののほか、消防業務に関すること。

5 消防庁舎

(1) 庁舎の概要

ア 西条市消防本部・東消防署（西条市新田183番地1）昭和57年3月10日竣工
平成13年3月15日増築改修

敷地面積 3,726.39㎡



庁 舎 棟		構造	鉄筋コンクリート造
階別	主 用 途		床 面 積
1階	車庫、署事務所、仮眠室		667.44 ㎡
2階	本部事務室		490.46 ㎡
3階	会議室、通信指令室		411.00 ㎡
4階	機械室		130.50 ㎡
延 床 面 積			1,699.40 ㎡
車 庫 棟		構造	鉄骨造
階別	主 用 途		床 面 積
1階	車庫、資機材庫		429.51 ㎡
延 床 面 積			429.51 ㎡

イ 西条市東消防署飯岡出張所（西条市飯岡3565番地9）平成 3年3月30日竣工
平成26年3月14日増築改修

敷地面積 429.87㎡



構造	鉄筋コンクリート造	
階別	主用途	
1階	車庫、事務室、仮眠室	
延床面積		141.96 ㎡

ウ 西条市東消防署橘出張所（西条市野々市51番地1）平成24年6月15日竣工

敷地面積 200.00㎡



構造	木造	
階別	主用途	
1階	車庫、事務室、仮眠室	
延床面積		101.85 ㎡

エ 西条市西消防署（西条市周布1684番地）平成19年3月29日竣工

敷地面積 8,717.70㎡



庁 舎 棟		構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階別	主 用 途		床 面 積
1階	車庫、署事務所、仮眠室		1747.35 ㎡
2階	本部事務室		865.65 ㎡
PH	—		76.95 ㎡
延 床 面 積			2,689.95 ㎡
車 庫 棟		構造	鉄骨造
階別	主 用 途		床 面 積
1階	車庫、大型ピット		300.00 ㎡
2階	資機材保管庫		172.50 ㎡
3階	訓練用補助施設		82.50 ㎡
延 床 面 積			555.00 ㎡

訓 練 棟		構造	鉄筋コンクリート造		
階別	主用途	床 面 積	階別	主 用 途	床 面 積
1階	濃煙・熱気訓練室、資機材収納庫	108.83 m ²	4階	中高層建物火災防御訓練室	62.10 m ²
2階	天ぷら油火災体験室	62.10 m ²	5階	マンホール救出訓練室	62.10 m ²
3階	ロープブリッジ救助訓練室	62.10 m ²	6階	マンホール救出訓練室	47.60 m ²
			延 床 面 積		
			404.83 m ²		

オ 西条市西消防署小松出張所（西条市小松町大頭甲1086番地10）平成6年11月30日竣工

敷地面積 501.55㎡



構造	鉄筋コンクリート造	
階別	主 用 途	床 面 積
1階	車庫、事務室、仮眠室	220.10 ㎡
延 床 面 積		220.10 ㎡

カ 西条市西消防署河北出張所（西条市実報寺甲196番地4）令和元年8月28日竣工

敷地面積 519.02㎡



構造	木造（CLTパネル工法）	
階別	主 用 途	床 面 積
1階	車庫、事務室、仮眠室	151.29 ㎡
延 床 面 積		151.29 ㎡

※全国初のCLTパネル工法を使用した救急出張所となる



CLTカットモデル
(3層3プライ)

警 防 関 係

1 応 援 協 定

2 消 防 水 利

3 消 防 機 械



橘出張所 高規格救急自動車（救急7号車）
令和6年度配備車両

1 消防相互応援協定等の状況

○地方公共団体相互の応援協定

- | | |
|--|-------------|
| (1) 東予広域消防相互応援協定
(6市、13町、7村、4消防事務組合等) | S54. 12. 14 |
| (2) 救急業務応援協定
(西条市、上浮穴郡生活環境事務組合) | S55. 6. 13 |
| (3) 消防相互応援協定
(重信町、川内町、丹原町、東温消防等事務組合、
周桑事務組合) | H 4. 4. 1 |
| (4) 松山自動車道消防相互応援協定
(西条市、周桑事務組合、小松町、丹原町、
東温消防等事務組合、川内町) | H 6. 10. 17 |
| (5) 今治小松自動車道消防相互応援協定
(西条市、周桑事務組合、東予市、小松町、丹原町、
東温消防等事務組合、川内町) | H11. 7. 2 |
| (6) 今治小松自動車(今治湯ノ浦～東予丹原)消防相互応援協定
(周桑事務組合、東予市、丹原町、今治市、
今治地区事務組合) | H13. 6. 8 |
| (7) 愛媛県消防防災ヘリコプターの支援に関する協定
(県と20市町及び4消防事務組合) | H18. 3. 1 |
| (8) 広域消防相互応援協定
(西条市、いの町、仁淀消防組合) | H18. 4. 1 |
| (9) 愛媛県消防広域相互応援協定
(愛媛県、20市町、4消防事務組合) | R 2. 3. 31 |
| (10) 愛媛県消防団広域相互応援協定
(愛媛県、20市町、4消防事務組合) | R 2. 3. 31 |

○地方公共団体の相互応援協定に関する覚書

- | | |
|--|-------------|
| (1) 松山自動車道消防相互応援協定書に基づく覚書
(西条市、周桑事務組合、東温消防等事務組合) | H 6. 10. 17 |
| (2) 救急業務応援協定に関する覚書
(西条市、周桑事務組合、上浮穴郡生活環境事務組合) | H10. 2. 27 |
| (3) 今治小松自動車道消防相互応援協定書に基づく覚書
(西条市、周桑事務組合、東温消防等事務組合) | H11. 7. 2 |
| (4) 今治小松自動車道(今治湯ノ浦～東予丹原)
消防相互応援協定書に基づく覚書
(周桑事務組合、今治地区事務組合) | H13. 6. 8 |

- | | |
|--|-----------|
| (5) 広域消防相互応援協定実施に関する覚書
(西条市、いの町、仁淀消防組合) | H18. 4. 1 |
| (6) 寒風山トンネルの消防相互応援協定に関する覚書
(西条市、いの町、仁淀消防組合) | H18. 4. 1 |

○関係団体等との協定

- | | |
|--|------------|
| (1) 西条市医師会と救急救命処置に関する協定
(西条市、西条市医師会) | H10. 1. 26 |
| (2) 消防業務協定
(西条市、今治海上保安部) | H17. 3. 1 |
| (3) 愛媛県立中央病院ドクターカーに関わる相互応援協定
(西条市、愛媛県公営企業管理者) | H22. 3. 8 |

○関係団体等との覚書

- | | |
|---|-------------|
| (1) 高速自動車道（松山自動車道）に関する覚書
（西条市、新居浜市、宇摩地区広域市町村圏組合） | H 3. 2. 13 |
| (2) 松山自動車道（土居～いよ西条～川内）
における火災及び救急業務等に関する覚書
（西条市、新居浜市、宇摩地区広域市町村圏組合、
日本道路公団高松建設局） | H 3. 2. 14 |
| （西条市、周桑事務組合、東温消防等事務組合、
日本道路公団高松建設局） | H 6. 10. 21 |
| (3) 石鎚山、頂上社の防火対象物消防用設備等及び
危険物施設に関する覚書
（西条市、周桑事務組合、上浮穴郡生活環境事務組合） | H 9. 12. 22 |
| (4) 指示委託病院と救急救命処置に関する覚書
（西条市、済生会西条病院、西条中央病院、村上記念病院） | H10. 11. 2 |
| (5) 今治小松自動車道（いよ小松～東予丹原～今治湯ノ浦）
における消防、救急業務等に関する覚書
（西条市、周桑事務組合、東温消防等事務組合、
日本道路公団四国支社） | H11. 6. 30 |
| （西条市、周桑事務組合、東温消防等事務組合、
今治地区事務組合、日本道路公団四国支社） | H13. 6. 8 |
| (6) 救急救命処置に伴う広域的指示体制に関する覚書
（西条市、新居浜市、周桑事務組合、県立新居浜病院、
愛媛労災病院、住友別子病院、十全総合病院、林病院、
済生会西条病院、西条中央病院、村上記念病院、
周桑病院） | H12. 10. 13 |

西条市が締結している災害時応援協定の状況

区分	協 定 名 称	協 定 締 結 先	締結年月日	内 容
公共団体等	災害時（危機発生時）相互応援協定	三重県伊勢市	H14. 10. 10	応援要請
	災害時における職員（現地情報連絡員）の派遣等に関する協定	国土交通省四国地方整備局	H23. 11. 11	情報交換及び支援要請
	瀬戸内海広域災害相互応援協定	瀬戸内・海的路ネットワーク 推進協議会加盟28市町村	H24. 3. 29	応援要請
	災害時（危機発生時）相互応援協定	福島県相馬市	H24. 5. 19	応援要請
	大規模災害発生時における広域防災拠点に関する協定	愛媛県	H26. 10. 2	広域防災拠点としての活用
	災害時（危機発生時）相互応援協定	新潟県新潟市	H27. 6. 13	応援要請
	災害時における愛媛県市町相互応援に関する協定	愛媛県及び県内20市町村	H28. 2. 17	応援要請
	GPS波浪計観測情報配信システムを使用した情報の活用に関する協定	国土交通省四国地方整備局	H29. 6. 6	津波避難など防災体制の強化を図るためのツールとして使用
	災害時における復旧支援協力に関する協定	公益社団法人日本下水道管路管理協会	H31. 2. 18	下水道管路施設が被災した時に行う復旧支援協力
	災害時における下水道施設の技術支援協力に関する協定	公益社団法人全国上下水道 コンサルタント協会中国・四国支部	R1. 5. 22	下水道施設が被災した場合における技術支援協力
	災害対応措置に関する協定	愛媛森林管理署	R1. 5. 28	ドローンをを用いた被災情報の提供
	災害時の動物救護活動に関する協定	公益社団法人愛媛県獣医師会	R1. 5. 28	地域住民が飼育する犬及び猫等の保護管理等の救済措置
	西条市（黒谷地区）における越境避難に関する協定	今治市	R3. 1. 15	黒谷の住民が、市の境界を越えて朝倉地域に避難する場合の避難及び受入
	西条市・日本下水道事業団災害支援協定	日本下水道事業団	R3. 10. 1	下水道施設の維持または修繕に関する工事その他支援
	渇水等の緊急時における相互応援に関する協定	松山市	R4. 8. 4	応援要請
	西条市と今治海上保安部との包括連携協定	今治海上保安部	R5. 5. 29	(1) キャリアや職業教育の充実に関すること (2) 環境学習と環境保全活動に関すること (3) 地域社会の発展と市民サービスの更なる向上を推進 (4) 水難事故の防止に関する こと (5) その他、地域の活性化の推進に関すること
物資調達等	災害時における救援物資提供に関する協定	四国コカ・コーラボトリング(株)	H17. 11. 11	自動販売機内在庫の供給要請
		アサヒ飲料(株)四国支社	H18. 8. 8	
		イー・ドリンコ(株)（平成25年4月から(株)光藤が協定を継承）	H20. 9. 5	

区分	協 定 名 称	協 定 締 結 先	締結年月日	内 容
物資調達等	災害時等における物資の供給協力等に関する協定	D C M(株)	H20. 10. 7	災害用食料の供給要請 資機材、物資等の供給要請
		(株)フジ	H20. 10. 7	
		N P O法人コメリ災害対策センター	H21. 5. 29	
		生活協同組合コープえひめ	H25. 2. 13	
	災害時等における救援物資等の供給協力等に関する協定	えひめ未来農業協同組合	H21. 5. 15	水・食料の供給要請 生活物資の供給要請
		周桑農業協同組合	H21. 5. 25	棺等葬祭品の供給要請 連絡調整・協力要請
	災害時における応急生活物資(LPガス等)供給に関する協定	(社)愛媛県エール [®] ガス協会西条支部 (社)愛媛県エール [®] ガス協会周桑支部	H21. 12. 22	LPガス等の供給要請
	災害時における石油類燃料の供給に関する協定	愛媛県石油商業組合西条支部 愛媛県石油商業組合周桑支部	H22. 4. 13	石油類燃料の供給要請
	災害時における仮設トイレ等の供給に関する協定	日野興業(株)松山営業所	H22. 10. 27	仮設トイレの供給要請
	災害時等における支援協力に関する協定	(株)ハローズ	H25. 6. 24	駐車場の一時避難場所としての開設要請 物資の供給要請
	災害時等における物資の供給協力等に関する協定	(株)ダイキアクシス	H25. 11. 1	飲料水の供給要請等
	災害時等における医薬品等の供給協力等に関する協定	(株)大屋	H26. 1. 14	生活物資等の供給要請等
	災害時における物資供給協力に関する協定	愛媛県森林組合連合会 いしづち森林組合 宇摩森林組合	H26. 2. 7	応急仮設住宅の建設に係る木材の供給要請
	災害時における農業用水供給の協力に関する協定	道前平野土地改良区	H26. 3. 26	農業用水の供給要請 消防用水の供給要請
	災害時における飲料水の提供に関する協定	(株)伊藤園	H26. 6. 27 R6. 9. 1 (一部変更)	自動販売機内在庫の供給要請 在庫清涼飲料水の供給要請
	災害時における地図製品等の供給等に関する協定	(株)ゼンリン	H26. 9. 16	地図製品の供給等の要請
	西条市・株式会社フソウ災害支援協定	株式会社フソウ 四国支店	H31. 2. 18	下水道施設が被災した際の緊急復旧工事その他の支援
	西条市・新明和工業株式会社災害支援協定	新明和工業株式会社		
	西条市・株式会社荏原製作所災害支援協定	株式会社荏原製作所 四国支店		
	大規模災害時における生活用水等の確保に関する協定書	東予広域生コンクリート協同組合	R2. 10. 19	飲料水を除く生活用水や消防用水の供給要請
	災害時におけるレンタル機材供給等の協力に関する協定	株式会社アクティオ四国支店	R3. 7. 19	レンタル機材の供給
	災害時等における支援協力に関する協定	株式会社クールトレード	R3. 7. 19	保有する物資等の供給 店舗設備や敷地の提供
	災害時におけるキッチンカーによる炊き出しの実施等に関する協定	愛媛キッチンカー協会	R3. 7. 26	キッチンカーによる炊き出し 調達可能な物資の供給
	災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定書	株式会社デベロップ	R4. 3. 34	移動式宿泊施設のレンタル
	災害時における物資(ユニットハウス等)の供給に関する協定書	三協フロンテア株式会社	R4. 3. 34	ユニットハウス等(避難住宅、仮設トイレ等)の物資提供
	災害時における電動車両等の支援に関する協定	三菱自動車工業株式会社	R4. 11. 24	電気自動車等からの外部給電に必要な機器の貸与
		西日本三菱自動車販売株式会社		

区分	協 定 名 称	協 定 締 結 先	締結年月日	内 容
物資調達等	災害時における食品及び飲食物品供給業務の協力に関する協定	株式会社遊食房屋	R6. 7. 8	食品及び飲食物品の供給
	災害時における段ボール製品の調達に関する協定	四国段ボール株式会社	R6. 8. 2	段ボールベット、間仕切り等の提供
医療救護	災害時の医療救護に関する協定	(一社)愛媛県医師会、愛媛県、愛媛県全城市町	H8. 2. 1	救護班の派遣要請 薬剤等の供給要請
		(一社)愛媛県歯科医師会、愛媛県、愛媛県全城市町	H15. 4. 9	
		(一社)愛媛県薬剤師会、愛媛県、愛媛県全城市町	H15. 4. 9	
		(公社)愛媛県看護協会、愛媛県、愛媛県全城市町	H15. 4. 9	
応急復旧	災害時における水道施設の復旧作業の応急対策への協力に関する協定	西条市管工事協同組合 東予・周桑管工事業協同組合	H18. 7. 25	水道施設の応急復旧要請
	災害時における応急対策業務に関する協定	(一社)愛媛県建設業協会西条支部	H18. 12. 21	建設業者等への協力要請等
		愛媛東予クレーン協同組合	H26. 11. 10	
	災害時における家屋被害認定調査に関する協定	愛媛県土地家屋調査士会	H25. 2. 26	家屋被害認定調査の協力要請
	災害時における上下水道施設等の応急復旧に関する協定	四国積水工業㈱	H26. 7. 29	下水道施設の応急復旧用資機材供給等の要請等
	災害時等の協力に関する協定	休暇村 瀬戸内東予・今治市	H27. 3. 23	災害復旧従事者への宿泊施設等の優先的提供の協力
	災害発生時における西条市と西条市内郵便局の協力に関する協定	西条市内の20郵便局	H27. 6. 1	緊急車両等としての車両の提供(郵便配達用車両を除く。)および避難先リスト等の情報の相互提供等の協力
	災害時等における応急対策活動に関する協定	西条石材組合	H27. 6. 15	被害情報等の収集 土石等の除去等
	災害時等における業務協力に関する協定	(有)濱名自販	H28. 5. 30	防災訓練への協力 応急対策業務の支障となる車両の除去等
	災害時における施設利用に関する協定	檜垣産業株式会社	H30. 3. 30	所有地にある管理用道路を緊急車両通行用道路として使用
	災害時における災害廃棄物等の処理等の協力に関する協定	(一社)えひめ産業資源循環協会・県・県内市町村	R1. 6. 24	-
	大規模災害発生時等における応急対策業務に関する協定	一般社団法人日本石材産業協会 愛媛県支部 一般社団法人日本石材産業協会	R3. 7. 19	石材構造物の撤去 移設人員等が不足する場合は日本石材産業協会に応援要請が可能
	災害時における応急対策業務に関する協定	西条造園事業組合	R3. 7. 26	道路、公共施設の被災、倒木や流木等の応急対策、及び撤去搬送等
	災害時における無人航空機による情報収集及び避難所等の安全確保と運営支援に関する協定書	愛媛総合警備保障株式会社	R4. 3. 24	無人航空機による災害現場の情報収集／避難所等における警備業務／避難所における運営支援業務
	災害時の協力に関する協定	一般財団法人 四国電気保安協会	R5. 3. 14	電気施設等の応急復旧／復旧拠点・資材置場等の確保に対する協力／平常時の防災活動への協力等
	災害時における応急復旧支援協力に関する協定	シンフォニアテクノロジー株式会社 中国営業所	R5. 8. 23	西条浄化センターの電気設備の復旧
	災害時における応急復旧支援協力に関する協定	安川オートメーション・ドライブ株式会社 大阪支店	R5. 8. 23	東予・丹原浄化センターの電気設備の復旧
	災害時等における施設利用の協力に関する協定	株式会社ダイナム	R5. 10. 27	駐車場の一部を救援隊等の一時的な集結場所又は、避難者の一時的な避難場所として提供
	災害時等における施設利用の協力に関する協定	愛媛県電気工事工業組合西条支部 西条電気工事協同組合 愛媛県電気工事工業組合	R5. 12. 14	電気関係資機材等の供給／電気設備の応急点検等

区分	協 定 名 称	協 定 締 結 先	締結年月日	内 容
応急復旧	災害時における応急復旧支援協力に関する協定	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	R6. 6. 28	明神木排水機場及び高田排水機場の応急普及支援
	災害時における応急復旧支援協力に関する協定	株式会社ミゾタ	R6. 6. 28	壬生川排水機場及び玉津排水機場の応急普及支援
避難所	災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定	社会福祉法人あおい会	H27. 2. 20	福祉避難所の開設・運営
		社会福祉法人いしづち会		
		社会福祉法人恩賜財団済生会支部愛媛県済生会		
		社会福祉法人回生会		
		社会福祉法人亀天会		
		社会福祉法人光明会		
		社会福祉法人潤和会		
		社会福祉法人聖風会		
		社会福祉法人丹原福祉会		
		社会福祉法人同心会		
		社会福祉法人白鳥会		
		医療法人愛寿会		
		医療法人弘仁会		
		医療法人俣清会		
		医療法人北辰会		
		医療法人社団門の内会		
		医療法人社団更生会		
被災者支援	災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定	有限会社あさひ	R3. 2. 18	福祉避難所の開設・運営
	津波災害発生時における緊急避難場所としての使用に関する協定	株式会社西条ドライビングスクール	R3. 7. 26	緊急避難場所として敷地を提供
	災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定	有限会社エンジェル・コール	R7. 2. 28	福祉避難所の開設・運営
	災害救援ボランティアセンター設置及び運営に関する協定	西条市社会福祉協議会	H19. 3. 27	災害救援ボランティアセンターの設置要請
輸送	災害時における被災者支援に関する協定	愛媛県行政書士会	H29. 2. 14	行政書士が関与できる業務の実施、被災者支援窓口の設置、本市への会員の派遣等
	災害時の物資等の輸送に関する協定	新居浜・西条地区トラック協会西条支部	H25. 11. 28	食料輸送の協力要請 資材等輸送の協力要請
		石鎚環境協同組合	H27. 6. 1	ごみ等の収集運搬の協力
	災害時におけるごみ等の収集運搬に関する無償支援協定	西条清掃協同組合	R2. 10. 1	災害等により緊急性を要するごみ等の収集運搬作業が発生した場合の応急対策
		介護・ケアタクシー マリン	R4. 10. 25	要配慮者の緊急輸送及び被災の状況、被害情報の収集
	災害時における要配慮者の緊急輸送等に関する協定	介護タクシー いぶき		
		介護福祉タクシー いまい		
		株式会社アイ・エス・アイ（石鎚タクシーついたち営業所）		
		株式会社福祉サポート広栄		
		株式会社みらい		
		ときわタクシー株式会社（三芳営業所）		
		有限会社東洋タクシー		
	災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定	有限会社ネオメイト ライフサポートみのり	R4. 11. 25	物資集積・搬送拠点の設置 避難所等への支援物資の配送計画の策定及び配送の実施 配送時における被災者の物資ニーズの収集 物資集積、配送拠点における荷役作業の実施 荷役作業に必要な人員及び機材の提供 支援物資の受入及び配送等に関する助言等を行う要員の派遣
		渡部タクシー株式会社		
	災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定	佐川急便株式会社 四国支店	R4. 11. 25	

区分	協 定 名 称	協 定 締 結 先	締結年月日	内 容
輸 送	災害時等における支援物資集配拠点の運営に関する協定	周桑農業協同組合	R5. 3. 14	集配場所として、組合の所有する選果場・倉庫等の施設の提供
	災害時等における支援物資集配拠点の運営に関する協定	えひめ未来農業協同組合	R5. 3. 14	資機材の使用及びオペレーターについての協力
	ドローンを活用した災害時等における支援活動等に関する協定	株式会社ACSL	R6. 9. 19	被災現場等の状況把握、被災者及び避難者の捜索及び救助支援、物資の運搬
通 信	災害時における緊急放送・通信に関する協定	(株)ハートネットワーク	H25. 12. 2	緊急放送・通信要請
	災害に係る情報発信等に関する協定	LINEヤフー株式会社	R2. 8. 11	緊急放送・通信要請 (市ホームページのキャッシュサイトをヤフーサービス上に掲載・ヤフーサービス上へ災害情報等の掲載)
西 条 市 か ら の 協 力	大規模災害時等における西条市の施設の使用に関する協定	西条西警察署	H21. 11. 26	西条市庁舎の一部の使用許可
		西条警察署	H22. 6. 21	
	災害時の協力に関する協定	四国電力送配電(株)新居浜支社	H26. 2. 6	電力復旧作業に必要な協力

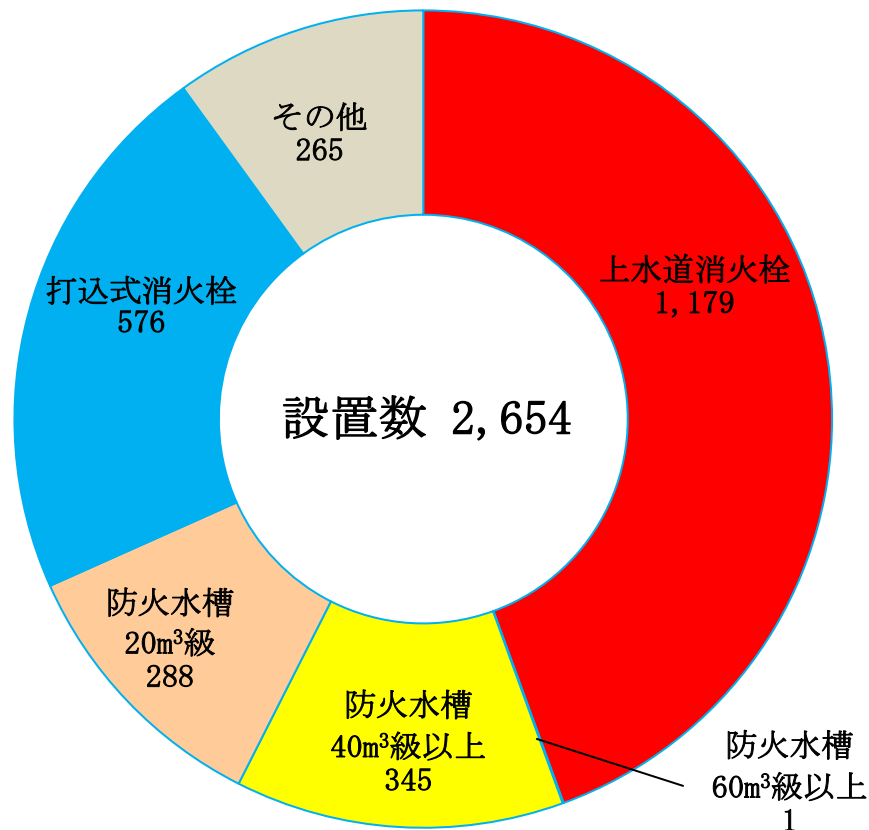
2 消防水利現況表

種 別 地 区	消火栓	防火水槽			打込式 消火栓	その他	合計
		60m ³ 級	40m ³ 級	20m ³ 級			
西条地区	185		92 (56)	185 (4)	576	43	1,081
東予地区	492	1 (1)	102 (45)	49		84	728
丹原地区	296		111 (16)	20		106	533
小松地区	206		40 (15)	34		32	312
合 計	1,179	1 (1)	345 (132)	288 (4)	576	265	2,654

※1 防火水槽の（ ）内数は耐震性貯水槽

※2 打込式消火栓は西条地区のみ

消防水利種類別状況



3 消 防 機 械

(1) 消防車両等配備状況

ア 常備消防

所 属 車 種	合 計	消防本部	東消防署	西消防署	飯岡出張所	橘出張所	小松出張所	河北出張所
合 計	33	4	12	13	1	1	1	1
消 防 ポンプ自動車	4		2	2				
水槽付消防ポンプ自動車	2		1	1				
はしご付消防自動車	1		1					
小 型 空 中 作 業 車	1			1				
化学消防ポンプ自動車	2		1	1				
救 助 工 作 車	2		1	1				
小型動力ポンプ付水槽車	1			1				
津波・大規模風水害対策車	1		1					
高規格救急自動車	8		2	2	1	1	1	1
軽 救 急 自 動 車	2		1	1				
資 機 材 搬 送 車	2		1	1				
指 揮 車	2		1	1				
事 務 連 絡 車	1	1						
原 因 調 査 車	1	1						
指 揮 支 援 車	1	1						
連 絡 調 整 車	1	1						
人 員 輸 送 車	1			1				

イ 非常備消防

所 属 車 種	合 計	団 本 部	西 条	東 予	丹 原	小 松
合 計	86	1	22	36	23	4
消 防 ポンプ自動車	18		9	4	3	2
小型動力ポンプ積載車	22		1	8	11	2
小型動力ポンプ軽四積載車	34		2	23	9	
輸 送 車	10		10			
連 絡 車 (団本部指揮車・防災活動車)	2	1		1		

(2) 所属別消防車両一覧

【消防本部】

No.	車 両 名 称	登録年月日	登 録 番 号	メーカー	排気量 (cc)	総重量 (kg)	ポンプ 級 別	備 考
1	事 務 連 絡 車	R 1 . 7 . 24	愛媛 551 に 1001	ト ヨ タ	1,980	2,010	—	
2	原 因 調 査 車	H 22 . 3 . 8	愛媛 800 す 3001	日 産	1,990	2,170	—	
3	指 揮 支 援 車	H 28 . 3 . 8	愛媛 800 ろ 3	ス ブ キ	1,240	1,295	—	
4	連 絡 調 整 車	H 20 . 3 . 18	愛媛 800 す 1703	日 産	1,990	2,070	—	

【東消防署】

No.	車 両 名 称	登録年月日	登 録 番 号	メーカー	排気量 (cc)	総重量 (kg)	ポンプ 級 別	備 考
1	救 急 1 号 車	R 2 . 2 . 14	愛媛 830 そ 91	ト ヨ タ	2,690	3,215	—	
2	救 急 8 号 車	H 24 . 11 . 16	愛媛 800 す 4498	ト ヨ タ	2,690	3,165	—	
3	軽 救 急 1 号 車	H 25 . 3 . 29	愛媛 880 あ 1359	ス ブ キ	650	1,280	—	
4	タ ン ク 車	H 28 . 10 . 17	愛媛 830 は 101	日 野	6,400	10,930	A-2	
5	ポ ン プ 1 号 車	H 26 . 10 . 28	愛媛 800 さ 103	日 野	4,000	6,655	A-2	
6	ポ ン プ 2 号 車	H 16 . 1 . 14	愛媛 800 さ 8198	日 野	4,890	5,480	A-2	
7	救 助 工 作 車	H 27 . 10 . 15	愛媛 830 た 105	日 野	6,400	11,425	—	
8	化 学 車	H 30 . 3 . 9	愛媛 830 す 106	日 野	5,120	11,040	A-2	
9	は し ご 車	H 24 . 12 . 14	愛媛 800 は 5690	日 野	8,860	19,950	—	
10	資 機 材 搬 送 車	H 27 . 10 . 6	愛媛 830 す 108	日 野	4,000	5,490	—	
11	東 指 揮 車	R 4 . 2 . 7	愛媛 830 さ 109	ト ヨ タ	2,690	2,885	—	
12	津波・大規模風水害対策車	R 2 . 8 . 26	愛媛 830 や 110	い す ゞ	5,190	12,515	B-2	水 陸 両 用 バギー 積載
	小型水陸両用バギー	R 2 . 9 . 28	西条市 い 668	ティンガー	812	800	—	

(注) 津波・大規模風水害対策車及び小型水陸両用バギーについては、総務省消防庁より無償使用物品として令和2年10月16日に配備したもの。

【飯岡出張所】

No.	車 両 名 称	登録年月日	登 録 番 号	メーカー	排気量 (cc)	総重量 (kg)	ポンプ 級 別	備 考
1	救 急 2 号 車	H 28 . 10 . 21	愛媛 830 そ 92	ト ヨ タ	2,690	3,235	—	

【橘出張所】

No.	車 両 名 称	登録年月日	登 録 番 号	メーカー	排気量 (cc)	総重量 (kg)	ポンプ 級 別	備 考
1	救 急 7 号 車	R 7 . 2 . 26	愛媛 830 す 97	ト ヨ タ	2,690	3,165	—	

【西消防署】

No.	車 両 名 称	登録年月日	登 録 番 号	メーカー	排気量 (cc)	総重量 (kg)	ポンプ 級 別	備 考
1	救 急 3 号 車	H 21 . 10 . 19	愛媛 800 す 2721	ト ヨ タ	2,690	3,175	—	
2	救 急 4 号 車	R 5 . 2 . 20	愛媛 830 そ 94	日 産	2,480	3,285	—	
3	軽 救 急 2 号 車	H 25 . 3 . 29	愛媛 880 あ 1360	ス ズ キ	650	1,280	—	
4	タ ン ク 車	H 22 . 12 . 10	愛媛 800 は 5589	日 野	6,400	10,370	A-2	
5	大 型 水 槽 車	H 17 . 3 . 7	愛媛 830 む 119	日 野	12,910	21,965	B-2	
6	ポ ン プ 1 号 車	R 5 . 12 . 19	愛媛 800 せ 1022	日 野	4,000	5,650	A-2	
7	ポ ン プ 2 号 車	H 27 . 11 . 17	愛媛 830 さ 203	日 野	4,000	5,675	A-2	
8	救 助 工 作 車	H 26 . 12 . 4	愛媛 830 そ 205	日 野	6,400	11,810	—	
9	化 学 車	H 30 . 12 . 7	愛媛 830 せ 206	日 野	5,120	10,770	A-2	
10	小型空中作業車	H 29 . 3 . 13	愛媛 830 す 207	日 野	4,000	7,670	—	
11	資 機 材 搬 送 車	H 22 . 3 . 11	愛媛 800 す 3016	日 産	2,950	4,605	—	
12	西 指 揮 車	H 12 . 1 . 25	愛媛 800 さ 1659	日 産	1,990	1,775	—	
13	人 員 搬 送 車	H 14 . 2 . 22	愛媛 800 さ 4195	日 産	1,990	3,145	—	

【小松出張所】

No.	車 両 名 称	登録年月日	登 録 番 号	メーカー	排気量 (cc)	総重量 (kg)	ポンプ 級 別	備 考
1	救 急 6 号 車	H 30 . 1 . 25	愛媛 830 さ 96	ト ヨ タ	2,690	3,175	—	

【河北出張所】

No.	車 両 名 称	登録年月日	登 録 番 号	メーカー	排気量 (cc)	総重量 (kg)	ポンプ 級 別	備 考
1	救 急 5 号 車	H 30 . 11 . 29	愛媛 830 せ 95	ト ヨ タ	2,690	3,235	—	

(3) 消防機械器具

品名	数量	品名	数量
一般救助器具		隊員保護用器具	
かぎ付きはしご	8	耐電手袋	14
三連梯子	10	耐電衣	6
金属製折りたたみ梯子又はワイヤー梯子	2	耐電ズボン	6
空気式救助マット	2	耐電長靴	6
救命索発射銃	2	特殊ヘルメット	2
サバイバースリング又は救助用縛帯	8	防塵メガネ	13
平担架	2	携帯警報機	36
重量物排除用器具		防毒マスク	25
油圧ジャッキ	5	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	8
油圧スプレッダー	6	陽圧式化学防護服	8
可搬ウィンチ	4	耐熱服	6
マンホール救助用器具	2	放射線防護服	2
マット型空気ジャッキ	2	除染用器具	
大型油圧スプレッダー	2	除染シャワー	1
救助用支柱器具	1	防染剤散布器	2
チェーンブロック	9	水難救助用器具	
切断用器具		潜水器具	5
油圧切断機	4	救命胴衣	49
エンジンカッター	7	水中灯光器	10
ガス溶断器	2	救命浮環	12
チェーンソー	42	浮標	2
鉄線カッター（クリッパーを除く）	2	救命ボート	3
クリッパー	34	船外機	2
空気鋸	4	水中時計	5
大型油圧切断機	2	検知・測定用器具	
空気切断機	2	可燃性ガス測定器	5
コンクリート鉄筋切断用チェーンソー	1	有毒ガス測定器	5
破壊器具		酸素濃度測定器	5
万能斧	16	放射線測定器	9
ハンマー	14	検索用器具	
携帯用コンクリート破壊器具	2	簡易画像探索器	2
削岩機	2	高度救助用器具	
ハンマドリル	3	熱画像直視装置	5
呼吸保護用用具		その他救助器具	
空気呼吸器	48	投光器	21
空気補充用ボンベ	120	携帯投光器	41
酸素呼吸器	10	携帯拡声器	19
簡易呼吸器	7	携帯無線機	23
防塵マスク	60	応急処置セット	4
送排風機	4	車両移動器具	4
		緩降機	3
山岳救助用器具		ロープ登降機	18
登山器具	12	救助用降下機	9
バスケット型担架	4	発電機	17

(4) 現有ホース数

種 別 \ 所 属	東 消 防 署	西 消 防 署	橘 出 張 所	飯岡出張所	小松出張所	河北出張所	合 計
65ミリ	161	181					342
50ミリ	154	150					304
40ミリ	28	26					54
計	343	357					700

通 信 関 係

- 1 通信指令施設状況
- 2 消 防 無 線 局
- 3 デジタル簡易無線局
- 4 119 番受信状況
- 5 気 象 象



訪問看護師等を対象とした 119 番通報訓練

1 通信指令施設状況

(1) 本部通信指令施設関係

指令装置

施設名等	数量	概要	備考
指令台	5	災害受付	大規模災害モード時の2台含む
指揮台	1	災害受付・指揮統制	
無線統制台	1	消防・救急無線交信	
自動出動指定装置	6	出動隊編成・活動状況管理・事案管理	サーバ2台含む
地図検索装置	4	災害地点地図検索	
多目的表示装置	4	車両運用状況等表示	
受付補助端末装置	4	受付時の補助ディスプレイ	
119番補助受付装置	2	非常時の119番受付	
指令制御装置	1	119・指令・専用・加入・無線制御	
非常用指令制御装置	1	非常時の受付指令制御	
統合型位置情報システム装置	1	発信地情報を取得し地図検索装置等に表示	
デジタル無線録音装置	2	デジタル無線通信内容録音	バックアップ装置1台含む
長時間録音装置	1	指令台・指揮台通話内容録音	

指令室表示盤

施設名等	数量	概要	備考
119着信状況表示盤	1	各種回線別表示	55インチ液晶4面マルチ×2面
支援情報表示盤	1	災害情報・気象情報等表示	
車両運用表示盤	1	車両運用状況表示	55インチ液晶8面切替
多目的情報表示盤	1	署所監視カメラ等の表示	40インチ液晶×3
表示盤端末	2	車両運用状況・災害情報・気象情報の表示	東西署

要配慮者向け通報システム・サービス

施設名等	数量	概要	備考
FAX 119 受信装置	1	FAXでの119番通報受付	内容表示モニター機能あり
メール 119 受信装置	1	メールでの119番通報受付	
多言語通訳コールセンター	—	外国語による119番通報に対応	24時間・365日、21言語
NET 119 通報装置	1	チャット機能による119番通報受付	

関係各機関連絡通信装置

施設名等	数量	概要	備考
Eメール指令装置	1	Eメールにて職員・消防団員等に招集指令	
指令FAX送信装置	1	出動指令情報を消防団詰所・警察等へ伝送	Bizスマートキャスト(NTTコミュニケーションズ)
災害状況等自動案内装置	1	NTT加入回線災害状況等自動案内	NTT西日本契約
寒風山トンネル設備モニター	1	国道194号寒風山トンネル警報設備の受信	県東予地方局より委託
震度計	1	地震ネットワークシステム	

通信指令補助設備

施設名等	数量	概要	備考
署所監視設備	1	署所の映像を指令室にてモニター	録画機能付き
映像制御装置	1	各種表示盤の切替	切替制御器2台含む
データメンテナンス装置	1	指令台データの編集	
車載編集用装置	1	AVMデータの編集	
デジタル無線遠隔制御装置	1	基地局を介して移動局と無線通信	
システム監視装置	1	システム運用状況を監視	
気象情報収集装置	1	風向・風速・温度・湿度・雨量・気圧の観測・記録	データロガー含む
順次指令装置	1	電話回線にて職員・消防団員等に招集指令	
非常用発電設備	1	停電時の非常用発動発電機	4階機械室
市同報系防災行政無線装置 遠隔操作盤	1	サイレン吹鳴・防災広報	

(2) 署所分団施設関係

施設名等	数量	概要	備考
署所端末装置	6	出動指令等の放送	東・西署、飯岡・橘・小松・河北出張所
無線受令装置	6	無線通信の受令	東・西署、飯岡・橘・小松・河北出張所
指令情報出力装置	8	出動指令情報を署所へ伝送	消防本部、東・西署、飯岡・橘・小松・河北出張所、市役所災害対策本部
情報共有システム装置	6	指令情報等を署所にて表示	東・西署、飯岡・橘・小松・河北出張所
監視カメラ	9	署所の映像を指令室にてモニター	東署2、西署3、飯岡・橘・小松・河北出張所各1
駆け付け通報用電話装置	4	指令センター直接通報用	飯岡・橘・小松・河北出張所
消防OA端末装置	9	火災・救急・災害等の統計等	東署2、西署2、警防1、飯岡・橘・小松・河北出張所各1
車両動態(AVM)端末装置	31	車両動態位置情報及び文字情報の送受信	Ⅱ型20台、Ⅲ型11台
指令FAX受信装置	27	出動指令情報をFAX受信	消防団詰所26台、市役所1台

(3) 回線等の設置状況

回線種別等	数量	概要	備考
固定電話119番線 受信回線	8	NTT西日本、ヘルプネット	I N S 64
I P 電話119番線 受信回線		NTT西日本、KDDI、STNet、ソフトバンク (NTT西日本固定119回線に重畳)	I N S 64
携帯電話119番線 受信回線	4	ドコモ、KDDI (au)、 ソフトバンク、楽天モバイル	I N S 64
携帯電話119線 転送回線	4	他消防本部へ転送、送受信用	送信用受信用
衛星回線 受信回線	1	回線バックアップ用	アナログ
専用回線	3	西条警察署・西条西警察署・ 西日本高速道路	NTT専用回線
I P - V P N 回線	2	発信地情報通知システムデータ 通信用	NTTコミュニケーションズ ソフトバンク
N T T ドコモ FOMA(データ)回線	31	車両動態(AVM)端末装置交信用	消防・救急車両31台分
広域網回線 (S T N e t)	6	本部指令施設～ 西署、飯岡・橘・小松・河北出張所データ 通信回線 メール119用受信用	光回線(署所接続用) 本部指令施設 60MB 西署 20MB 飯岡・橘・小松・ 河北出張所 10MB×4
ハートネット光	1	Eメール指令用(分団FAX用)	プロバイダー契約

2 消防無線局

(1) 消防無線局数

配 置	固定局	基地局	陸 上 移 動 局				合 計
			車 載 型	卓上型及び 可搬型	携帯型 (アナログ含む)	署活動系	
消 防 本 部	1		5		4	5	15
市 役 所	1	1					2
署			29	8	28	40	105
合 計	2	1	34	8	32	45	122

(注) デジタル簡易無線局は除く。

(2) 固定局

ア 多重無線装置 (FWA)

配 置	呼 出 名 称	空中線 電 力 (μ W)	設 置 場 所	社 名
市 役 所	さいじょうしょうぼう しやくしょこてい	630	西 条 市 役 所	日 本 電 気
消 防 本 部	さいじょうしょうぼう ほんぶこてい	630	消 防 本 部	日 本 電 気

(3) 基地局 西条市役所 (空中線の位置 北緯33度55分12秒・東経133度10分52秒)

配 置	呼 出 名 称	空中線 電 力 (W)	設 置 場 所	社 名	実 装 波
市 役 所	さいじょうしょうぼう	10	新館 5 階 無 線 機 室	日本電気	活動波1
	さいじょうしょうぼう	10	新館 5 階 無 線 機 室	日本電気	活動波2
	さいじょうしょうぼう	10	新館 5 階 無 線 機 室	日本電気	主運用波2
	さいじょうしょうぼう	10	新館 5 階 無 線 機 室	日本電気	統制波1
	さいじょうしょうぼう	10	新館 5 階 無 線 機 室	日本電気	統制波2
	さいじょうしょうぼう	10	新館 5 階 無 線 機 室	日本電気	統制波3

(4) 陸上移動局

ア 車載型・卓上型・可搬型・携帯型（署活動系無線局を除く）

配置	呼 出 名 称	空中線 電 力 (W)	種別	積載車両	社 名	実装周波数 ※デジタル波は、活動波1・2、 主運用波1～7、統制波1～3	
消 防 本 部	さいじょうしょうぼう 1	10 5	車載 デュアル	事務 連絡車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょうしょうぼう 2	10 5	車載 デュアル	原因 調査車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょうしょうぼう 3	5	車載 シングル	指揮 支援車	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう 4	5	車載 シングル	連絡 調整車	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう 5	5	車載 シングル	予備 無線機	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう 5 0 2	1	携帯 デジタル	原因 調査車	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう 5 0 3	1	携帯 デジタル	指揮 支援車	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう ぼうさい 1	5	携帯 アナログ	警防課 事務室	アイコム	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう ぼうさい 2	5	携帯 アナログ	警防課 事務室	富士通 ゼネラル	防災相互波 デジタル波	○
東 消 防 署	さいじょうしょうぼう いいおか 1	5	卓上型	飯岡出張所 事務室	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう たちばな 1	5	卓上型	橘出張所 事務室	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう ひがし 1	5	卓上型	東消防署 事務室	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう ひがしかはん 1	5	可搬型	東消防署 事務室	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう 1 0 1	10 5	車載 デュアル	タンク車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょうしょうぼう 1 0 2	10 5	車載 デュアル	予備 無線機	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょうしょうぼう 1 0 3	10 5	車載 デュアル	ポンプ 1号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょうしょうぼう 1 0 4	5	車載 シングル	ポンプ 2号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう 1 0 5	10 5	車載 デュアル	救助 工作車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょうしょうぼう 1 0 6	5	車載 シングル	化学車	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○
	さいじょうしょうぼう 1 0 7	10 5	車載 デュアル	はしご車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょうしょうぼう 1 0 8	5	車載 シングル	資機 材搬送車	日本電気	防災相互波 デジタル波	 ○

配置	呼 出 名 称	空中線 電 力 (W)	種別	積載車両	社 名	実装周波数 ※デジタル波は、活動波1・2、 主運用波1～7、統制波1～3	
東 消 防 署	さいじょうしょうぼう 109	10 5	車載 デュアル	東指揮車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょうしょうぼう 110	10	車載 シングル	風水害 対策車	富士通 ゼネラル	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょう きゅうきゅう1	10 5	車載 デュアル	救急 1号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょう きゅうきゅう2	10 5	車載 デュアル	救急 2号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょう きゅうきゅう7	10 5	車載 デュアル	救急 7号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○ ○
	さいじょう けいきゅうきゅう1	5	車載 シングル	軽救急 1号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 501	1	携帯 デジタル	東指揮車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 504	1	携帯 デジタル	救急 1号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 505	1	携帯 デジタル	救急 2号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 507	1	携帯 デジタル	救急 7号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 508	1	携帯 デジタル	タンク車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 509	1	携帯 デジタル	風水害 対策車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 510	1	携帯 デジタル	ポンプ 1号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 511	1	携帯 デジタル	ポンプ 2号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 512	1	携帯 デジタル	救助 工作車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 513	1	携帯 デジタル	化学車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 514	1	携帯 デジタル	はしご車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう ぼうさい3	5	携帯 アナログ	東消防署 事務室	富士通 ゼネラル	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう ぼうさい4	5	携帯 アナログ	東消防署 事務室	富士通 ゼネラル	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう ぼうさい7	5	携帯 アナログ	東消防署 事務室	ケンウッド	防災相互波 デジタル波	○

配置	呼 出 名 称	空中線 電 力 (W)	種別	積載車両	社 名	実装周波数 ※デジタル波は、活動波1・2、 主運用波1～7、統制波1～3	
西 消 防 署	さいじょうしょうぼう にし1	5	卓上型	西消防署 事務室	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう こまつ1	5	卓上型	小松出張所 事務室	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう かほく1	5	卓上型	河北出張所 事務室	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう にしかはん1	5	可搬型	西消防署 事務室	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 201	10	車載	タンク車	日本電気	防災相互波	○
		5	デュアル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 202	10	車載	大型 水槽車	日本電気	防災相互波	○
		5	デュアル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 203	10	車載	ポンプ 1号車	日本電気	防災相互波	○
		5	デュアル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 204	5	車載	ポンプ 2号車	日本電気	防災相互波	○
			シングル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 205	10	車載	救助 工作車	日本電気	防災相互波	○
		5	デュアル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 206	5	車載	化学車	日本電気	防災相互波	○
			シングル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 207	5	車載	小型空中 作業車	日本電気	防災相互波	○
			シングル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 208	5	車載	資機材 搬送車	日本電気	防災相互波	○
			シングル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 209	5	車載	西指揮車	日本電気	防災相互波	○
			シングル			デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 210	5	車載	人員 輸送車	日本電気	防災相互波	○
			シングル			デジタル波	○
	さいじょう きゅうきゅう3	10	車載	救急 3号車	日本電気	防災相互波	○
		5	デュアル			デジタル波	○
	さいじょう きゅうきゅう4	10	車載	救急 4号車	日本電気	防災相互波	○
		5	デュアル			デジタル波	○
	さいじょう きゅうきゅう5	10	車載	救急 5号車	日本電気	防災相互波	○
		5	デュアル			デジタル波	○
	さいじょう きゅうきゅう6	10	車載	救急 6号車	日本電気	防災相互波	○
		5	デュアル			デジタル波	○
	さいじょう けいきゅうきゅう2	5	車載	軽救急 2号車	日本電気	防災相互波	○
			シングル			デジタル波	○

配置	呼 出 名 称	空中線 電 力 (W)	種別	積載車両	社 名	実装周波数 ※デジタル波は、活動波1・2、 主運用波1～7、統制波1～3	
西 消 防 署	さいじょうしょうぼう 5 0 6	1	携帯 デジタル	救急 3号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 1 5	1	携帯 デジタル	タンク車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 1 6	1	携帯 デジタル	大型 水槽車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 1 7	1	携帯 デジタル	ポンプ 1号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 1 8	1	携帯 デジタル	ポンプ 2号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 1 9	1	携帯 デジタル	救助 工作車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 2 0	1	携帯 デジタル	化学車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 2 1	1	携帯 デジタル	小型空中 作業車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 2 2	1	携帯 デジタル	西指揮車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 2 3	1	携帯 デジタル	救急 4号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 2 4	1	携帯 デジタル	救急 5号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう 5 2 5	1	携帯 デジタル	救急 6号車	日本電気	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう ぼうさい5	5	携帯 アナログ	西消防署 事務室	富士通 ゼネラル	防災相互波 デジタル波	○
	さいじょうしょうぼう ぼうさい6	5	携帯 アナログ	西消防署 事務室	アイコム	防災相互波 デジタル波	○

イ 署活動系無線局

配置	呼 出 名 称	空中線 電 力 (W)	配 置 台 数 (基)	社 名
消防本部	さいじょうほんぶ 1～5	1	5	ケンウッド
東消防署	さいじょうひがし 1～20	1	20	ケンウッド
西消防署	さいじょうにし 1～20	1	20	ケンウッド

3 デジタル簡易無線局

配 置	携 帯 型	車 載 型	合 計
消 防 本 部	21	2	23
市 役 所	2	1	3
署	6	2	8
団	182	27	209
合 計	211	32	243

配置	無 線 名 称	空中線電力 (W)	種 別	設 置 場 所	社 名
市役所	ききかんりか1 (危機管理課1)	5	車載	危機管理課車両	アイコム
	ききかんりか2～3 (危機管理課2～3)	5	携帯		アイコム
東署	ひがししょ1～3 (東署1～3)	5	携帯	東 消 防 署	アイコム
西署	にししょ1～3 (西署1～3)	5	携帯	西 消 防 署	アイコム
水防	ひがしすいぼうほんぶ (東水防本部)	5	車載	東 消 防 署	アイコム
	にしすいぼうほんぶ (西水防本部)	5	車載	西 消 防 署	アイコム
本部	しょうぼうほんぶ (通信指令課)	5	車載	通 信 指 令 課	アイコム
	だんほんぶしきしゃ (団係)	5	車載	消 防 団 係	アイコム
	だんがかり (団係)	5	携帯	消 防 団 係	アイコム
	ひじょうよう1～4 (非常用1～4)	5	携帯	消 防 本 部	アイコム
	ひじょうよう5～20 (非常用5～20)	5	携帯	通 信 指 令 課	アイコム
消防団本部	だんちょう (団長)	5	携帯	消 防 団	アイコム
	ひがししだんちょう (東支団長)	5	携帯		アイコム
	にししだんちょう (西支団長)	5	携帯		アイコム
	ひがしふくしだんちょう1～2 (東副支団長1～2)	5	携帯		アイコム
	にしふくしだんちょう1～2 (西副支団長1～2)	5	携帯		アイコム
	じょせいぶ1～3 (女性部1～3)	5	携帯		アイコム
	さいじょうしだんこういきおうえん1～5 (団広域応援1～5)	5	携帯		アイコム

配置	無 線 名 称	空中線 電 力 (W)	種 別	設 置 場 所	社 名
東支団	ひがししだんほんぶ 1 (東支団本部 1)	5	車載	東支団本部車	アイコム
	ひがししだんほんぶ 2～6 (東支団本部 2～6)	5	携帯		アイコム
西条	さいじょう 1 (西条 1)	5	車載	西条分団車	アイコム
	さいじょう 2～6 (西条 2～6)	5	携帯		アイコム
神拝	かんばい 1 (神拝 1)	5	車載	神拝分団車	アイコム
	かんばい 2～6 (神拝 2～6)	5	携帯		アイコム
大町	おおまち 1 (大町 1)	5	車載	大町分団車	アイコム
	おおまち 2～7 (大町 2～7)	5	携帯		アイコム
玉津	たまつ 1 (玉津 1)	5	車載	玉津分団車	アイコム
	たまつ 2～7 (玉津 2～7)	5	携帯		アイコム
飯岡	いいおか 1 (飯岡 1)	5	車載	飯岡分団車	アイコム
	いいおか 2～7 (飯岡 2～7)	5	携帯		アイコム
神戸	かんべ 1 (神戸 1)	5	車載	神戸分団車	アイコム
	かんべ 2～9 (神戸 2～9)	5	携帯		アイコム
橘	たちばな 1 (橘 1)	5	車載	橘分団車	アイコム
	たちばな 2～6 (橘 2～6)	5	携帯		アイコム
禎瑞	ていずい 1 (禎瑞 1)	5	車載	禎瑞分団車	アイコム
	ていずい 2～6 (禎瑞 2～6)	5	携帯		アイコム
氷見	ひみ 1 (氷見 1)	5	車載	氷見分団車	アイコム
	ひみ 2～7 (氷見 2～7)	5	携帯		アイコム
大保木	おおふき 2～6 (大保木 2～6)	5	携帯	大保木分団積載車	アイコム
西支団	にししだんほんぶ 1 (西支団本部 1)	5	車載	西支団防災活動車	アイコム
	にししだんほんぶ 2～6 (西支団本部 2～6)	5	携帯		アイコム
吉井	よしい 1 (吉井 1)	5	車載	吉井分団第2部積載車	アイコム
	よしい 2～7 (吉井 2～7)	5	携帯		アイコム
周布	しゅう 1 (周布 1)	5	車載	周布分団第1部ポンプ車	アイコム
	しゅう 2～7 (周布 2～7)	5	携帯		アイコム

配置	無 線 名 称	空中線 電 力 (W)	種 別	設 置 場 所	社 名
多賀	たが 1 (多賀 1)	5	車載	多賀分団第2部 積 載 車	アイコム
	たが 2～6 (多賀 2～6)	5	携帯		アイコム
壬生川	にゅうがわ 1 (壬生川 1)	5	車載	壬生川分団第2部 ポ ン プ 車	アイコム
	にゅうがわ 2～7 (壬生川 2～7)	5	携帯		アイコム
国安	くにやす 1 (国安 1)	5	車載	国安分団第2部 ポ ン プ 車	アイコム
	くにやす 2～9 (国安 2～9)	5	携帯		アイコム
吉岡	よしおか 1 (吉岡 1)	5	車載	吉岡分団第2部 軽 四 積 載 車	アイコム
	よしおか 2～6 (吉岡 2～6)	5	携帯		アイコム
三芳	みよし 1 (三芳 1)	5	車載	三 芳 分 団 ポ ン プ 車	アイコム
	みよし 2～6 (三芳 2～6)	5	携帯		アイコム
楠河	くすかわ 1 (楠河 1)	5	車載	楠河分団第2部 積 載 車	アイコム
	くすかわ 2～6 (楠河 2～6)	5	携帯		アイコム
庄内	しょうない 1 (庄内 1)	5	車載	庄内分団第1部 積 載 車	アイコム
	しょうない 2～9 (庄内 2～9)	5	携帯		アイコム
丹原	たんばら 1 (丹原 1)	5	車載	丹 原 分 団 ポ ン プ 車	アイコム
	たんばら 2～10 (丹原 2～10)	5	携帯		アイコム
徳田	とくだ 1 (徳田 1)	5	車載	徳田分団第3部 積 載 車	アイコム
	とくだ 2～9 (徳田 2～9)	5	携帯		アイコム
田野	たの 1 (田野 1)	5	車載	田野分団第7部 ポ ン プ 車	アイコム
	たの 2～10 (田野 2～10)	5	携帯		アイコム
中川	なかがわ 1 (中川 1)	5	車載	中川分団第1部 ポ ン プ 車	アイコム
	なかがわ 2～11 (中川 2～11)	5	携帯		アイコム
	なかがわ 12 (中川 12)	5	車載	中川分団第7部 積 載 車	アイコム
小松	こまつ 1 (小松 1)	5	車載	小 松 分 団 ポ ン プ 車	アイコム
	こまつ 2～6 (小松 2～6)	5	携帯		アイコム
石根	いわね 1 (石根 1)	5	車載	石 根 分 団 ポ ン プ 車	アイコム
	いわね 2～6 (石根 2～6)	5	携帯		アイコム

4 119番受信状況

119番総受信件数

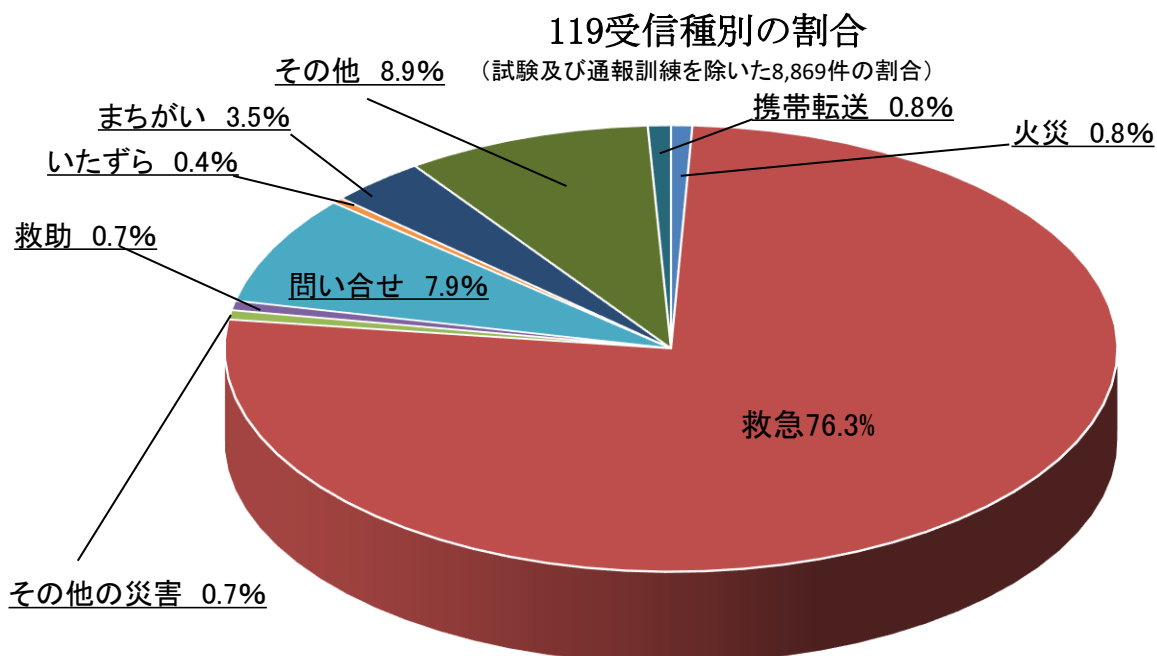
令和6年

種別\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火 災	17	4	6	13	7	9	3	2	2	1	1	3	68
救 急	618	493	506	463	536	507	644	662	531	611	533	663	6,767
その他の災害	5	1	4	2	3	4	11	10	8	2	7	3	60
救 助	5	3	7	3	10	4	9	4	3	8	1	4	61
問 い 合 せ	103	42	65	44	42	34	67	72	55	63	55	59	701
いた ず ら	28	7			1					1			37
ま ち が い	15	19	20	31	26	25	21	33	26	31	35	29	311
試 験	27	47	44	16	54	51	53	55	70	49	62	61	589
そ の 他	103	48	62	48	61	61	64	57	67	80	60	79	790
通 報 訓 練	21	32	67	21	31	38	15	11	30	30	70	39	405
携 帯 転 送	3	6	3	5	14	2	10	6	3	7	5	10	74
合 計	945	702	784	646	785	735	897	912	795	883	829	950	9,863

※ 令和5年より119番通報以外での通報（一般加入電話）を含みます。

※ 件数には同報（同一通報）も含まれています。

※ その他とは、無音等上記種別に属さないものです。



5 気 象

(1) 気象状況総括表

令和6年

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
天候 (日)	晴	15	8	13	9	16	10	21	21	20	10	15	16	174 47.5%	
	曇	13	13	13	16	8	12	5	5	8	15	10	13	131 35.8%	
	雨	3	8	5	5	7	8	5	5	2	6	5	2	61 16.7%	
	雪													0 0.0%	
気温 (℃)	平均	7.2	7.8	9.8	16.3	18.5	22.9	28.9	29.4	27.4	20.8	14.5	8.6	年間平均 17.7	
	最高	15.1	19.4	23.1	26.6	29.1	34.1	37.1	36.8	34.1	30.9	22.1	18.7	7月29日 37.1	
	最低	-1.5	0.8	-0.7	6.0	10.4	14.5	21.4	24.3	19.3	13.6	6.4	1.7	1月25日 -1.5	
湿度 (%)	平均	77.5	85.6	74.5	85.7	79.9	86.6	82.3	80.1	83.4	88.1	83.8	73.2	年間平均 81.7	
	最小	41.9	35.5	15.5	17.5	24.4	41.3	46.1	43.8	45.8	46.3	44.9	41.9	3月15日 15.5	
	実効湿度	76.9	85.5	75.0	84.3	80.2	85.8	83.6	78.7	83.7	87.7	84.5	73.7	年間平均 81.6	
風速・風向 (m/s)	平均	1.8	1.6	2.0	1.2	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.3	1.8	2.0	年間平均 1.6	
	最大瞬間	風速	15.4	16.6	21.3	16.5	23.2	19.6	16.5	16.7	12.1	14.3	15.2	17.0	最大瞬間 5月16日
		風向	西	南南西	西北西	南西	南南西	南西	北	東北東	北東	南南西	東北東	西北西	23.2 南南西
降水量 (mm)	月間	23.5	105.0	150.0	75.0	227.0	298.5	193.5	150.0	33.5	190.0	110.0	5.5	年間総雨量 1,561.5	
	1日最多	5.0	22.0	27.0	30.5	117.5	81.0	65.5	58.5	26.0	46.5	54.5	3.5	1日最多雨量 5月28日 117.5	

※上記気象状況の各データ（天候は除く）は、当消防本部設置（西条市新田）の気象情報観測装置による

(2) 気象警報・注意報の発表回数

令和6年

月別 項目		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
大 雨	警 報					1		1	1			1		4
	注 意 報			1	1	2	4	3	4		1	2		18
洪 水	警 報													0
	注 意 報					1	2	3	1		1	1		9
波 浪	警 報													0
	注 意 報	4	4	6	2	4			1	1	2	3	4	31
高 潮	警 報													0
	注 意 報							2	4		2	1		9
大 雪	警 報													0
	注 意 報												2	2
暴 風	警 報													0
暴 風 雪	警 報													0
乾 燥	注 意 報	5	2	5	1	3							8	24
強 風	注 意 報	5	4	6	2	4			1	1	2	3	4	32
雷	注 意 報	4	5	7	3	5	9	10	14	11	5	3	6	82
濃 霧	注 意 報		1	3	4		1	2						11
霜	注 意 報			13										13
風 雪	注 意 報	1												1
着 雪	注 意 報													0
なだれ	注 意 報													0
低 温	注 意 報													0
小 計	警 報	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	4
	注 意 報	19	16	41	13	19	16	20	25	13	13	13	24	232
合 計		19	16	41	13	20	16	21	26	13	13	14	24	236

※発表回数に継続は含まない。

(3) 過去10年間の年別気象調

年別 区分		27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	平均
天 候 (日)	晴	189	179	196	209	192	188	187	210	171	174	190
	曇	118	134	125	96	119	126	124	111	143	131	123
	雨	58	53	42	57	55	52	52	44	51	61	53
	雪			2	3			2				1
気 温 (℃)	平均	16.3	17.0	16.4	16.6	17.0	17.0	16.8	16.9	17.7	17.7	16.9
	最高	34.9	36.4	36.5	37.5	35.1	36.8	35.3	36.6	35.6	37.1	36.2
	最低	-0.9	-2.6	-0.4	-2.9	-0.3	0.2	-3.1	-1.3	0.2	-1.5	-1.3
湿 度 (%)	平均	76.0	78.2	74.9	77.9	78.5	78.5	78.5	78.4	81.0	81.7	78.4
	最小	11.9	12.5	14.1	8.3	13.0	12.5	18.6	13.6	16.1	15.5	13.6
風 速 (m/s)	平均	1.4	1.5	1.6	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5
	最大瞬間 風速 風向	28.7	30.3	26.1	24.2	19.6	22.4	24.8	31.4	18.4	23.2	24.9
		南南西	南南西	東北東	北西	南	南東	南南西	南西	南南西	南南西	—
降 水 量 (mm)	年間	1,397.5	1,389.0	1,435.5	1,868.5	1,031.0	1,337.5	1,127.0	972.5	1,052.5	1,561.5	1,317.3
	最多月	6月	9月	10月	9月	7月	7月	8月	9月	5月	6月	—
	降水量	204.0	361.5	478.0	630.0	191.5	289.0	248.0	271.0	228.5	298.5	320.0

(4) 台風・集中豪雨

令和6年

名 称	月 日	降 水 量		最 大 瞬 間 風 速 (m/s)	備 考
		(mm)	計		
前線 による大雨	5月28日	28日	117.5	5月28日 4時59分 10.0m/s 風向 北北西	5月28日 2時40分 県災害警戒本部設置
					5月28日 5時47分 警戒体制
					5月28日 10時07分 災害警戒本部設置
					5月28日 16時17分 災害警戒本部解散
					5月28日 18時30分 県災害警戒本部解散
	西条市最大 時間雨量	鞍瀬	21.5		5月28日 23時02分 警戒体制解除
前線 による大雨	7月1日			6月30日 12時12分 7.2m/s 風向 北	6月29日 16時17分 警戒体制
	)	1日	42.5		7月1日 12時18分 県災害警戒本部設置
		2日	0.5		7月1日 12時18分 災害警戒本部設置
			43.0		7月2日 3時25分 災害警戒本部解散
	7月2日				7月2日 7時0分 県災害警戒本部解散
	西条市最大 時間雨量	田滝	24.5		7月2日 17時45分 警戒体制解除
台風10号	8月28日			8月29日 9時01分 16.7m/s 風向 東北東	8月28日 5時47分 警戒体制
	)				8月28日 14時0分 災害警戒本部設置
		28日	3.5		8月28日 16時0分 災害対策本部移行
		29日	38.0		8月28日 16時05分 県災害警戒本部設置
		30日	58.5		8月31日 10時51分 災害対策本部解散
		31日	6.0		8月31日 17時0分 県災害対策本部解散
		1日	0.0		9月1日 4時04分 災害警戒本部解散
	9月1日				9月1日 4時04分 警戒体制解除
	西条市最大 時間雨量	東之川	38.0		
前線 による大雨	11月2日	2日	54.5	11月2日 23時40分 10.7m/s 風向 東北東	11月2日 4時15分 警戒体制
					11月2日 9時51分 県災害警戒本部設置
					11月2日 11時13分 災害警戒本部設置
					11月2日 18時16分 災害警戒本部解散
					11月2日 20時32分 警戒体制解除
	西条市最大 時間雨量	河之内	39.0		11月2日 22時0分 県災害警戒本部解散

※雨量及び風向風速(西条市最大を除く)は、当消防本部設置(西条市新田)の気象情報観測装置によるものです。

予 防 関 係

- 1 危 険 物
- 2 一 般 予 防
- 3 広 報 ・ 訓 練 指 導
- 4 消 防 ク ラ ブ



1 危 険 物

(1) 危険物施設別事務処理状況

種 別 \ 区 分	合 計	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
設 置 許 可	16		3			1	1	11					
変 更 許 可	66		2	11		2				14		3	34
設 置 完 成 検 査	11	1	5			1	1	2	1				
変 更 完 成 検 査	62		1	10		1				16		3	31
水 張 検 査	2			2									
水 圧 検 査	15	12											3
保 安 検 査	0												
溶 接 部 検 査	1			1									
基 礎 ・ 地 盤 検 査	0												
仮 使 用 承 認	72			9		2				14			47
予 防 規 程 認 可	3									2			1
保安監督者選任届	28	1	10	2			1		1	6		1	6
保安監督者解任届	28		11	2	1				1	6		1	6
品名・数量変更届	4		1			1				1			1
廃 止 届	7		1			2	2			1			1
合 計	315												
仮貯蔵・仮取扱承認	26												

(2) 危険物等手数料徴収状況

危険物関係係	手 数 料 別		件 数	金 額 (円)	火薬関係係	手 数 料 別		件 数	金 額 (円)
	合 計		262	4,353,900		合 計		8	54,800
	設 置 許 可		9	204,000		譲 渡 し 許 可			
	変 更 許 可		65	2,037,000		譲 受 け 許 可	火 工 品		
	設 置 完 成 検 査		11	138,000			25kg 以下	1	3,500
	変 更 完 成 検 査		61	956,500					
	タンク水張検 査		2	38,800		そ の 他	4	27,600	
	タンク水圧検 査		15	185,400					
	仮 使 用 承 認		72	388,800					煙火消費許可
	仮貯蔵・仮取扱承認		26	140,400					
	保 安 検 査								
	基 礎 地 盤 検 査								
	溶 接 部 検 査		1	265,000					

(3) 数量別危険物施設数調

施設別 数量別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計	464	1	88	59	18	62	1	46	12	77	0	1	99
5倍以下	169		44	12	7	33	1	30	4	1			37
5倍を超え 10倍 "	89		18	11	8	15			4	5			28
10倍 " 50倍 "	114		11	21	3	12		16	3	25			23
50倍 " 100倍 "	27	1	9	3		1				8			5
100倍 " 150倍 "	15		2			1				10			2
150倍 " 200倍 "	21		2	2					1	15			1
200倍 " 1,000倍 "	27		2	8						13		1	3
1,000倍 " 5,000倍 "	2			2									
5,000倍 " 10,000倍 "	0												
10,000倍を超えるもの	0												

(4) 消防署・事業所危険物防災資材保有状況

資 材 事業所等		防 油 用 資 材				危 険 物	消 火 薬 剤 等				
		オイル フェ ンス (m)	油 処 理 剤 (ℓ)	吸 着 マ ツ ト (kg)	土 の う 袋 (袋)	最 大 貯 蔵 量 (kℓ)	化 学 消 防 車 (台)	泡 発 砲 原 液 (ℓ)		高 発 砲 原 液 (ℓ)	水 溶 性 液 体 用 泡 消 火 薬 剤 (ℓ)
								3%	6%		
合 計		1,920	938	1,797	130,150	21,336	2	24,250	3,700	40	2,840
四 国 電 力 (株) 火力本部西条発電所		300		468	350	第4類 4,607		8,390			
(株) ク ラ レ 西 条 事 業 所		380	270	306	400	第4類 9,092		3,100	3,700		
住 友 金 属 鉦 山 (株) 東 予 工 場		300	396	75	800	第4類 2,948		1,180			
住 友 共 同 電 力 (株) 壬 生 川 火 力 発 電 所		460	216	285	800	第4類 4,689		2,500		40	
消 防 署	東消防署		36		(水防兼用) 50,000		1	5,520			2,740
	西消防署		20		(水防兼用) 20,000		1	3,560			100
消 防 団					(水防兼用) 57,800			0			
西条市危険物 安全協会	東消防署	100		153							
	西消防署	80		153							
西 条 市 役 所 ひ うち 港 務 所		(県設置) 300		357							

2 一般予防

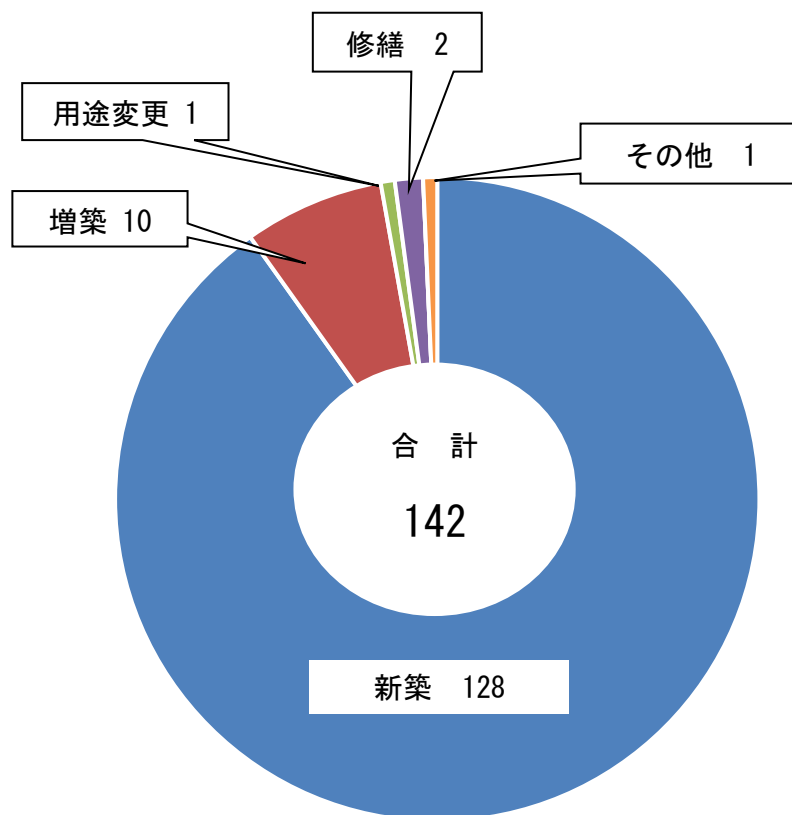
(1) 防火対象物一覧表

政令区分			防火対象物 棟数	5階以上 防火対象物	防火管理者 必要数	防火管理者 選任数
合 計			3,451	111	791	721
1	イ	観覧場・劇場	6		6	6
	ロ	公会堂・集会所	64	1	58	58
2	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等	13		10	10
	ハ	性風俗関係店舗等				
	ニ	カラオケボックス等	1		1	1
3	イ	料理店等				
	ロ	飲食店等	76		54	48
4		百貨店等	171		132	124
5	イ	旅館・ホテル	77	13	36	36
	ロ	共同住宅等	649	63	68	52
6	イ	病院・診療所	70	4	17	16
	ロ	福祉施設等	59		53	53
	ハ	福祉施設・保育所等	114		60	59
	ニ	幼稚園等	9		7	6
7		学校	155		44	42
8		図書館等	13		9	8
9	イ	蒸気浴場等				
	ロ	公衆浴場	2		1	1
10		車両の停車場等	4		1	
11		神社・寺院	52		16	15
12	イ	工場・作業場	559	6	43	41
	ロ	テレビスタジオ				
13	イ	駐車場・車庫	36			
	ロ	航空機の格納庫				
14		倉庫	448		8	7
15		その他の事業所	525	5	63	58
16	イ	特定を含む複合	207	14	93	76
	ロ	特定以外の複合	135	5	11	4
17		重要文化財等	4			
18		アーケード	2			

(2) 建築種別同意件数

(令和6年度)

建 築 種 別	同 意 件 数
新 築	128
増 築	10
用途変更	1
修 繕	2
模様替え	0
その他	1
合 計	142



(3) 消防用設備点検報告状況

区 別 用 途 別			点検を要する防火対象物			報告済防火対象物		
			総 数	千 ㎡ 未 満	千 ㎡ 以 上	総 数	千 ㎡ 未 満	千 ㎡ 以 上
合 計			3,228	2,272	956	1,465	1,027	438
1	イ	観 覧 場 ・ 劇 場	6	1	5	6	1	5
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 所	64	46	18	62	46	16
2	イ	キ ャ バ レ ー 等						
	ロ	遊 技 場 等	13	3	10	12	2	10
	ハ	性 風 俗 関 係 店 舗 等						
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	1	1		1	1	
3	イ	料 理 店 等						
	ロ	飲 食 店 等	76	73	3	61	58	3
4		百 貨 店 等	171	117	54	149	100	49
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	71	47	24	49	29	20
	ロ	共 同 住 宅 等	637	516	121	243	204	39
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	70	55	15	57	43	14
	ロ	福 祉 施 設 等	59	31	28	53	30	23
	ハ	福 祉 施 設 ・ 保 育 所 等	114	102	12	93	82	11
	ニ	幼 稚 園 等	9	8	1	7	7	
7		学 校	137	57	80	34	15	19
8		図 書 館 等	11	8	3	7	6	1
9	イ	蒸 気 浴 場 等						
	ロ	公 衆 浴 場	2	2		1	1	
10		車 両 の 停 車 場 等	4	2	2	4	2	2
11		神 社 ・ 寺 院	41	35	6	22	20	2
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	560	295	265	193	90	103
	ロ	テ レ ビ ス タ ジ オ						
13	イ	駐 車 場 ・ 車 庫	36	31	5	12	10	2
	ロ	航 空 機 の 格 納 庫						
14		倉 庫	448	325	123	125	92	33
15		そ の 他 の 事 業 所	399	298	101	145	108	37
16	イ	特 定 を 含 む 複 合	193	140	53	114	68	46
	ロ	特 定 以 外 の 複 合	100	75	25	15	12	3
17		重 要 文 化 財 等	4	4				
18		ア ー ケ ー ド	2		2			

(4) 火災予防条例等による届出事務処理状況

種 別 \ 月 別	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計	3458	288	264	302	234	174	228	286	337	359	293	349	344
防火管理者選任（解任）届	151	25	20	12	15	7	11	9	14	10	6	5	17
消 防 計 画 届	187	33	25	16	18	10	10	14	14	13	9	5	20
防火対象物使用開始届	94	9	6	6	10	4	6	7	9	5	7	9	16
消防用設備等着工届	95	4	20	9	8	9	5	7	9	9	2	7	6
消防用設備等設置届	261	20	19	23	29	18	13	30	22	20	20	25	22
煙 火 打 上 げ 届	77	9	1	3	21	5	7	23		1	2	1	4
火災とまぎらわしい行為の届	352	31	25	18	16	15	26	21	33	52	69	32	14
道 路 工 事 届	484	24	42	50	28	23	42	71	40	55	44	32	33
催 物 開 催 届													
露 店 等 の 開 設 届	67	5	1	7	8	5	9	10	9	4	2	4	3
少量危険物貯蔵取扱届	30	2	2	5	1	2	2	2	5	4	1		4
指定可燃物貯蔵取扱届	16	7		1	2	2				2	1	1	
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	33	8	3	2	1	1		2	3	6	1	3	3
水素ガスを充填する気球設置届													
炉・ボイラー等設置届	17	1			3	3	1	3	1			5	
発電・変電・蓄電池設備設置届	47	5	3	2	3	4	1	8	7	4	3	2	5
ネオン管灯設備設置届													
水道の断水減水届													
消防用設備等点検結果報告書	1482	101	88	146	67	60	88	71	164	168	125	212	192
防火対象物点検結果報告書	65	4	9	2	4	6	7	8	7	6	1	6	5

3 広報 ・ 訓練指導

(1) 車両による広報状況

(令和6年度)

種 別		防 火 ・ 防 災 の 日	春 ・ 秋 季 火 災 予 防 運 動	年 末 年 始 火 災 予 防 運 動	山 林 火 災 予 防 運 動	救 急 医 療 週 間	夜 間 広 報 パ ト ロ ー ル	文 化 財 防 火 デ ー ト	ゴ ー ル デ ン ウ イ ー ク	災 害 情 報	防 災 と ボ ラ ン テ ィ ア 週 間	火 災 多 発 時 特 別 広 報	応 急 手 当 の 日 他	そ の 他	合 計
回 数	署	15	8	15	27	5	3				1	25	9	32	140
	団	203	341	213	123		258								1, 138

(2) 市町村防災行政無線（同報系）による広報状況

(令和6年度)

種 別		水 防 に 関 す る 広 報	防 火 の 日	春 ・ 秋 季 火 災 予 防 運 動	年 末 年 始 火 災 予 防 運 動	山 林 火 災 予 防 運 動	救 急 の 日 ・ 応 急 手 当 の 日	文 化 財 防 火 デ ー ク	ゴ ー ル デ ン ウ イ ー ク	火 災 多 発 時 特 別 広 報	そ の 他	合 計
回 数			9	2		4	1	1				17

(3) 消防・救急訓練指導状況

ア 消防訓練指導状況

(令和6年度)

対象物 種別	幼稚園 ※ 1	小学校 ※ 1	中学校 ※ 1	高等学校 ※ 1	少年消防 クラブ	自治会
参加人員	2,986	1,407	183	4,714	44	702
参加団体別 実施回数	38	23	8	16	2	20
対象物 種別	物品販売 店舗	旅館 ホテル	病院 社会福祉施設	会社 事業所	その他 の団体	
参加人員		65	1,232	1,119	1,512	
参加団体別 実施回数		5	44	37	22	
合計	参加人員		13,964	参加団体別 実施回数		215

イ 救急訓練指導状況

(令和6年度)

対象物 種別	幼稚園 ※ 1	小学校 ※ 1	中学校 ※ 1	高等学校 ※ 1	少年消防 クラブ	自治会
参加人員	642	784	954	244		354
参加団体別 実施回数	48	32	22	12		10
対象物 種別	物品販売 店舗	旅館 ホテル	病院 社会福祉施設	会社 事業所	その他 の団体	
参加人員			373	491	591	
参加団体別 実施回数			23	31	32	
合計	参加人員		4,433	参加団体別 実施回数		210

※1 については、PTAを含む

ウ 指導内容別実施回数及び参加延べ人員

(令和6年度)

対象物 種別		幼稚園 保育園 ※1		小学校 ※1		中学校 ※1		高等学校 ※1		少年消防 クラブ		自治会	
		延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員
合 計		151	10,061	75	3,761	30	1,276	41	9,993	4	88	60	1,890
消 防 訓 練	避 難 訓 練	24	2,526	6	712			12	4,592			12	322
	初期消火訓練	26	2,425	6	469			2	539	1	30	12	384
	防火防災講話	13	1,368	3	246			5	2,821			12	337
	消 防 映 画	3	387			1	145					1	13
	署 内 見 学	11	343	15	637			1	2	1	14		
	検 証												
	そ の 他	26	2,370	13	913	7	177	9	1,795	2	44	13	480
救 急 訓 練	心肺蘇生法	37	493	32	784	5	93	2	50			9	294
	応急処置法							1	19			1	60
	救命講習	11	149			7	56	9	175				
	入門コース					10	805						
	救急ビデオ・講話												
	そ の 他 ※ 2												
対象物 種別		物 品 販 売 店 舗		旅 館 ホ テ ル		病 院 社会福祉施設		会 社 事 業 所		そ の 他 団 体		合 計	
		延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員
合 計		0	0	12	159	123	3,166	119	2,998	71	2,995	686	36,387
消 防 訓 練	避 難 訓 練			5	65	40	1,162	19	599	4	249	122	10,227
	初期消火訓練			5	65	43	1,207	31	857	7	461	133	6,437
	防火防災講話			2	29	3	54	5	110	4	243	47	5,208
	消 防 映 画									1	16	6	561
	署 内 見 学					2	32	13	262	5	136	48	1,426
	検 証							1	11			1	11
	そ の 他					12	338	19	668	18	1,299	119	8,084
救 急 訓 練	心肺蘇生法					18	267	22	345	10	340	135	2,666
	応急処置法											2	79
	救命講習					5	106	9	146	21	233	62	865
	入門コース											10	805
	救急ビデオ・講話									1	18	1	18
	そ の 他 ※ 2											0	0

※1 については、PTAを含む

※2 普及員再講習の回数及び人員はその他に含む

(4) 広報施策テーマ及び市報掲載記事一覧表

(令和6年度)

月	広報施策テーマ	市報掲載記事タイトル
4月	危険物取扱者試験の案内 火災予防啓発 救命講習会の案内	令和6年度危険物取扱者試験 防火パレード 火災予防を啓発！ 市民救命士養成講習会
5月	救急車の適正利用について 西条市消防観閲式	「もしも」は突然 命をつなぐ「救急隊」 令和6年度西条市消防観閲式 消防団の統率力と結束力を披露！ 市民救命士養成講習会
6月	消防訓練指導について 熱中症対策 消防設備士試験の案内 救命講習会の案内	正しい消火器の取り扱いを体験しよう 熱中症にご注意を！ 消防設備士試験 市民救命士養成講習会
7月	火災予防啓発 えひめ救急 電話相談について 救急フェアの作品募集 救命講習会の案内	花火は楽しく安全に 救急車を呼ぶ？病院に行く？迷ったときは えひめ救急電話相談＃7119 救急フェア展示作品を募集します 市民救命士養成講習会
8月	火災予防啓発 消防水利について 危険物取扱者試験の案内 救急フェア 救命講習会の案内	花火による火災に注意 消防水利の近くは駐車禁止 危険物取扱者試験 SAIJO BASEへ行こう！ 救急フェア2024 市民救命士養成講習会
9月	住宅用火災警報器について 救急車の適正利用 について 危険物災害防止 各種講習会の案内 救命講習会の案内	住宅用火災警報器は10年を目安に交換を 救急車の適正利用を！ 危険物安全週間 推進標語 入選者表彰 危険物取扱者試験（乙種第4類）準備講習会 危険物取扱者 法定講習会 甲種防火管理（新規・再）講習会 市民救命士養成講習会

月	広報施策テーマ	市報掲載記事タイトル
10月	救急フェア 応急手当競技大会	西条市救急フェアを開催しました 第9回西条市応急手当競技大会を開催しました 市民救命士養成講習会
11月	秋季全国火災予防運動	秋季全国火災予防運動 住宅用火災警報器は10年を目安に交換を 市民救命士養成講習会
12月	年末年始 特別火災予防運動 救命講習会の案内	火災に注意して楽しい年末年始を！ 市民救命士養成講習会
1月	火災予防啓発 文化財防火デー 資機材の整備について	年末年始、電気による火災を防ごう！ 1月26日は文化財防火デー 宝くじ助成金で整備しました 救助訓練人形と乳幼児訓練人形、AEDトレーナー 市民救命士養成講習会
2月	緊急通報システムについて	NET119緊急通報システムをご存じですか？ 市民救命士養成講習会
3月	西条市消防観閲式 春季全国火災予防運動 山林火災予防運動 令和6年火災・救急概要について	西条市消防観閲式 この時期、火災にご注意を！ 春季全国火災予防運動・山林火災予防運動 令和6年火災・救急概要 市民救命士養成講習会

4 消防クラブ

(1) 幼年消防クラブ結成状況

No.	結成日	園 名	所 在 地	クラブ員数
1	S59. 7. 7	めぐみ幼稚園	朔日市623番地2	138
2	S59. 7. 7	めぐみ保育園	朔日市626番地	211
3	S59. 9. 27	みどり保育園	喜多川764番地1	97
4	S59. 10. 1	古川認定こども園	古川甲118番地	109
5	S59. 10. 9	禎瑞保育園	禎瑞1622番地	56
6	S59. 10. 13	玉津幼稚園	玉津202番地5	50
7	S59. 10. 13	玉津保育園	玉津156番地1	62
8	S59. 10. 23	飯岡保育園 愛・ゆめいろ保育園	飯岡3240番地2	71
9	S59. 10. 29	西条栄光幼稚園	明屋敷236番地17	57
10	S59. 10. 30	大町幼稚園	大町68番地	46
11	S59. 10. 30	大町保育園	大町55番地	150
12	S59. 11. 6	みのり保育園	下島山甲363番地1	53
13	S59. 11. 21	西条聖マリア幼稚園	大町716番地1	31
14	S59. 11. 24	神拝保育園	神拝甲239番地3	148
15	S59. 12. 5	ひまわり幼稚園	氷見乙639番地2	9
16	S60. 1. 26	認定こども園 双葉幼稚園	飯岡975番地1	50
17	S60. 2. 26	西条認定こども園	本町1丁目133番地2	81
18	S60. 3. 18	神戸幼稚園	洲之内甲221番地	27
19	S60. 3. 18	神戸保育園	洲之内甲220番地	48
20	S60. 6. 28	橘保育園	西泉乙381番地7	35
21	S61. 8. 7	認定こども園 西山学園	丹原町古田717番地2	60
22	S61. 9. 1	たから幼稚園	三津屋99番地	93
23	S63. 4. 1	東予北保育園	新町268番地1	66
24	S63. 4. 1	国安こども園	国安354番地1	108
25	S63. 4. 1	東予南こども園	石田397番地1	133
26	S63. 4. 1	ふじ保育園	三津屋南7番地12	132
27	S63. 4. 1	花園保育園	周布1112番地1	81
28	H2. 11. 24	東予乳幼児保育園	大町427番地	78
29	H18. 5. 19	田野保育園	丹原町北田野1780番地	26

No.	結成日	園 名	所 在 地	クラブ員数
30	H18. 5. 23	石 根 保 育 所	小松町大頭甲1039番地2	28
31	H18. 5. 25	小 松 東 保 育 所	小松町新屋敷甲3009番地1	69
32	H18. 5. 26	小 松 西 保 育 所	小松町南川甲258番地1	60
33	H18. 6. 6	丹 原 保 育 所	丹原町今井279番地	80
34	H18. 11. 24	中 川 さ く ら 保 育 園	丹原町来見甲1051番地	83
35	H19. 11. 13	多 賀 幼 稚 園	北条1504番地	20
36	H19. 11. 20	小 松 幼 稚 園	小松町新屋敷甲2210番地1	15
37	H25. 7. 10	わ か ば 保 育 園	朔日市807番地7	78
38	H27. 10. 30	さ く ら 保 育 園	大町992番地1	113
39	H28. 4. 1	河 北 こ ど も 園	三芳300番地2	113
合 計				2,965

(2) 少年消防クラブ結成状況

No.	結 成 日	ク ラ ブ 名	所 在 地	クラブ員数
1	S57. 11. 28	神 戸 少 年 消 防 ク ラ ブ	神 戸 小 学 校	31
2	S58. 5. 1	多賀小学校少年消防クラブ	多 賀 小 学 校	48
3	S59. 8. 25	玉 津 少 年 消 防 ク ラ ブ	玉 津 地 区 公 民 館	17
4	S59. 11. 25	橘小学校少年消防クラブ	橘 小 学 校	17
5	S60. 2. 24	飯岡小学校少年消防クラブ	飯 岡 小 学 校	13
6	S60. 3. 8	禎瑞小学校少年消防クラブ	禎 瑞 地 区 公 民 館	10
7	S60. 3. 9	西条小学校少年消防クラブ	西 条 小 学 校	14
8	S60. 3. 10	氷 見 少 年 消 防 ク ラ ブ	氷 見 小 学 校	21
9	S60. 8. 18	大町小学校少年消防クラブ	大 町 小 学 校	22
10	S62. 5. 9	小松小学校少年消防クラブ	小 松 小 学 校	44
11	H元. 7. 15	神 拝 少 年 消 防 ク ラ ブ	神 拝 分 団	26
12	H19. 5. 12	三 芳 っ 子 消 防 ク ラ ブ	三 芳 小 学 校	19
13	H19. 5. 24	吉岡小学校少年消防クラブ	吉 岡 小 学 校	22
14	H19. 7. 2	石 根 小 学 校 消 防 ク ラ ブ	石 根 小 学 校	11
15	H20. 9. 25	国安小学校少年消防クラブ	国 安 小 学 校	28
16	H20. 9. 30	壬 生 川 消 防 ク ラ ブ	壬 生 川 小 学 校	46
17	H21. 7. 3	田 野 っ 子 消 防 ク ラ ブ	田 野 小 学 校	9
18	H21. 10. 1	中 川 少 年 消 防 ク ラ ブ	中 川 小 学 校	17
19	H22. 6. 17	庄内小学校少年消防クラブ	庄 内 小 学 校	13
20	H22. 6. 23	周布の子少年消防クラブ	周 布 小 学 校	21
21	H22. 7. 5	徳田小学校少年消防クラブ	徳 田 小 学 校	9
22	H22. 7. 8	丹原小少年消防クラブ	丹 原 小 学 校	44
23	H22. 7. 13	吉 井 少 年 消 防 ク ラ ブ	吉 井 小 学 校	19
24	H22. 10. 12	楠 河 少 年 消 防 ク ラ ブ	楠 河 小 学 校	12
25	H24. 10. 31	田 滝 少 年 消 防 ク ラ ブ	田 滝 小 学 校	11
合 計				544

(3) 民間防火組織の現況

No.	結 成 日	団体名	所 在 地	会 員 数
1	S37. 7. 24	西条商店街防火推進協議会	消 防 本 部	85
2	H17. 4. 1	西条市危険物安全協会	消 防 本 部	148

火災と救急・救助

1 火 災 統 計

2 救 急 統 計

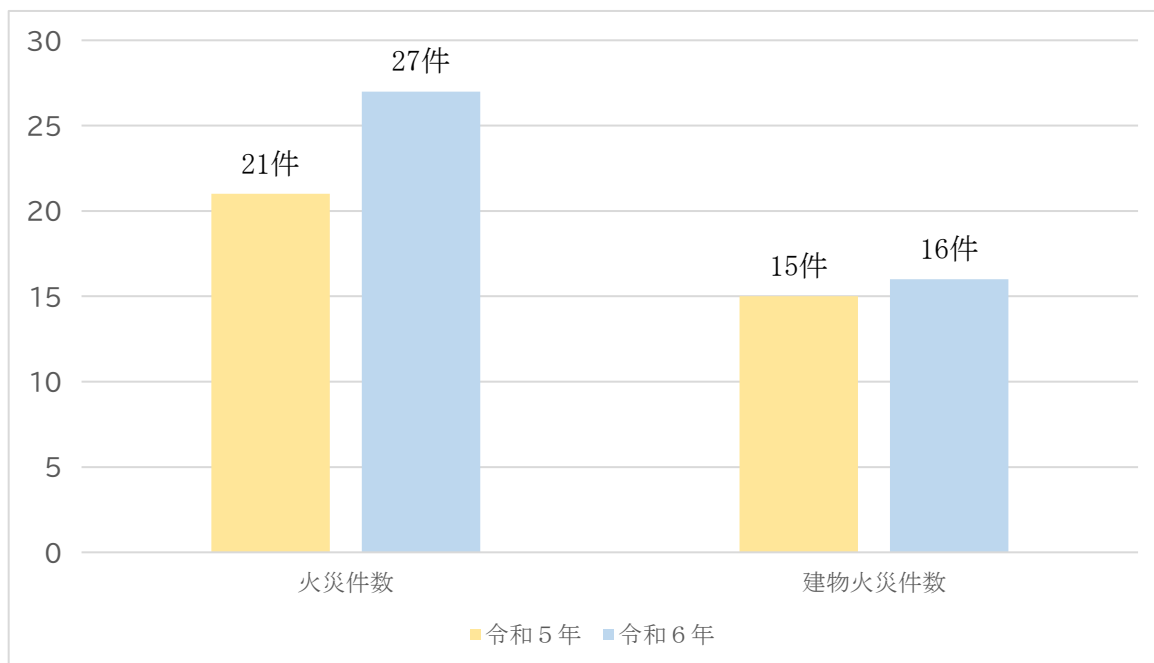
3 救 助 統 計



1 火災統計

(1) 火災概要

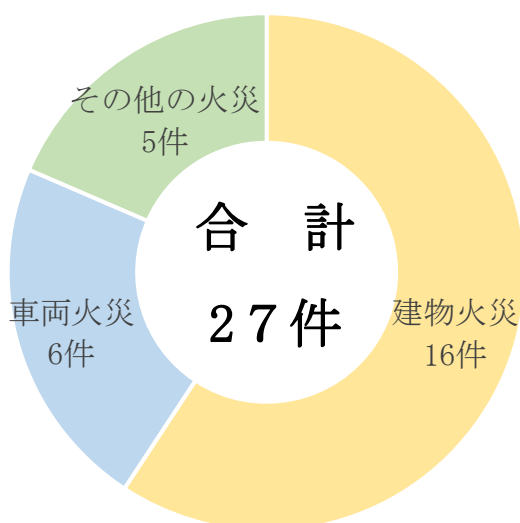
令和 6 年中における火災の状況は、火災件数 27 件（前年比 6 件増）、建物火災件数 16 件（前年比 1 件増）となった。



(2) 火災状況

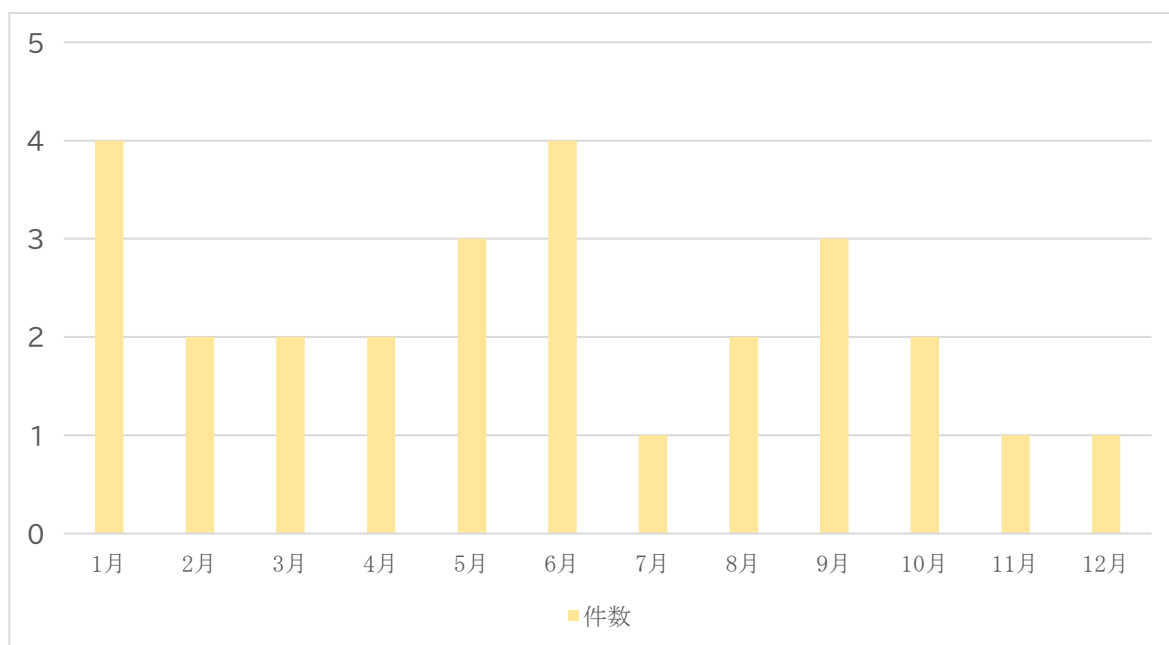
ア 火災種別

火災種別ごとに件数をみると、建物火災が 16 件で約 6 割を占めており、次いで車両火災が 6 件、その他の火災が 5 件となった。



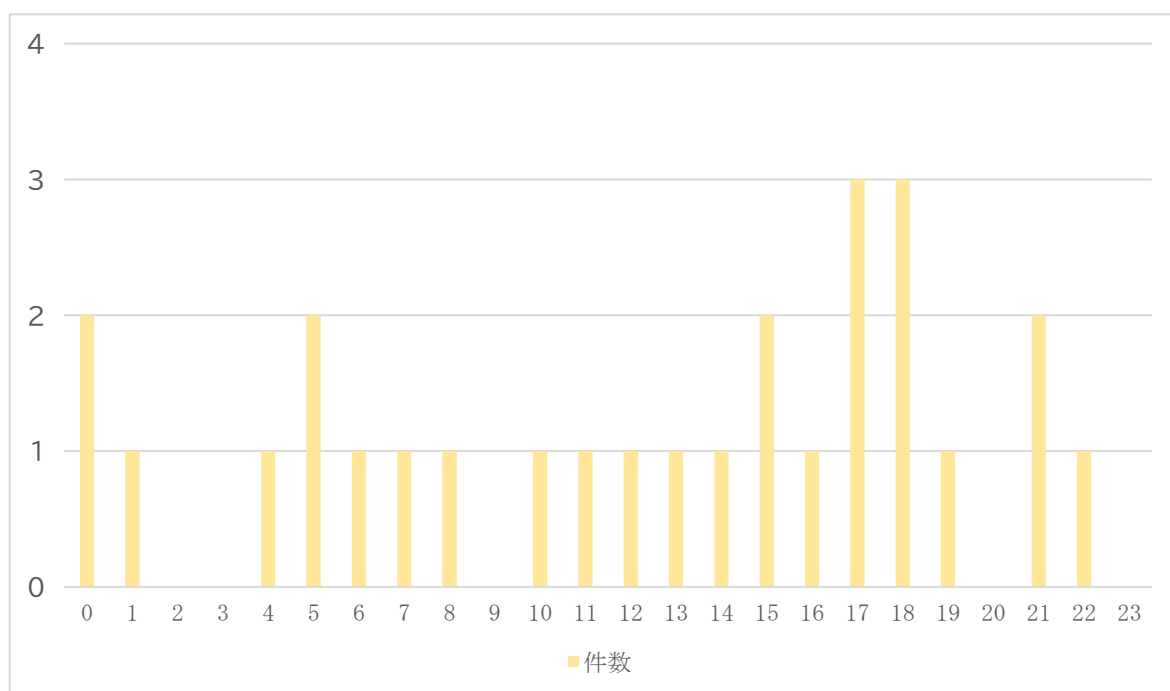
イ 月別火災件数

火災件数を月別にみると、1月及び6月（4件）が最も多く、7月、11月、12月（1件）が少ない月となった。



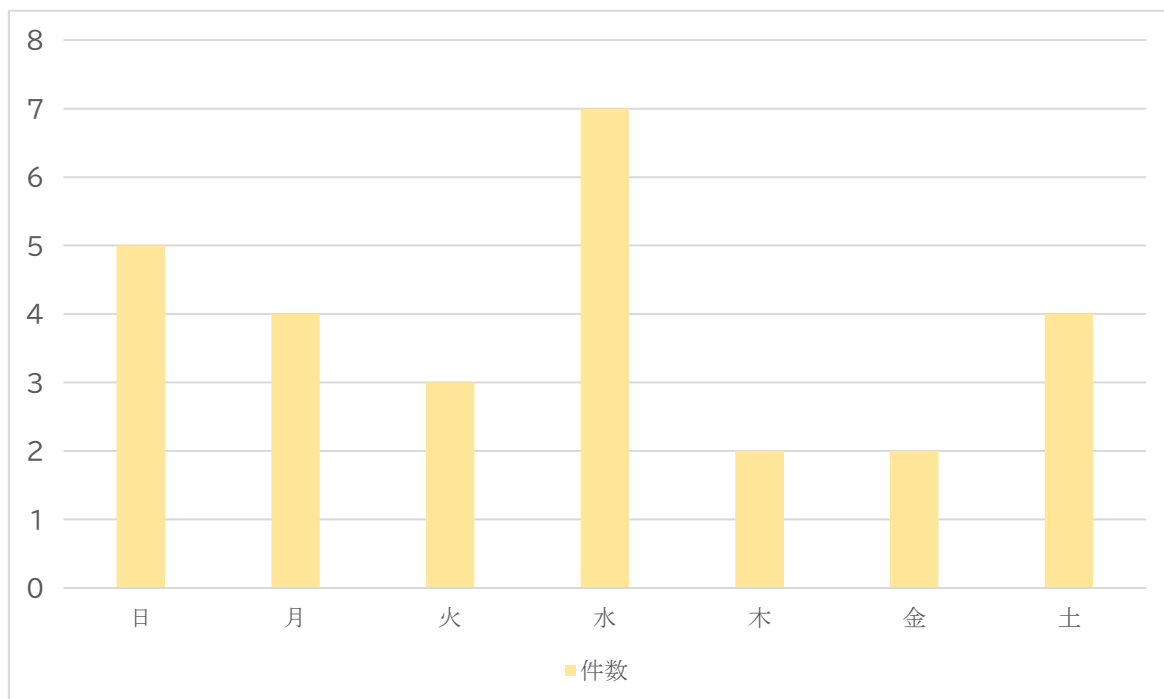
ウ 時間帯別火災件数

火災件数を時間帯別にみると、17時台と18時台（3件）が最も多く、夕食時間帯の出火が多い結果となった。



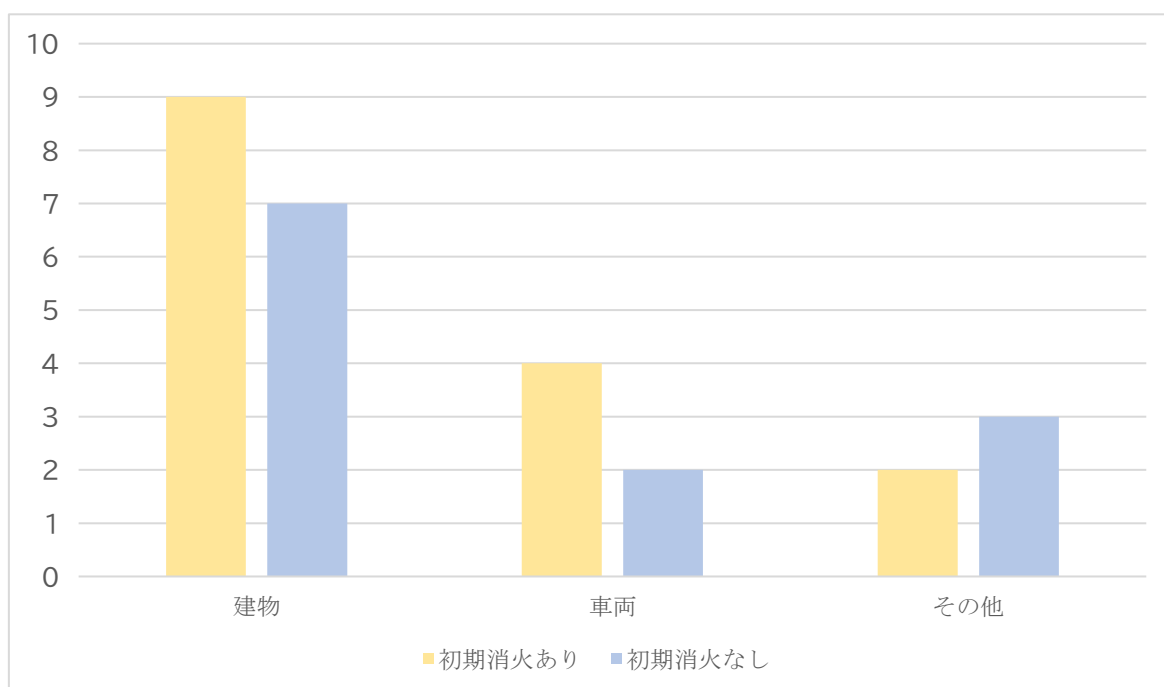
エ 曜日別火災件数

火災件数を曜日別にみると、水曜日（7件）が最も多く、次いで日曜日（5件）が多くなった。

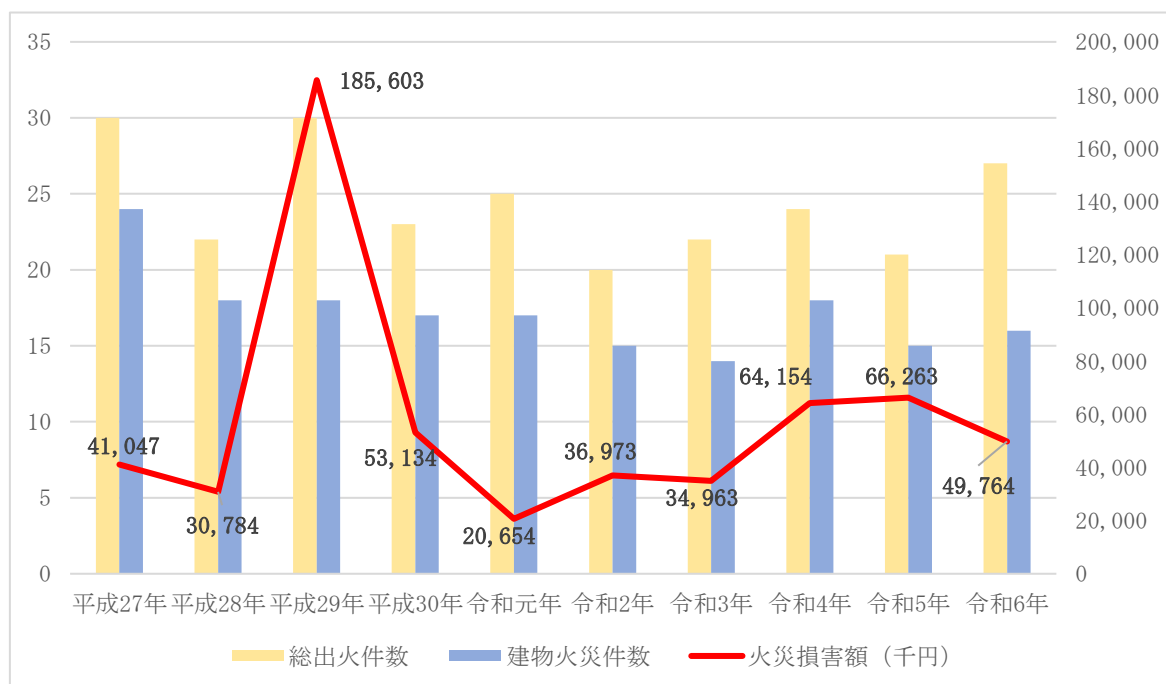


オ 初期消火の状況

初期消火の状況をみると、火災件数 27 件のうち、15 件は初期消火を実施しており、実施に至っていない件数については、12 件となった。



カ 過去 10 年の火災概況（総出火件数、建物火災件数、火災損害額）

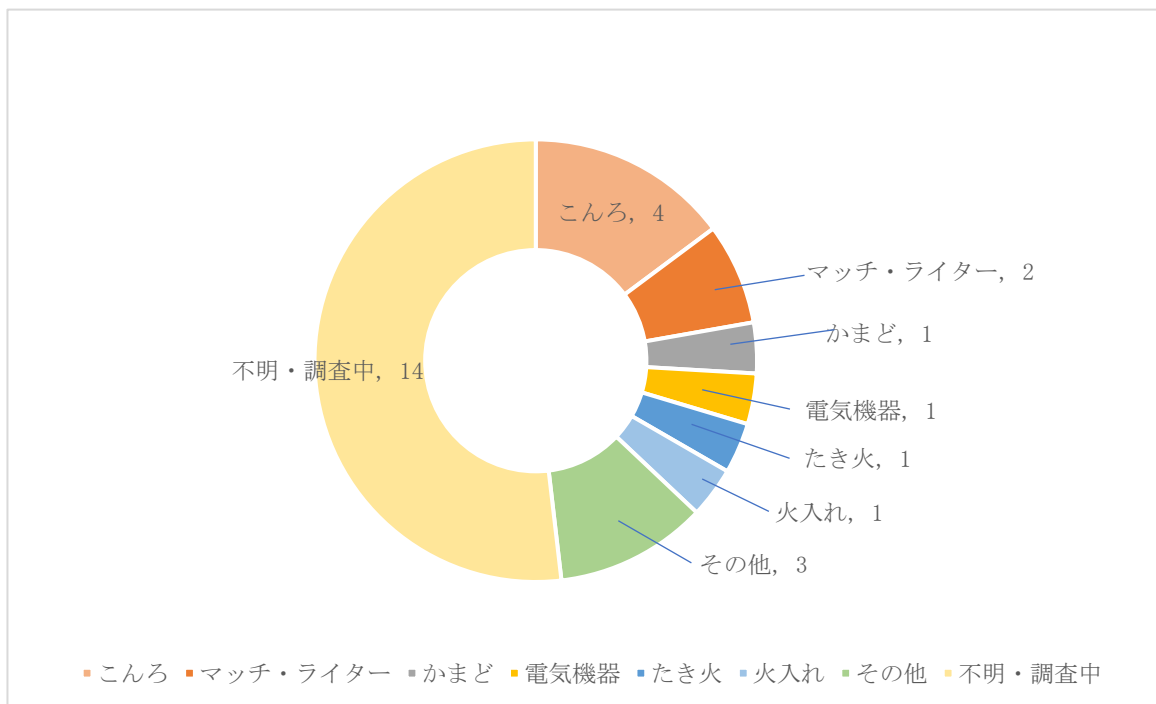


年	総出火件数	建物火災件数	火災損害額（千円）
平成 27 年	30	24	41,047
平成 28 年	22	18	30,784
平成 29 年	30	18	185,603
平成 30 年	23	17	53,134
令和元年	25	17	20,654
令和 2 年	20	15	36,973
令和 3 年	22	14	34,963
令和 4 年	24	18	64,154
令和 5 年	21	15	66,263
令和 6 年	27	16	49,764

キ 令和 6 年の出火原因

令和 6 年の出火原因別にみると、こんろが 4 件で最も多く、次いでマッチ・ライターが 2 件となっており、不明・調査中が 14 件となった。

また、西条市の過去 10 年における出火原因をみると、たき火での出火が多くなっている。全国的にみても、近年では、たばこ及びたき火での出火が多くなっている。



西条市の過去 10 年における出火原因

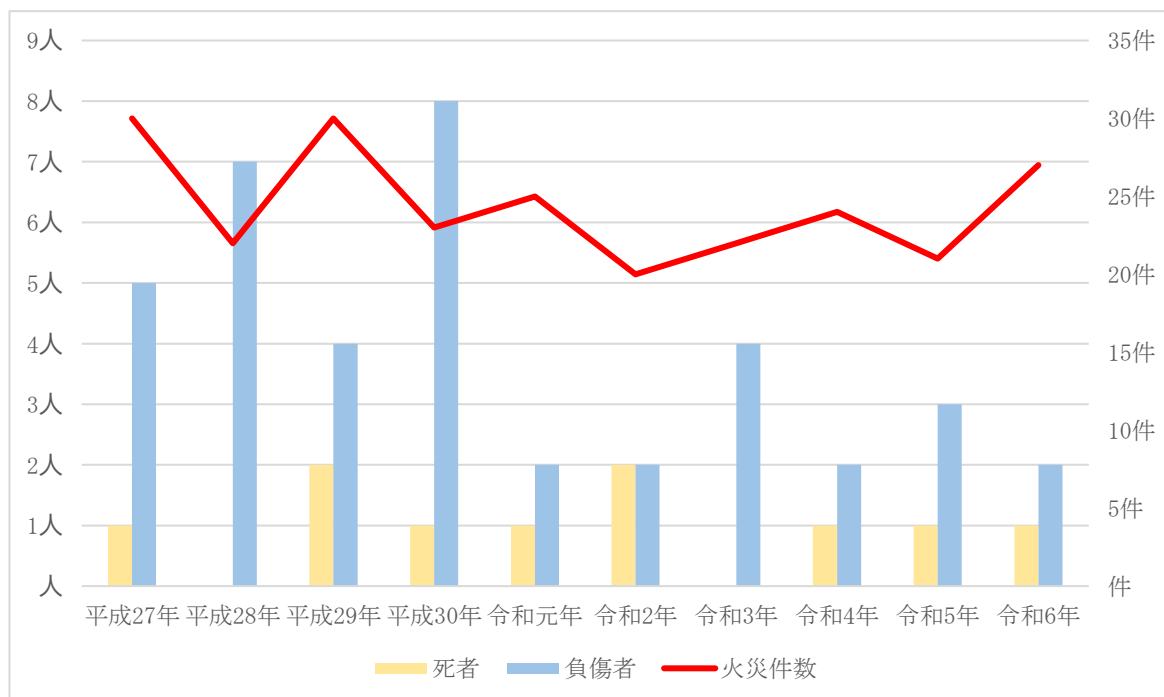
年	最も多い出火原因
平成 27 年	たばこ
平成 28 年	たばこ
平成 29 年	たき火
平成 30 年	たき火
令和元年	たき火
令和 2 年	たき火
令和 3 年	こんろ
令和 4 年	たき火
令和 5 年	たき火
令和 6 年	こんろ

近年における全国の出火原因

年	1 位	2 位
平成 27 年	電気機器の配線	ストーブ
平成 28 年	ストーブ	たばこ
平成 29 年	放火	たばこ
平成 30 年	たばこ	たき火
令和元年	たばこ	たき火
令和 2 年	たばこ	たき火
令和 3 年	たばこ	たき火
令和 4 年	たばこ	たき火
令和 5 年	たばこ	たき火
令和 6 年	たばこ	たき火

ク 過去10年の死者、負傷者の状況

過去10年間の死者及び負傷者については、受傷頻度は変化していない。

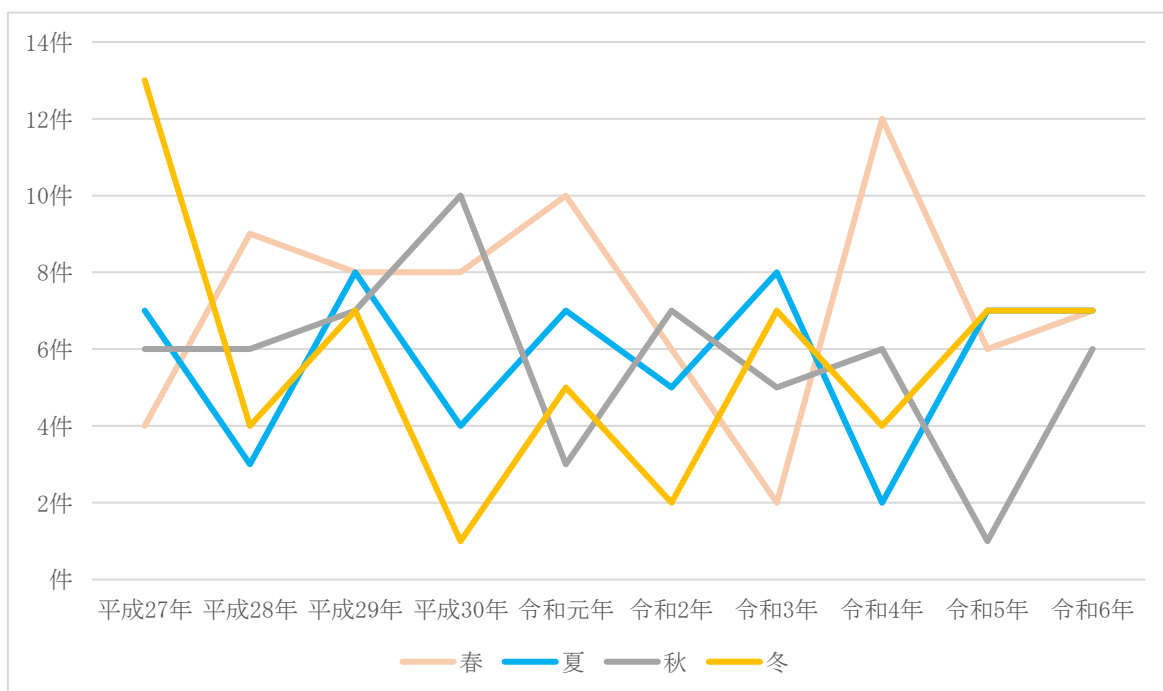


	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
死 者	1人	0人	2人	1人	1人	2人	0人	1人	1人	1人
負 傷 者	5人	7人	4人	8人	2人	2人	4人	2人	3人	2人
火災件数	30件	22件	30件	23件	25件	20件	22件	24件	21件	27件

ケ 過去 10 年の四季別火災件数

(春 3 月～5 月、夏 6 月～9 月、秋 10 月～12 月、冬 1 月～3 月)

四季別の火災件数を比較すると、令和 6 年は、四季別変化はあまり見られないが、過去 10 年でみると、春の時期に出火件数が高い傾向にある。



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
春	4件	9件	8件	8件	10件	6件	2件	12件	6件	7件
夏	7件	3件	8件	4件	7件	5件	8件	2件	7件	7件
秋	6件	6件	7件	10件	3件	7件	5件	6件	1件	6件
冬	13件	4件	7件	1件	5件	2件	7件	4件	7件	7件

2 救急統計

(1) 救急概要

令和6年中における救急業務の実施状況は、救急出動件数 6,978 件、搬送人員 6,220 人となっており、過去最多となった。

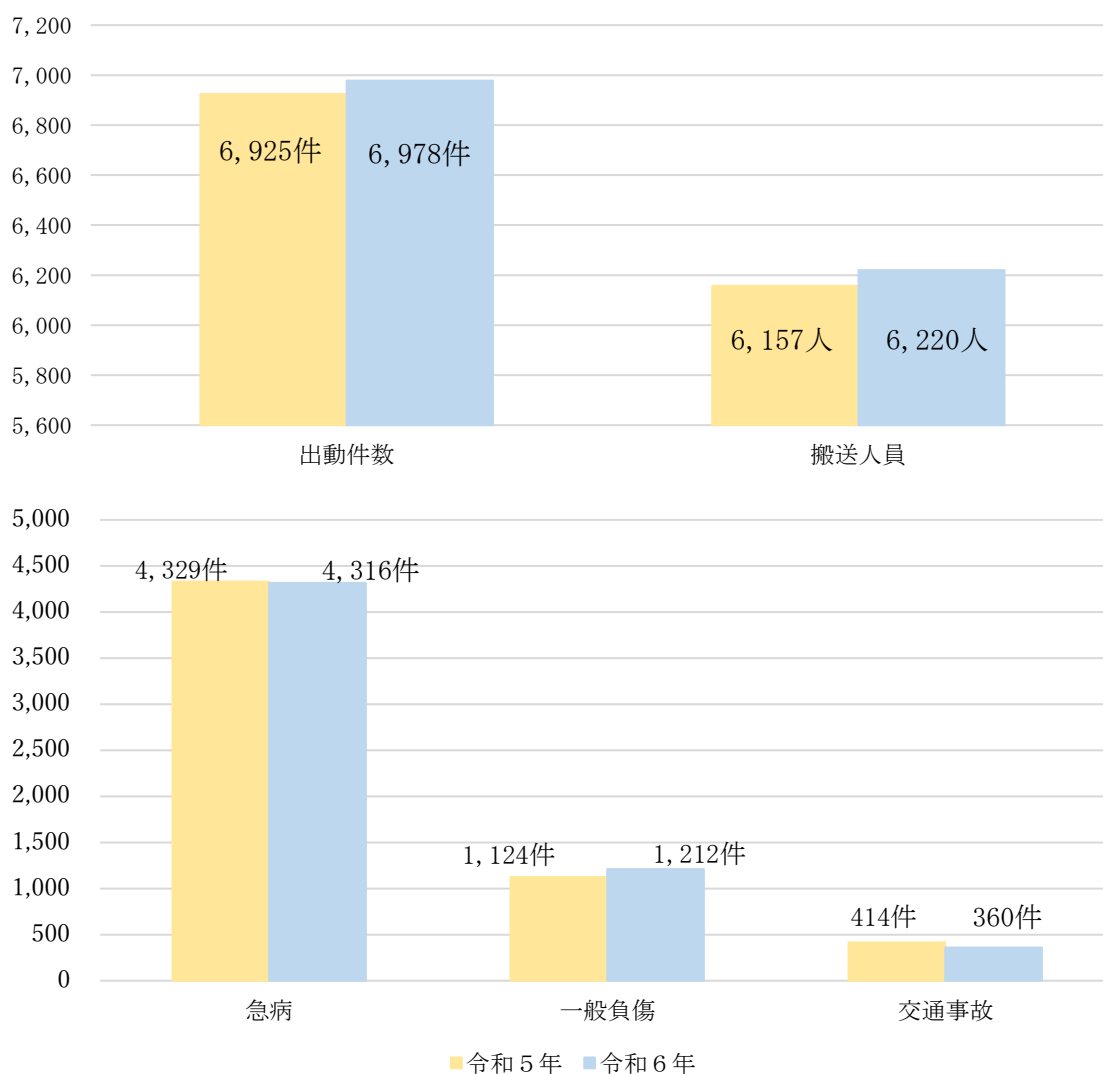
当市の1日当たりの救急出動件数は約 19.1 件、搬送人員は約 17 人となっており、これは、年間に市民の約 17 人に 1 人が救急搬送されたことになる。

事故種別の第1位は急病の 4,316 件 (61.9%) で、次いで一般負傷の 1,212 件 (17.4%) となった。

ア 前年との救急件数・搬送人員の比較

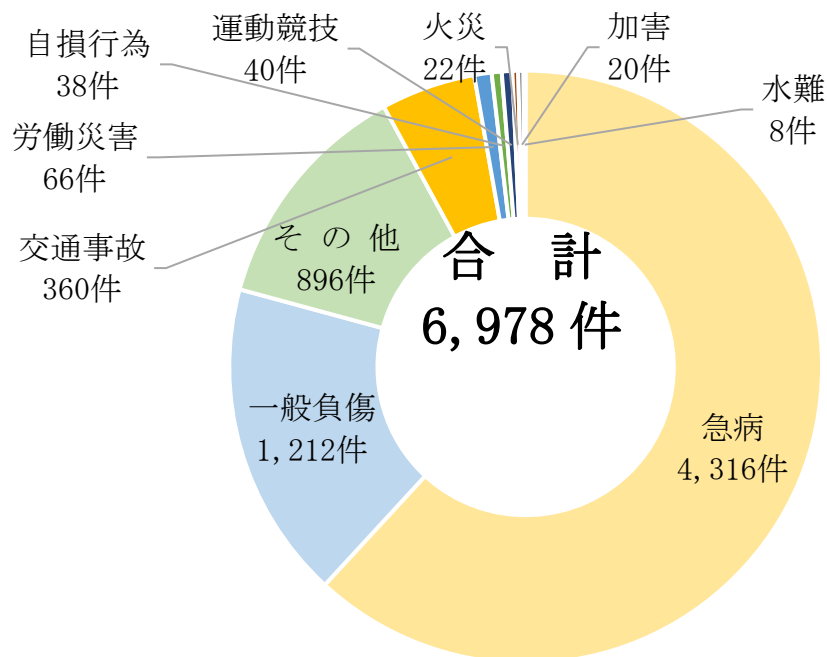
出動件数は前年比 53 件 (0.8%) 増加し、搬送人員も前年比 63 人 (1%) 増加した。

事故種別でみると一般負傷が 88 件 (7.8%)、運動競技が 10 件 (33.3%) 増加しており、交通事故が 54 件 (13%)、急病が 13 件 (0.3%) 減少している。

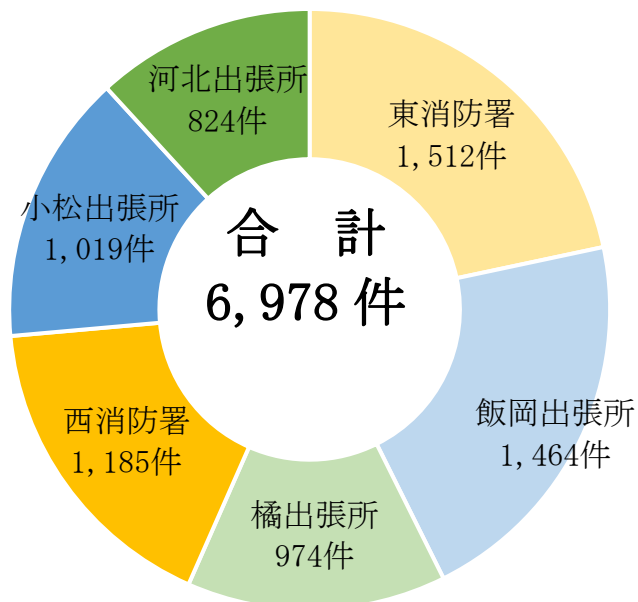


イ 事故種別別の出動状況

事故種別別の内訳では、先に述べた急病、一般負傷、交通事故を除くとその他（転院搬送等）が多くなっている。

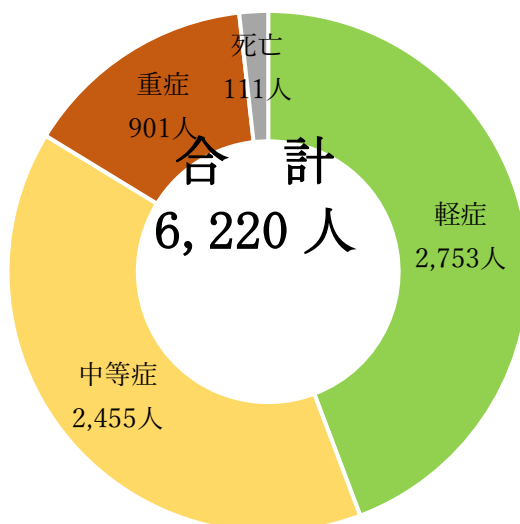


ウ



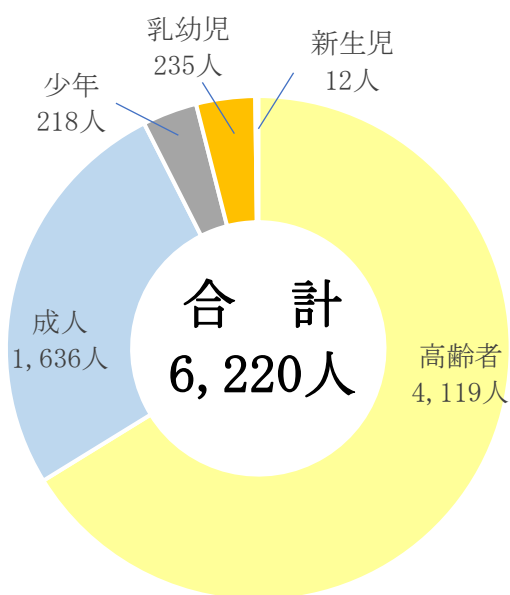
エ 傷病程度別の搬送状況

入院加療を必要としない軽症が 2,753 人（44.3%）と最も多くなっている。重症または軽症以外のものである中等症については 2,455 人（39.5%）、3 週間以上の入院加療を必要とする重症では 901 人（14.5%）となった。

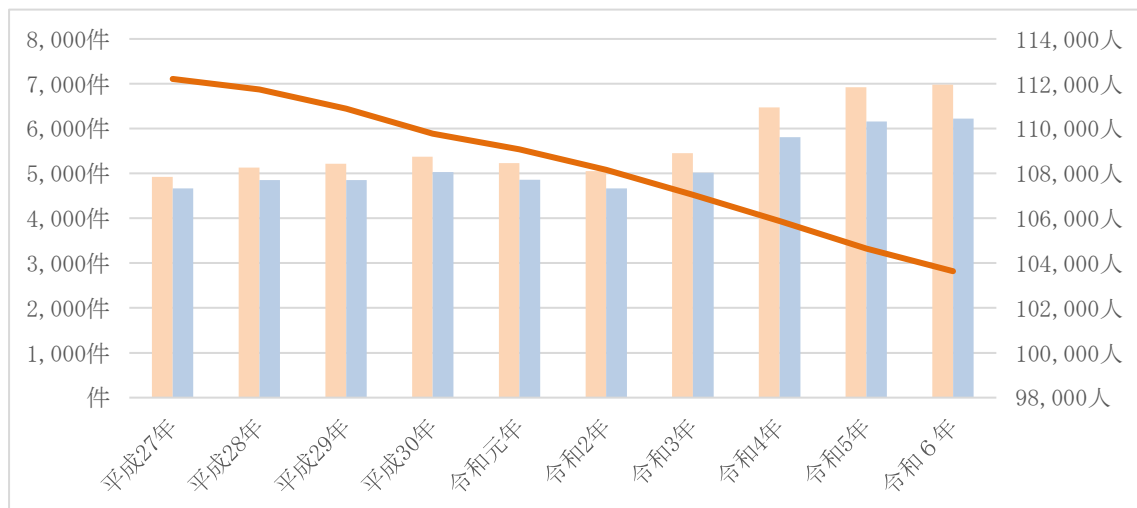


オ

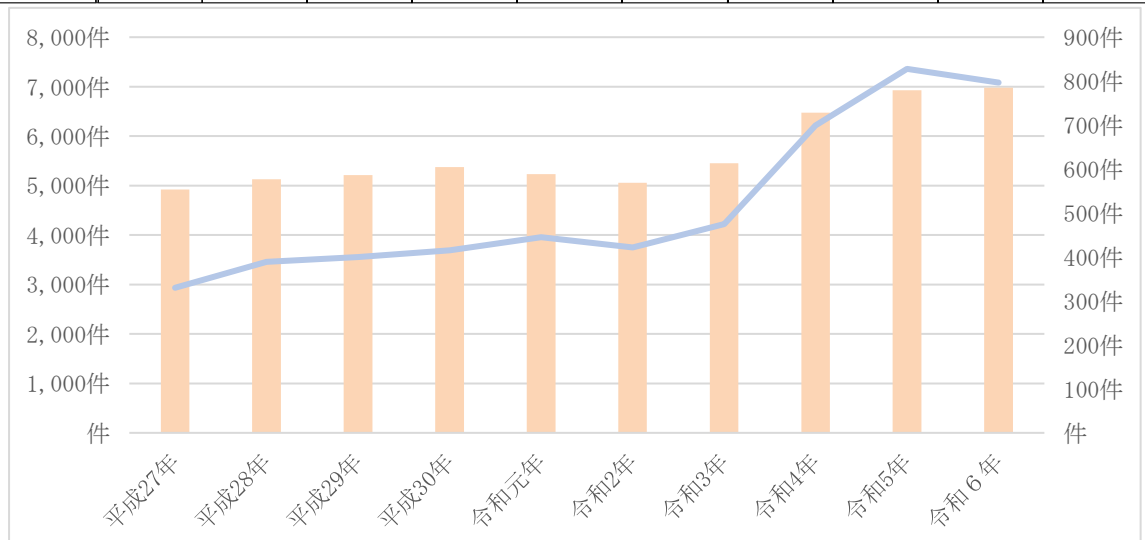
（20.5%）となった。



カ 過去10年の救急出動件数及び搬送人員、西条市の人口の推移



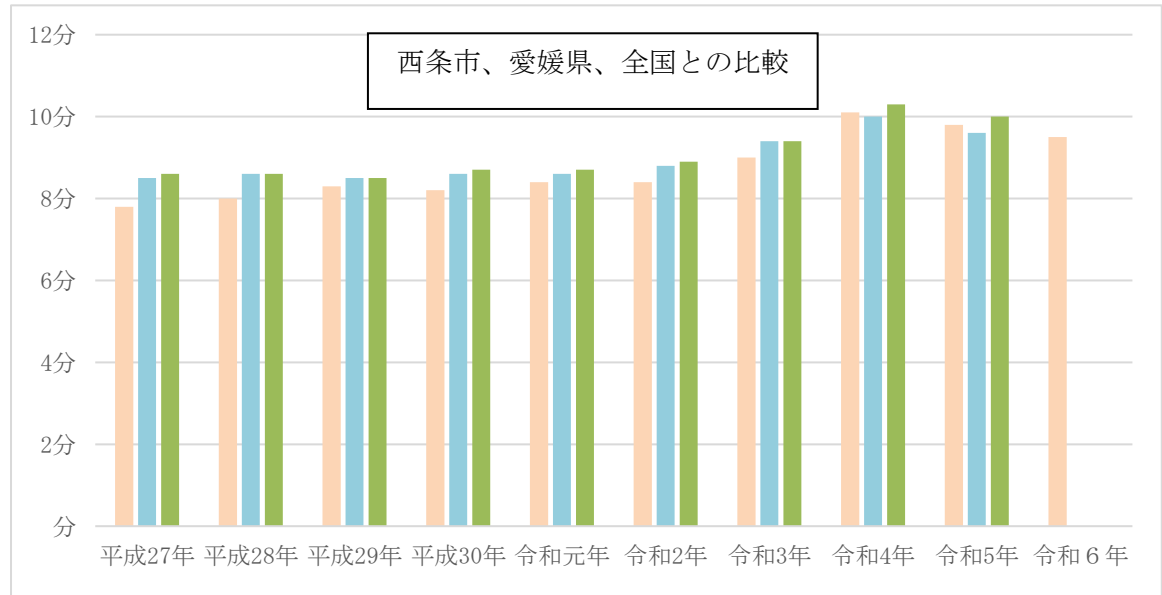
キ 過去10年の出動件数、不搬送件数の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出動件数	4,922件	5,130件	5,213件	5,375件	5,234件	5,054件	5,454件	6,476件	6,925件	6,978件
不搬送件数	330件	389件	400件	415件	445件	422件	475件	699件	828件	797件

ク 過去 10 年の覚知から現場到着までの平均所要時間の比較

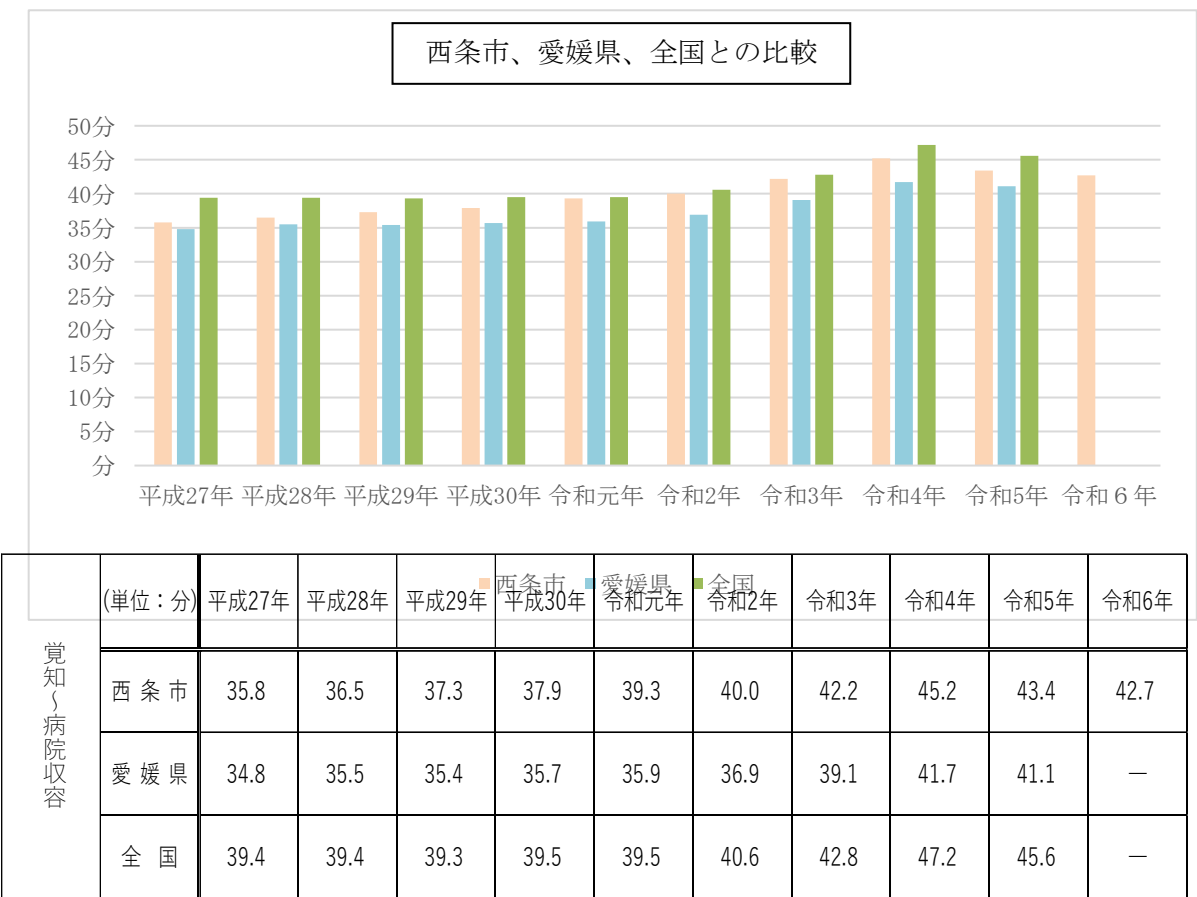
覚知から現場到着時間までの平均所要時間は、令和 4 年までは、西条市、愛媛県、全国ともに延伸傾向にある。



覚知 → 現場 到着	(単位: 分)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
	西条市	7.8	8.0	8.3	8.2	8.4	8.4	9.0	10.1	9.8	9.5
	愛媛県	8.5	8.6	8.5	8.6	8.6	8.8	9.4	10.0	9.6	—
	全国	8.6	8.6	8.5	8.7	8.7	8.9	9.4	10.3	10.0	—

ケ 過去 10 年の覚知から病院収容までの平均所要時間の比較

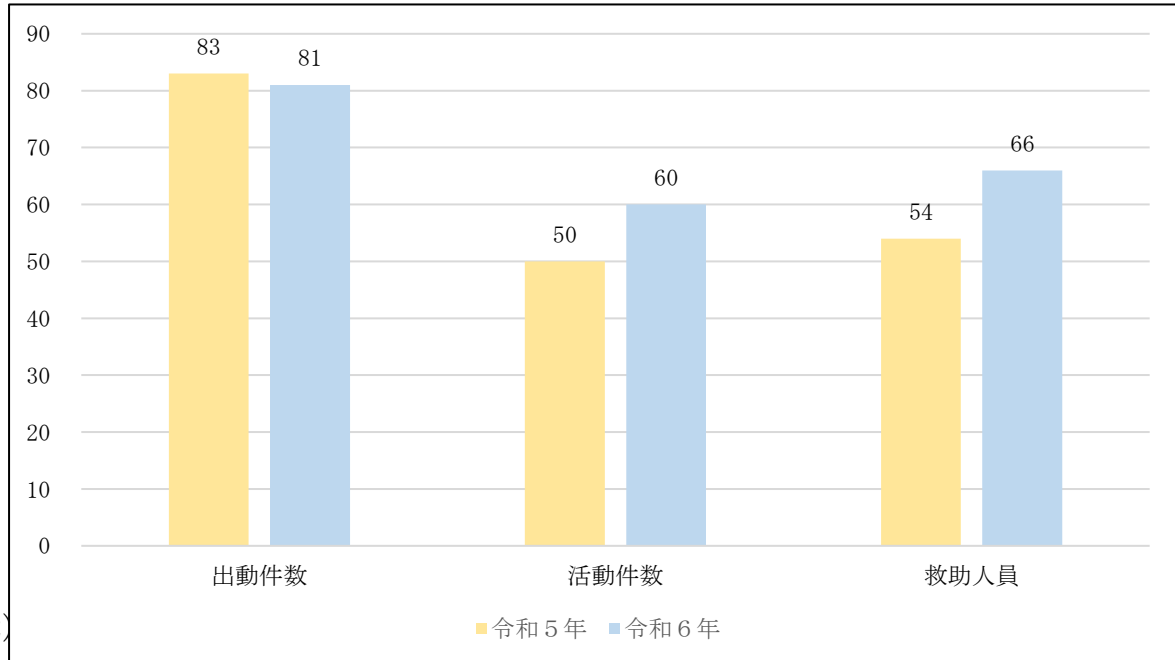
覚知から病院収容までの平均所要時間は、令和 4 年までは、西条市、愛媛県、全国において延伸傾向になっている。西条市と愛媛県を比較すると、県内の中でも病院収容までの時間を要する状況となっている。また、収容時間の差が開いている。



3 救助統計

(1) 救助概要

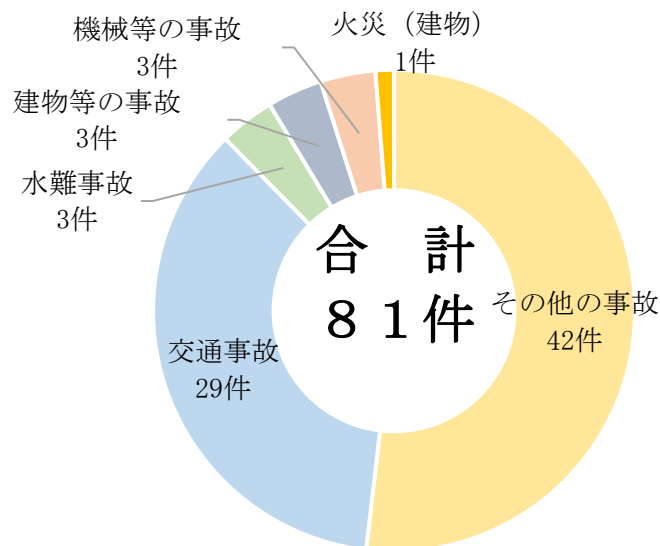
令和6年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数81件（前年比2件減）、救助活動件数60件（前年比10件増）、救助人員66人（前年比12人増）となった。



(2)

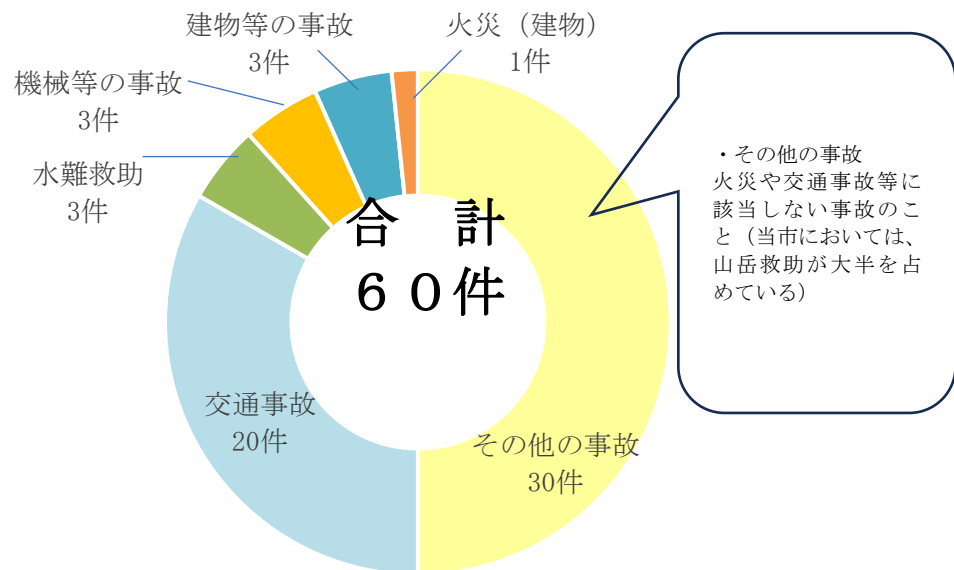
事故種別救助出動

事故種別ごとに救助出動状況をみると、出動件数で最も多いのは、その他の事故42件（51.9%）、次いで交通事故29件（35.8%）、水難事故3件（3.7%）、建物等の事故3件（3.7%）、機械等の事故3件（3.7%）、火災（建物）1件（1.2%）の順となった。



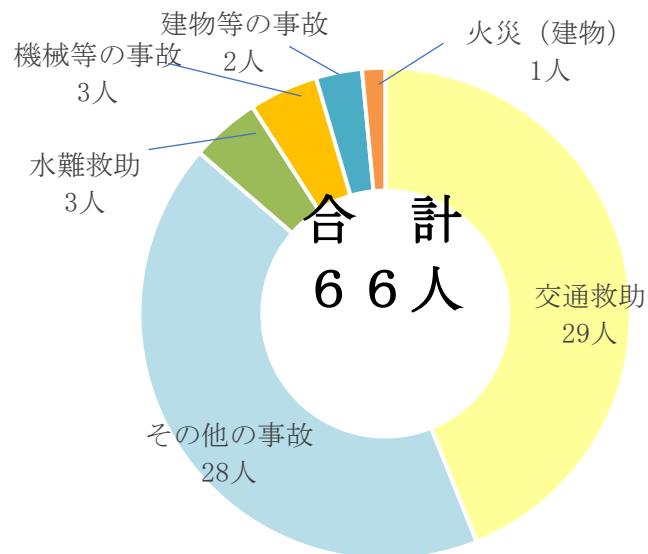
イ 事故種別活動件数

活動件数で最も多いのは、その他の事故で30件(50%)、次いで交通事故20件(33.3%)、水難救助3件(5%)、建物等の事故3件(5%)、機械等の事故3件(5%)、火災(建物)1件(1.7%)の順になった。

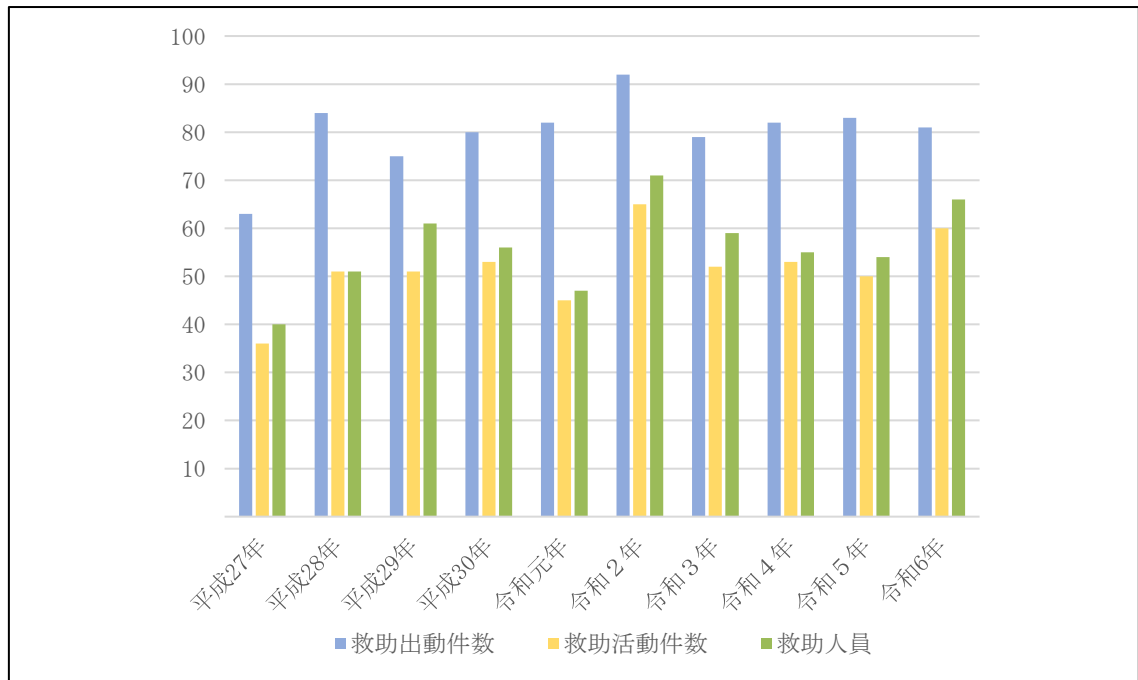


ウ

機械等の事故2人(3%)、火災(建物)1人(1.5%)の順となった。

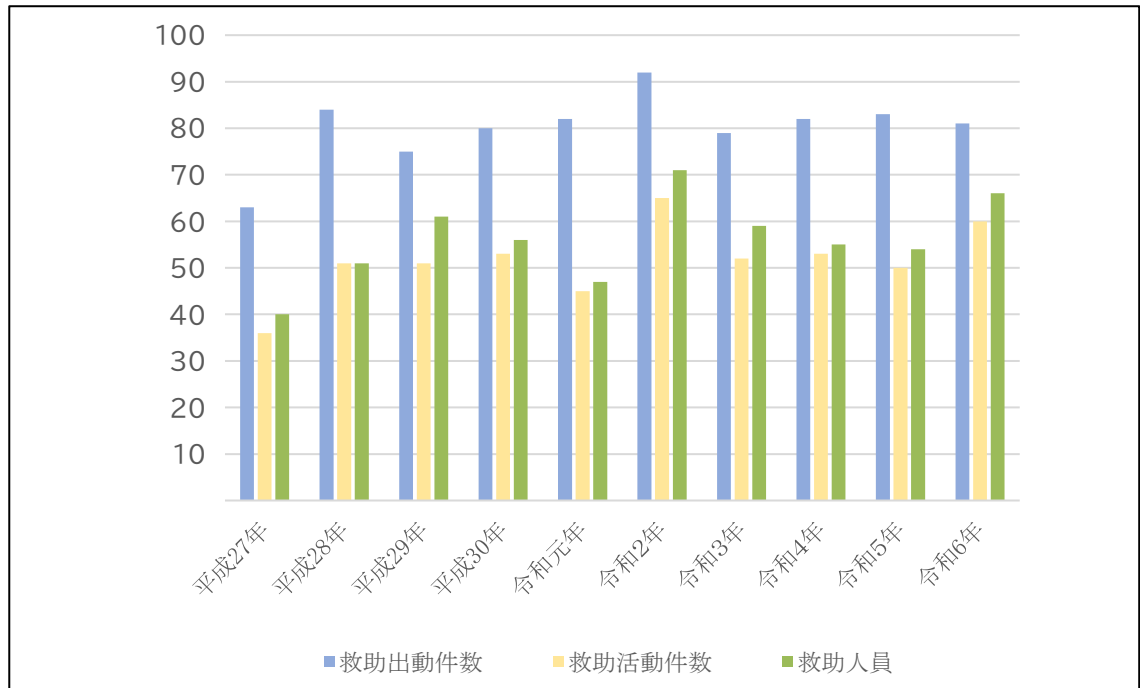


エ 過去10年の救助出動件数及び救助活動件数、救助人員の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
救助出動件数	63件	84件	75件	80件	82件	82件	79件	82件	83件	81件
救助活動件数	36件	51件	51件	53件	45件	65件	52件	53件	50件	60件
救助人員	40人	51人	61人	56人	47人	71人	59人	55人	54人	66人

オ 過去10年の救助出動件数のうち、山岳救助件数の推移



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
救助出動件数	63件	84件	75件	80件	82件	82件	79件	82件	83件	81件
山岳救助件数	11件	14件	11件	5件	14件	18件	15件	14件	13件	19件

消 防 団 関 係

1 消 防 団 の 組 織

2 人 事

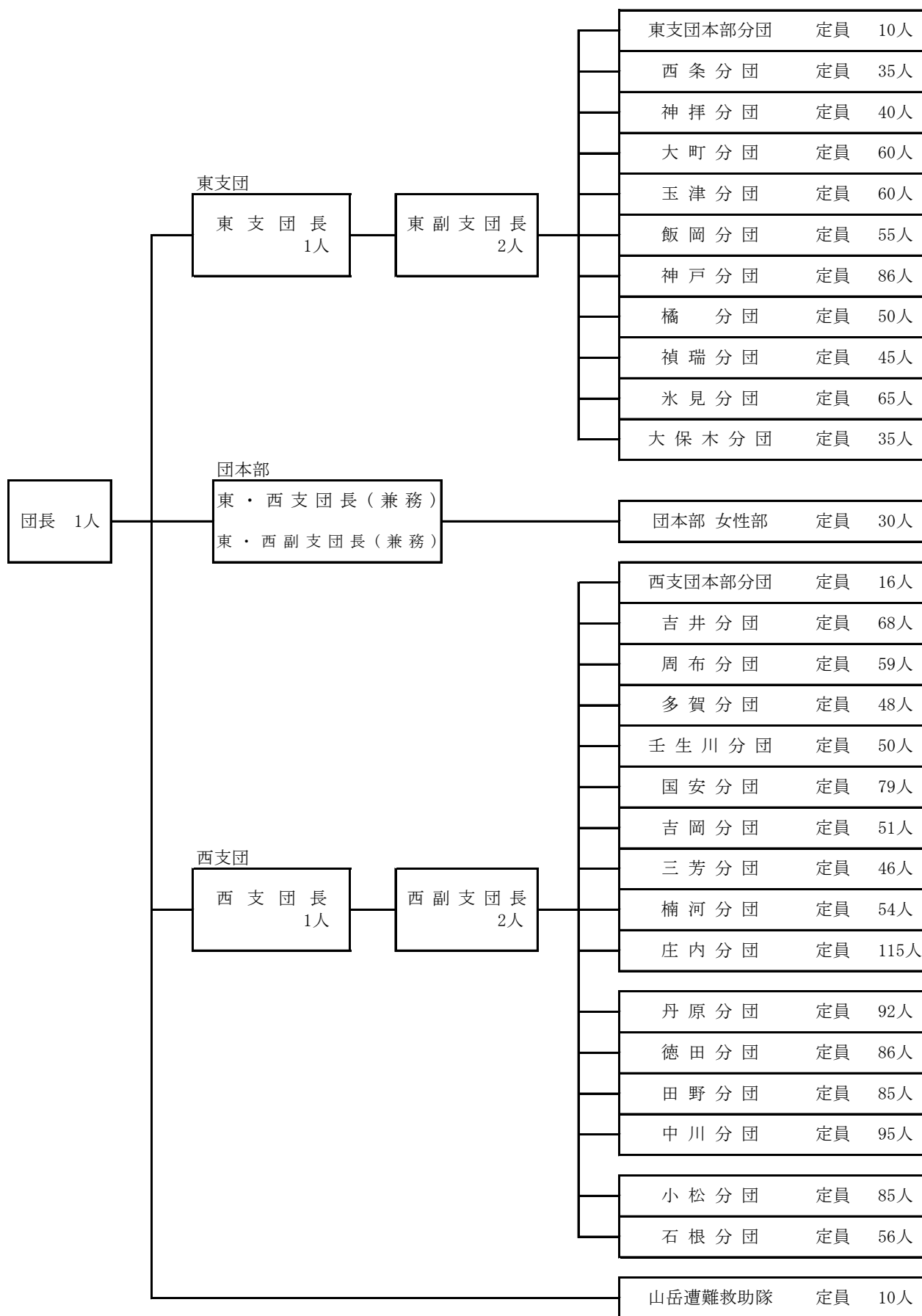
3 消 防 機 械



令和6年度 西条市消防団年末市長巡視

1 消 防 団 の 組 織

令和7年4月1日現在



(条例定数は、1,673人)

2 人 事

(1) 歴代消防団長

令和7年4月1日現在

	氏 名	期 間
初 代	森 田 忠 茂	就任 平成16年11月1日 ～ 退任 平成18年3月31日
二代・三代	藤 田 修	就任 平成18年4月1日 ～ 退任 平成22年3月31日
四 代	渡 邊 隆 義	就任 平成22年4月1日 ～ 退任 平成24年3月31日
五 代	木 藤 清	就任 平成24年4月1日 ～ 退任 平成26年3月31日
六 代	三 村 康 行	就任 平成26年4月1日 ～ 退任 平成28年3月31日
七代・八代	萬 條 裕	就任 平成28年4月1日 ～ 退任 令和2年3月31日
九代・十代	高 橋 公 一	就任 令和2年4月1日 ～ 退任 令和6年3月31日
十 一 代	戸 田 基	就任 令和6年4月1日 ～

(2) 消防団員の報酬

(単位：円)

区 分 階 級	年額報酬	出 動 報 酬				
		災害出動	警戒	訓練	その他の出動	
		1日4時間以上 1日4時間未満	1回	1回	捜索 1日4時間以上 1日4時間未満	その他 1回
団 長	139,200	1日4時間以上 8,000	2,000	1,800	1日4時間以上 8,000	2,000
副 団 長	115,200					
支 団 長	93,700					
副 支 団 長	77,600					
分 団 長	54,600	1日4時間未満 4,000	2,000	1,800	1日4時間未満 4,000	2,000
副 分 団 長	46,200					
部 長	39,200					
班 長	36,500					
団 員	36,500					

(3) 消防団員在籍年数調

令和7年4月1日現在

階級 在職年数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
1年未満							66	66
1～5 〃						2	193	195
5～10 〃						16	275	291
10～15 〃					9	57	200	266
15～20 〃				7	35	71	104	217
20～25 〃		1	5	7	25	66	55	159
25～30 〃	1		9	5	21	32	22	90
30～35 〃		3	8	6	12	8	10	47
35～40 〃		1	4	1	2	7	6	21
40年以上		1	1	1		2	5	10
人 数	1	6	27	27	104	261	936	1,362

(4) 消防団分団別・階級別等人員調

令和7年4月1日現在

階級・職名 分団	団長	副団長		分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	管轄区域
		支団長	副支団長							
団本部	1	2	4			1	2	11	21	
東支団本部分団				1	1	2	2	4	10	西条地区
西条分団				1	1	2	5	16	25	西条
神拝分団				1	1	3	6	15	26	神拝
大町分団				1	1	4	9	30	45	大町、市之川
玉津分団				1	1	4	9	40	55	玉津
飯岡分団				1	1	4	8	19	33	飯岡
神戸分団				1	1	5	12	50	69	神戸、加茂
橘 分団				1	1	3	7	38	50	橘
禎瑞分団				1	1	3	6	33	44	禎瑞
氷見分団				1	1	4	8	34	48	氷見
大保木分団				1	1	1	4	8	15	大保木、石鎚
西支団本部分団				1	1	2	4	6	14	東予・丹原・小松地区
吉井分団				1	1	4	8	45	59	吉井
周布分団				1	1	4	9	37	52	周布
多賀分団				1	1	3	6	36	47	多賀
壬生川分団				1	1	4	9	31	46	壬生川
国安分団				1	1	6	12	51	71	国安
吉岡分団				1	1	3	7	39	51	吉岡
三芳分団				1	1	2	6	35	45	三芳
楠河分団				1	1	3	9	33	47	楠河
庄内分団				1	1	6	21	63	92	庄内
丹原分団				1	1	6	17	46	71	丹原
徳田分団				1	1	6	16	41	65	徳田
田野分団				1	1	7	17	34	60	田野
中川分団				1	1	6	18	51	77	中川、桜樹
小松分団				1	1	3	16	54	75	小松、石鎚
石根分団				1	1	3	8	32	45	石根、石鎚
山岳遭難救助隊								4	4	
合 計	1	2	4	27	27	104	261	936	1,362	

(条例定数は、1,673人)

(5) 消防団員階級別年齢調

令和7年4月1日現在

階級 年齢	合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
定 員	1,673	1	6	27	27	108	271	1,233
実 員	1,362	1	6	27	27	104	261	936
18 ～ 19	0							
20 ～ 21	4							4
22 ～ 23	3							3
24 ～ 25	11							11
26 ～ 27	12							12
28 ～ 29	20						1	19
30 ～ 31	23							23
32 ～ 33	34							34
34 ～ 35	45						2	43
36 ～ 37	69						2	67
38 ～ 39	79					1	13	65
40 ～ 41	116					4	9	103
42 ～ 43	109				1	5	16	87
44 ～ 45	118				1	8	24	85
46 ～ 47	112				1	8	38	65
48 ～ 49	108			1		9	30	68
50 ～ 51	110		1	1	4	14	27	63
52 ～ 53	86		1	3	4	8	25	45
54 ～ 55	71			3	5	11	20	32
56 ～ 57	71			5	1	10	26	29
58 ～ 59	42		2	4	5	8	13	10
60 ～ 61	40		1	4	2	9	6	18
62 ～ 63	28	1	1	4	2	5	2	13
64 ～ 65	15			1		2	4	8
66 才 以 上	36			1	1	2	3	29

平均年齢 46.5歳

3 消防機械

(1) 分団別機材保有調

令和7年4月1日現在

機材名 分団名	消 防 ポ ン プ 自 動 車	輸 送 車	連絡車 (団本部指揮車・防災活動車)	小 型 動 力 ポ ン プ	軽 可 搬 消 防 ポ ン プ	小型動力ポンプ 積載車		デジタル簡易無線	
						普通車両	軽車両	車載移動局	携帯移動局
団本部			1	4	1			1	15
東支団本部分団		1		1				1	5
西条分団	1	1						1	5
神拝分団	1	1						1	5
大町分団	1	1			1			1	6
玉津分団	1	1			1			1	6
飯岡分団	1	1			1			1	6
神戸分団	1	1		1	1		1	1	8
橘分団	1	1			1			1	5
禎瑞分団	1	1						1	5
氷見分団	1	1			1			1	6
大保木分団				2		1	1		5
西支団本部分団			1	1				1	5
吉井分団				4		1	3	1	6
周布分団	1			3		1	2	1	6
多賀分団				3		2	1	1	5
壬生川分団	1			3			3	1	6
国安分団	1			5		1	4	1	8
吉岡分団				3	1		3	1	5
三芳分団	1			1		1		1	5
楠河分団				3	1	1	2	1	5
庄内分団				6	1	1	5	1	8
丹原分団	1			2		2		1	9
徳田分団				6	1	2	4	1	8
田野分団	1			7	1	4	2	1	9
中川分団	1			6	1	3	3	2	10
小松分団	1			9	1	1		1	5
石根分団	1			1	1	1		1	5
合計	18	10	2	71	15	22	34	28	182

(2) 地区別・分団別消防車両一覧表

【 団 本 部 】

令和7年4月1日現在

No.	所 属	登 録 年 月 日	登 録 番 号	種 別	メーカ	排 気 量 (cc)	総 重 量 (kg)	ポ ン プ 級 別
1	団 本 部	H 31 . 1 . 25	愛媛 800す8173	団本部指揮車	ト ヨ タ	2,690	3,060	

【 西 条 地 区 】

令和7年4月1日現在

No.	所 属	登 録 年 月 日	登 録 番 号	種 別	メーカ	排 気 量 (cc)	総 重 量 (kg)	ポ ン プ 級 別
1	東支団本部分団	H 12 . 1 . 6	愛媛 800さ1616	輸 送 車	三 菱	1,990	3,430	
2	西 条 分 団	H 15 . 12 . 12	愛媛 800さ8104	ポ ン プ 車	三 菱	5,240	4,480	A - 2
3		H 17 . 1 . 25	愛媛 800さ9185	輸 送 車	日 産	1,990	2,860	
4	神 拝 分 団	H 10 . 11 . 24	愛媛 800さ 458	ポ ン プ 車	三 菱	4,560	4,460	A - 2
5		H 17 . 1 . 25	愛媛 800さ9188	輸 送 車	日 産	1,990	2,860	
6	大 町 分 団	H 31 . 2 . 27	愛媛 800す8230	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,440	A - 2
7		H 9 . 10 . 30	愛媛 88 す4272	輸 送 車	日 産	1,990	2,550	
8	玉 津 分 団	H 22 . 3 . 18	愛媛 800す3035	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,450	A - 2
9		H 13 . 7 . 24	愛媛 800さ3656	輸 送 車	三 菱	1,990	3,340	
10	飯 岡 分 団	H 18 . 1 . 10	愛媛 800す 27	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,270	A - 2
11		H 12 . 7 . 11	愛媛 800さ2304	輸 送 車	三 菱	1,990	3,350	
12	神 戸 分 団	H 25 . 2 . 19	愛媛 800す4640	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,520	A - 2
13		H 12 . 7 . 10	愛媛 800さ2305	輸 送 車	三 菱	1,990	3,350	
14		H 7 . 2 . 23	愛媛 80 あ 837	軽四積載車	三 菱	650	1,310	
15	橘 分 団	H 17 . 1 . 11	愛媛 800さ9155	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,240	A - 2
16		H 9 . 10 . 30	愛媛 88 す4273	輸 送 車	日 産	1,990	2,550	
17	禎 瑞 分 団	R 3 . 2 . 25	愛媛 800す9405	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,520	A - 2
18		H 13 . 7 . 24	愛媛 800さ3655	輸 送 車	三 菱	1,990	3,340	
19	氷 見 分 団	H 26 . 1 . 20	愛媛 800す5128	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,370	A - 2
20		H 11 . 12 . 27	愛媛 800さ1607	輸 送 車	日 産	1,990	3,050	
21	大 保 木 分 団	H 7 . 12 . 15	愛媛 88 す2557	積 載 車	ト ヨ タ	1,990	2,460	
22		H 5 . 11 . 17	愛媛 80 あ 571	軽四積載車	三 菱	650	1,300	

(注) 団本部指揮車については、日本消防協会より消防団防災学習・災害活動車両が貸与され、平成31年2月19日に配備したもの。

【東予地区】

令和7年4月1日現在

No.	所 属	登 録 年 月 日	登 録 番 号	種 別	メーカ	排 気 量 (cc)	総 重 量 (kg)	ポ ン プ 級 別
1	西支団本部分団	H 23 . 2 . 28	愛媛 800す3550	防災活動車	日 産	1,790	2,560	
2	吉井分団第1部	H 16 . 2 . 26	愛媛 80 あ8036	軽四積載車	ス バ ル	650	1,420	
3	吉井分団第2部	H 5 . 12 . 20	愛媛 88 す 944	積 載 車	ト ヨ タ	1,990	2,560	
4	吉井分団第3部	H 10 . 8 . 28	愛媛 80 あ1433	軽四積載車	ス バ ル	650	1,370	
5	吉井分団第4部	H 3 . 7 . 24	愛媛 80 あ 419	軽四積載車	三 菱	650	1,180	
6	周布分団第1部	H 29 . 3 . 14	愛媛 800す6979	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,350	A-2
7	周布分団第2部	H 5 . 4 . 30	愛媛 80 あ 535	軽四積載車	三 菱	650	1,180	
8	周布分団第3部	H 12 . 10 . 18	愛媛 800さ2641	積 載 車	日 産	1,780	2,315	
9	周布分団第4部	H 4 . 10 . 28	愛媛 80 あ 499	軽四積載車	三 菱	650	1,220	
10	多賀分団第1部	H 5 . 7 . 11	愛媛 88 す 629	積 載 車	ト ヨ タ	1,810	2,540	
11	多賀分団第2部	H 8 . 7 . 2	愛媛 88 す3121	積 載 車	日 産	1,780	2,305	
12	多賀分団第3部	R 6 . 3 . 1	愛媛 880 あ3068	軽四積載車	ダイハツ	650	1,520	
13	壬生川分団第1部	H 3 . 8 . 28	愛媛 80 あ 424	軽四積載車	三 菱	650	1,210	
14	壬生川分団第2部	R 2 . 3 . 13	愛媛 800す8872	ポ ン プ 車	ト ヨ タ	2,980	3,490	A-2
15	壬生川分団第3部	R 6 . 3 . 1	愛媛 880 あ3069	軽四積載車	ダイハツ	650	1,520	
16	壬生川分団第4部	H 8 . 8 . 2	愛媛 80 あ1173	軽四積載車	ス バ ル	650	1,310	
17	国安分団第1部	S 63 . 7 . 29	愛媛 88 さ7384	積 載 車	ト ヨ タ	1,290	1,895	
18	国安分団第2部	R 5 . 8 . 2	愛媛 88 せ838	ポ ン プ 車	い す ゞ	2,990	4,330	A-2
19	国安分団第3部	H 3 . 12 . 24	愛媛 80 あ 440	軽四積載車	三 菱	650	1,140	
20	国安分団第4部	H 元 . 7 . 25	愛媛 80 あ 341	軽四積載車	ダイハツ	540	1,020	
21	国安分団第5部	H 2 . 8 . 2	愛媛 80 あ 381	軽四積載車	ス ズ キ	650	1,060	
22	国安分団第6部	H 2 . 11 . 8	愛媛 80 あ 390	軽四積載車	ダイハツ	650	1,100	
23	吉岡分団第1部	R 4 . 12 . 19	愛媛 880 あ 2896	軽四積載車	ダイハツ	650	1,490	
24	吉岡分団第2部	H 元 . 3 . 22	愛媛 80 あ 322	軽四積載車	ス バ ル	540	1,115	
25	吉岡分団第3部	S 63 . 4 . 15	愛媛 80 あ 275	軽四積載車	ス バ ル	540	1,205	
26	三 芳 分 団	H 30 . 2 . 15	愛媛 800す7535	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,420	A-2
27		H 2 . 3 . 28	愛媛 88 さ8344	積 載 車	ト ヨ タ	1,810	2,075	
28	楠 河 分 団	H 17 . 12 . 13	愛媛 880あ 158	軽四積載車	ス バ ル	650	1,440	
29		H 16 . 3 . 22	愛媛 800さ8407	積 載 車	マ ツ ダ	2,490	2,770	
30		H 2 . 3 . 30	愛媛 80 あ 372	軽四積載車	三 菱	650	1,140	
31	庄内分団第1部	H 8 . 3 . 15	愛媛 88 す2791	積 載 車	日 産	1,780	2,315	
32	庄内分団第2部	R 7 . 3 . 7	愛媛 880 あ 3192	軽四積載車	ダイハツ	650	1,530	
33	庄内分団第3部	H 12 . 10 . 18	愛媛 80 あ1699	軽四積載車	ス バ ル	650	1,410	
34	庄内分団第4部	H 17 . 12 . 13	愛媛 880あ 159	軽四積載車	ス バ ル	650	1,440	
35	庄内分団第5部	H 16 . 12 . 16	愛媛 80 あ8150	軽四積載車	ス バ ル	650	1,410	
36	庄内分団第6部	H 7 . 12 . 15	愛媛 80 あ1043	軽四積載車	ス バ ル	650	1,350	

(注) 壬生川分団第2部の車両については、総務省消防庁より救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車(3.5t未満)が貸与され、令和2年3月28日に配備したもの。

【丹原地区】

令和7年4月1日現在

No.	所 属	登 録 年 月 日	登 録 番 号	種 別	メ ー カ ー	排 気 量 (cc)	総 重 量 (kg)	ポ ン プ 級 別
1	丹 原 分 団	H 22 . 3 . 19	愛媛 800す3045	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,350	A－2
2		H 3 . 3 . 29	愛媛 88 さ9008	積 載 車	ト ヨ タ	1,990	2,610	
3		R 4 . 3 . 4	愛媛 800 せ 10	積 載 車	ト ヨ タ	1,990	2,970	
4	徳田分団第1部	H 22 . 3 . 29	愛媛 800す3077	積 載 車	い す ゞ	2,990	3,580	
5	徳田分団第2部	H 8 . 10 . 26	愛媛 80 あ1203	軽四積載車	ダ イ ハ ツ	650	1,370	
6	徳田分団第3部	H 3 . 3 . 27	愛媛 88 さ8995	積 載 車	日 産	1,620	2,240	
7	徳田分団第4部	H 13 . 9 . 5	愛媛 80 あ1833	軽四積載車	ホ ン ダ	650	1,440	
8	徳田分団第5部	R 4 . 3 . 7	愛媛 880あ2787	軽四積載車	ダ イ ハ ツ	650	1,480	
9	徳田分団第6部	H 8 . 12 . 6	愛媛 80 あ1218	軽四積載車	ス バ ル	650	1,280	
10	田野分団第1部	H 10 . 10 . 30	愛媛 80 あ1452	軽四積載車	ホ ン ダ	650	1,300	
11	田野分団第2部	R 7 . 3 . 6	愛媛 800 せ 1637	積 載 車	ト ヨ タ	1,990	2,610	
12	田野分団第3部	H 10 . 12 . 14	愛媛 800さ 507	積 載 車	日 産	1,990	2,790	
13	田野分団第4部	H 2 . 3 . 22	愛媛 80 あ 370	軽四積載車	ス バ ル	540	1,190	
14	田野分団第5部	H 3 . 10 . 1	愛媛 88 さ9303	積 載 車	ト ヨ タ	1,810	2,650	
15	田野分団第6部	H 3 . 10 . 1	愛媛 88 さ9302	積 載 車	ト ヨ タ	1,810	2,640	
16	田野分団第7部	H 17 . 2 . 25	愛媛 800さ9282	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,600	A－2
17	中川分団第1部	H 10 . 1 . 29	愛媛 88 す4493	ポ ン プ 車	三 菱	4,560	4,650	A－2
18	中川分団第2部	H 17 . 2 . 21	愛媛 800さ9264	積 載 車	ト ヨ タ	1,990	2,580	
19	中川分団第3部	H 9 . 1 . 15	愛媛 88 す3508	積 載 車	ト ヨ タ	1,990	2,530	
20	中川分団第4部	H 元 . 3 . 9	愛媛 80 あ 320	軽四積載車	三 菱	540	1,100	
21	中川分団第5部	H 5 . 10 . 12	愛媛 80 あ 567	軽四積載車	ス バ ル	650	1,300	
22	中川分団第6部	H 10 . 8 . 22	愛媛 80 あ1431	軽四積載車	ス バ ル	650	1,290	
23	中川分団第7部	H 20 . 3 . 11	愛媛 800す1688	積 載 車	日 産	1,990	2,850	

(注) 徳田分団第1部の車両については、総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両が貸与され、平成22年3月29日に配備したものの。

【小松地区】

令和7年4月1日現在

No.	所 属	登 録 年 月 日	登 録 番 号	種 別	メ ー カ ー	排 気 量 (cc)	総 重 量 (kg)	ポ ン プ 級 別
1	小 松 分 団	R 2 . 3 . 4	愛媛 800す8837	ポ ン プ 車	日 野	4,000	4,560	A－2
2		H 11 . 1 . 15	愛媛 800さ 573	積 載 車	三 菱	1,990	3,050	
3	石 根 分 団	H 11 . 3 . 15	愛媛 800さ 729	ポ ン プ 車	い す ゞ	4,570	4,340	A－2
4		H 9 . 10 . 10	愛媛 88 す4197	積 載 車	三 菱	1,990	2,900	

西条市民憲章

わたくしたちの西条市は、石鎚連峰と瀬戸内海にいだかれ、豊かな自然と清らかな水の恵みにはぐくまれた、歴史と伝統が息づくまちです。わたくしたちは、これらの財産を活かし、人づくり・ものづくりに励み、未来の西条市につなぐために、この憲章を定めます。

わたくしたちは、生きがいと希望に満ちた、笑顔がやぐあたたかいまちをつくります。

わたくしたちは、豊かな水と緑を守り、自然と調和した美しいまちをつくります。

わたくしたちは、絆を深め、共に助け合い、安全・安心な住みよいまちをつくります。

わたくしたちは、先人の教えに学び、伝統と文化を尊ぶ教育のまちをつくります。

わたくしたちは、郷土の恵みを活かし、活力あふれる産業のまちをつくります。

LOVE
SAIJO



西条市消防本部

愛媛県西条市新田183-1

☎ : 0897-56-0250(代)

西条市消防本部
Facebook



西条市消防本部
Instagram

